

建築分野におけるBIMの活用・普及 状況の実態調査 確定値<詳細> (令和3年1月 国土交通省調べ)

○ 建築分野における現時点のBIMの活用・普及状況を確認するため、アンケートによる下記の実態調査を実施。

➤ アンケート名

BIMの活用状況・普及拡大に関するアンケート

➤ 調査目的

今後の建築BIM推進会議でのBIMの更なる普及に向けて議論を行うための、建築分野のBIMの活用・普及状況や、今後の普及に向けた課題等の把握。

➤ 実施時期

令和2年12月11日～令和3年1月13日

➤ 実施方法

建築BIM推進会議に参加する下記の13団体に、広く会員の回答を依頼。
特に、団体ごとに各会員の関係部署単位での回答を依頼。

団体名		回答依頼部署	団体名		回答依頼部署
設計関係 団体 (7団体)	(公社)日本建築士会連合会	意匠設計関連部署	施工関係 団体 (4団体)	(一社)日本建設業連合会	①設計関連部署 ②施工関連部署
	(一社)日本建築士事務所協会連合会			(一社)全国建設業協会	施工関連部署
	(公社)日本建築家協会			(一社)日本空調衛生工事業協会	空調衛生工事関連部署
	(一社)日本建築構造技術者協会	(一社)日本電設工業協会		電気設備工事関連部署	
	(一社)日本設備設計事務所協会連合会	維持管理・ 発注者 関係団体等 (2団体)	(一社)住宅生産団体連合会	戸建住宅関連部署	
	(一社)建築設備技術者協会		(公社)日本ファシリティマネジメント協会	ファシリティマネジメント 関連部署	
	(公社)日本建築積算協会				積算業務関連部署

■ アンケート調査全体の配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
アンケート調査全体	2,363	813※ ¹	34.4%

■ 13団体別の配布・回収状況※³

	配布数	回収数	回収率
(公社) 日本建築士会連合会	96	33	34.4%
(一社) 日本建築士事務所協会連合会	99	61	61.6%
(公社) 日本建築家協会	38	21	55.3%
(一社) 日本建築構造技術者協会	124	81	65.3%
(一社) 日本設備設計事務所協会連合会	861	137	16.0%
(一社) 建築設備技術者協会	129	55	42.6%
(公社) 日本建築積算協会	73	52	71.2%
(一社) 日本建設業連合会	15	30※ ²	—
(一社) 全国建設業協会	390	179	45.9%
(一社) 日本空調衛生工事業協会	94	33	35.1%
(一社) 日本電設工業協会	294	62	21.1%
(一社) 住宅生産団体連合会	15	4	26.7%
(公社) 日本ファシリティマネジメント協会	188	26	13.8%
13団体合計	2,363	774※ ¹	—

※¹：所属団体未記載の回答票(39票)があり、合計数が相違している。

※²：同一企業の別部署（例えば設計部と施工部等）からの回答が含まれるため、回収数が上回っている。

※³：同一回答者で、複数の団体から同じ回答を提出している場合は、1件のみを有効回答としている。

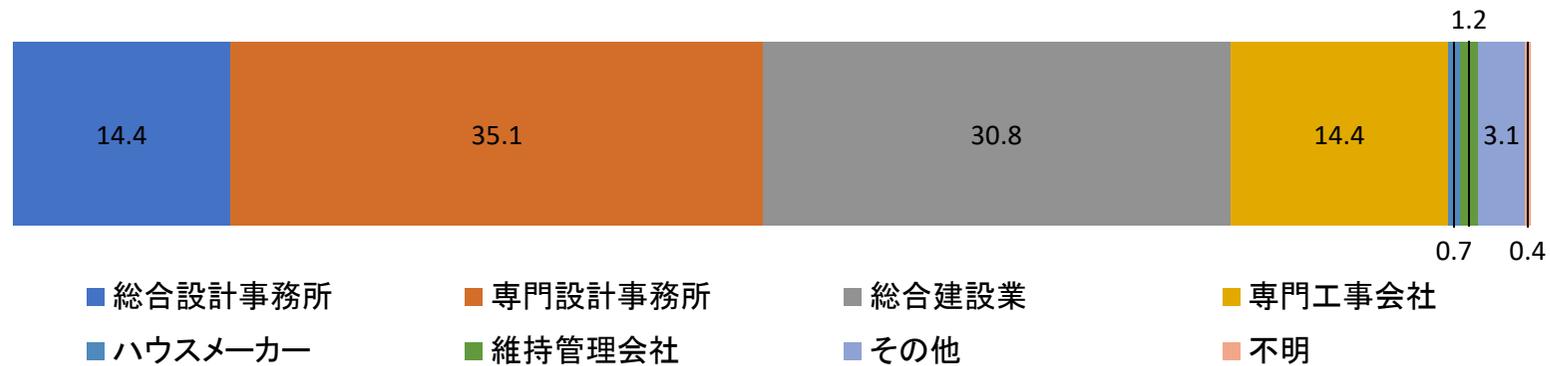
■設問項目(自由回答を除く)

Q0-1 所属団体	Q19 Q18で「①ある」を選択した場合は、具体的な活用方法
Q1A 企業の属性(大分類)	Q20 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等
Q1B 企業の属性(専門設計事務所)	Q20_② 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【②基本設計(意匠)】
Q2 所属する企業の規模(従業員数)	Q20_③ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【③基本設計(構造)】
Q3 アンケート調査回答者の所属部署	Q20_④ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【④基本設計(設備)】
Q4 所属部署の規模(職員数)	Q20_⑤ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑤実施設計(意匠)】
NQ5 所属部署で過去1年に受託した案件数	Q20_⑥ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑥実施設計(構造)】
Q6 所属部署における受注案件に占める公共工事の割合	Q20_⑦ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑦実施設計(設備)】
Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況	Q21 所属部署でBIMを活用した効果を定量的に把握しているか。また、定量的に把握するための基準をあらかじめ定めているか。
Q8 所属部署でBIMを導入した時期	Q22 所属部署でBIMの導入によりメリット・効果が得られたと実感できる場面
Q9 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ	Q23 所属部署でBIMの導入によるメリット・効果が得られていないと感じる場面
Q10① 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【①業務の効率化を期待した】	Q24 BIMを活用したことによるメリット・効果
Q10② 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【②業務の質の向上を期待した】	Q25 これまでに自社内の他部署又は社外とのデータ連携を行ったことはあるか
Q10③ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【③受注機会の創出を期待した】	Q26 Q25で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か
Q10④ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【④データ連携・蓄積を期待した】	Q27 Q26で「②社外とのデータ連携」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か
Q10⑤ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため】	Q28 所属部署でのBIMの活用において、共通データ環境(CDE環境)を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはあるか
Q10⑥ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑥発注者からBIM活用を求められた】	Q29 Q28で「①ある」を選択した場合、具体的にどのようなCDE環境の構築を行ったか
Q10⑦ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められた】	Q30 所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内ルールを定めているか
Q10⑧ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑧海外案件に対応するため】	Q32 所属企業でのBIMに関する教育として、どのような取り組みを行っているか
Q10⑨ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていた】	Q33 BIMの活用を推進するにあたり、企業として取り組んでいること
Q10⑩ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑩海外の動向をみて導入した】	Q35 所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況
Q10⑪ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑪業界の将来的な動向を予想して導入した】	Q37 所属部署において、BIMを活用する人材を育成するための教育に必要な期間
Q11 所属部署でBIMを活用している人数の割合	Q38 国内でBIMの普及を図る上で、今後の展開に特に期待すること
Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴	Q39 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、BIMの活用実態に変化はあるか
Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途	Q40 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、今後のBIMへの期待に変化はあるか
Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別	Q II-1 今後のBIMの導入について
Q15 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合	Q II-2 BIMの導入に至らない理由
Q16 所属部署でのBIMの活用状況	Q II-3 Q II-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機
Q17 Q16で「②積極的に活用していない」を選択した理由	※オレンジハッチ部分はQ7で「導入していない」を選択した場合の回答項目
Q18 [設計三会に所属する方のみ]建築確認申請手続きにBIMを活用した経験はあるか	

集計結果(単純集計) 基礎情報①

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

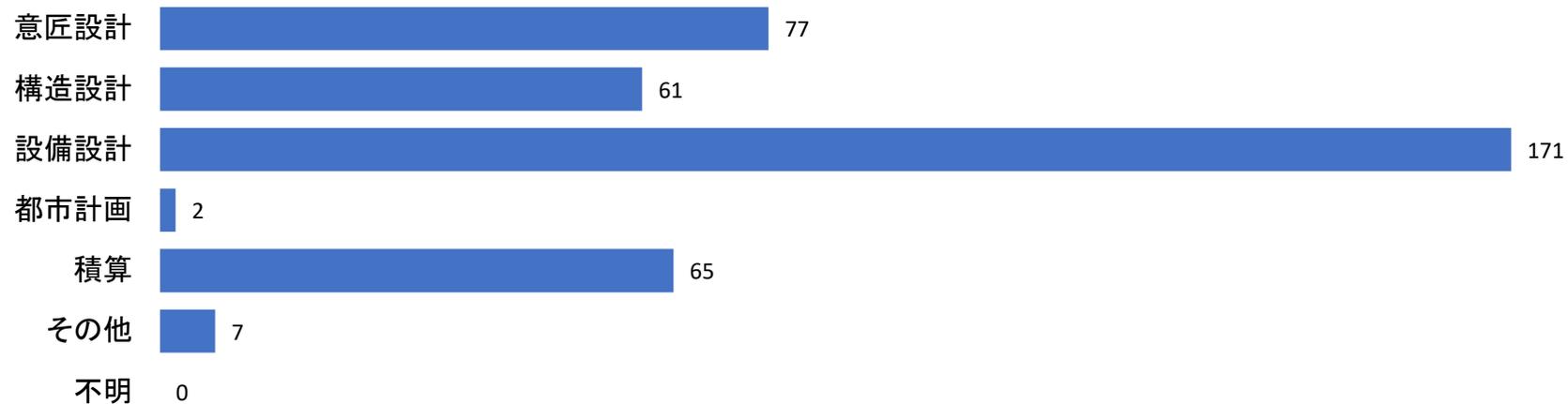
Q1 企業の属性 (大分類) (n=813/単一回答/%)



・企業の属性 (大分類) として、設計事務所が約 5 割、総合建設業が約 3 割、専門工事会社が約15%

※「その他」の回答例として、コンサルティング会社等が挙がっている。

Q1 企業の属性 (専門設計事務所) (n=285/複数回答/件数)



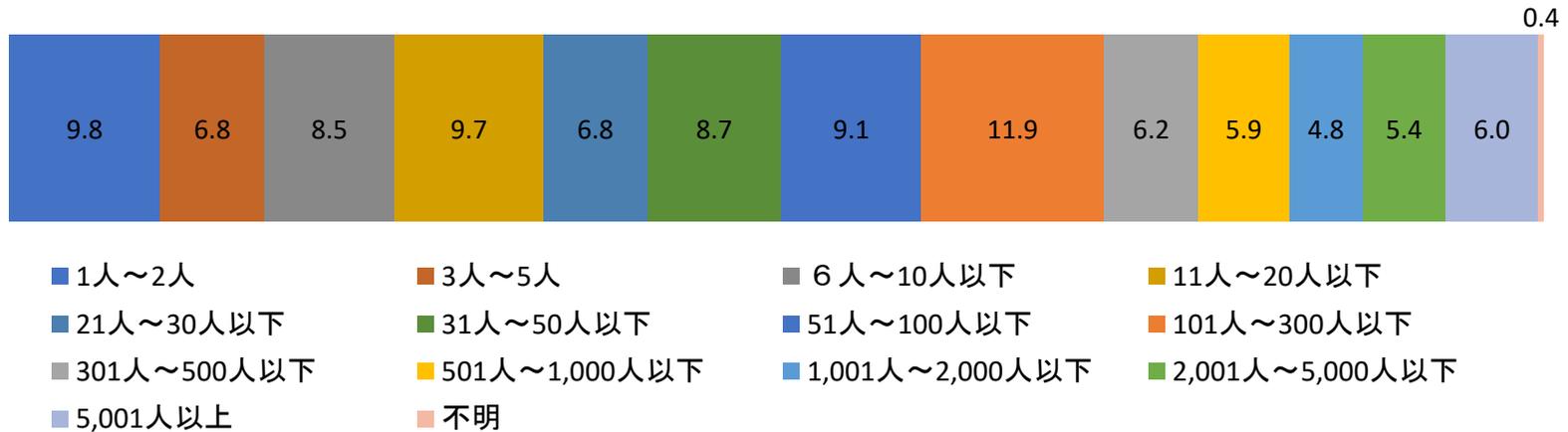
・企業の属性 (専門設計事務所) として、「設備設計」の回答が最も多い

※「その他」の回答例として、工事監理、インテリア等が挙がっている。

集計結果(単純集計) 基礎情報②

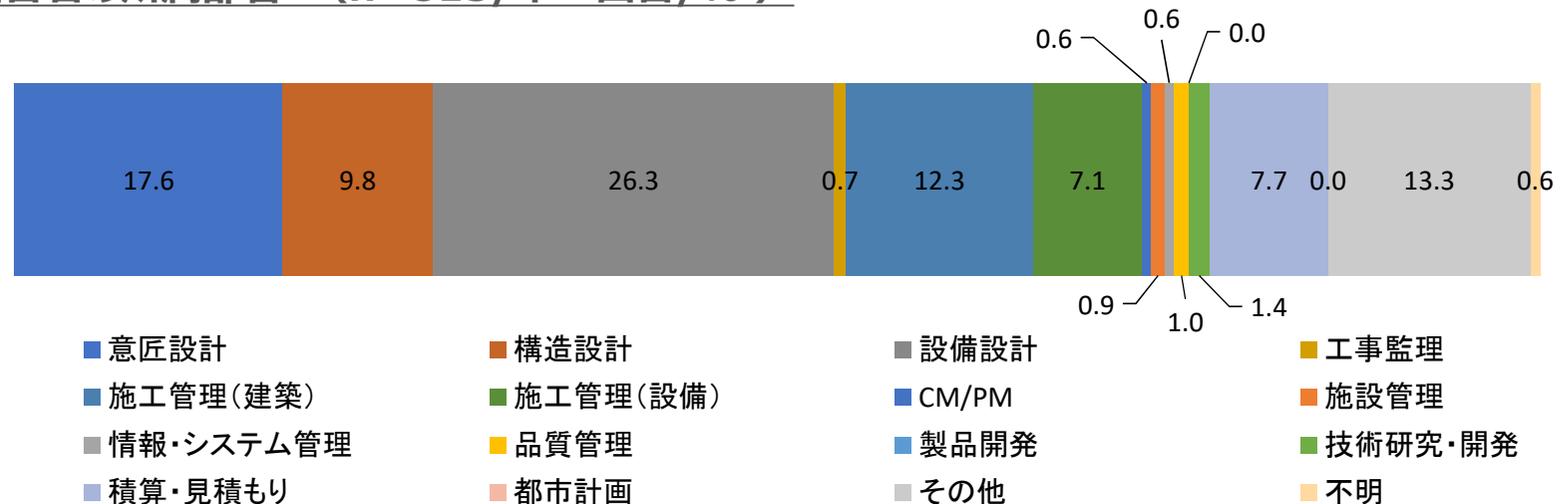
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q2 所属する企業の規模 (従業員数) (n=813/単一回答/%)



・企業の規模 (従業員数) として、「50人以下」の回答が約 5 割

Q3 アンケート調査回答者の所属部署 (n=813/単一回答/%)

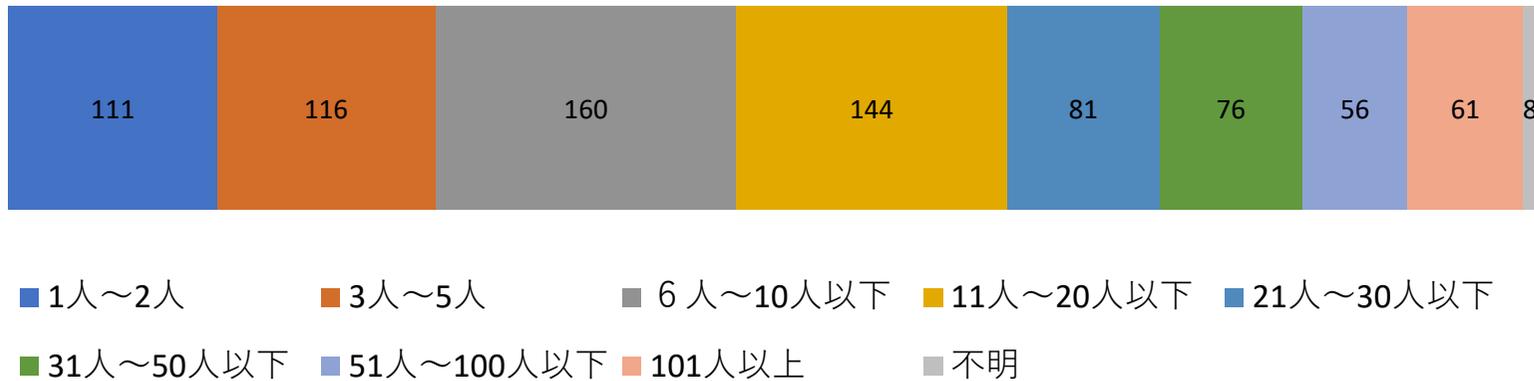


・所属部署として、設計部署の回答が約 5 割、施工管理 (建築・設備) の回答が約 2 割

集計結果(単純集計) 基礎情報③

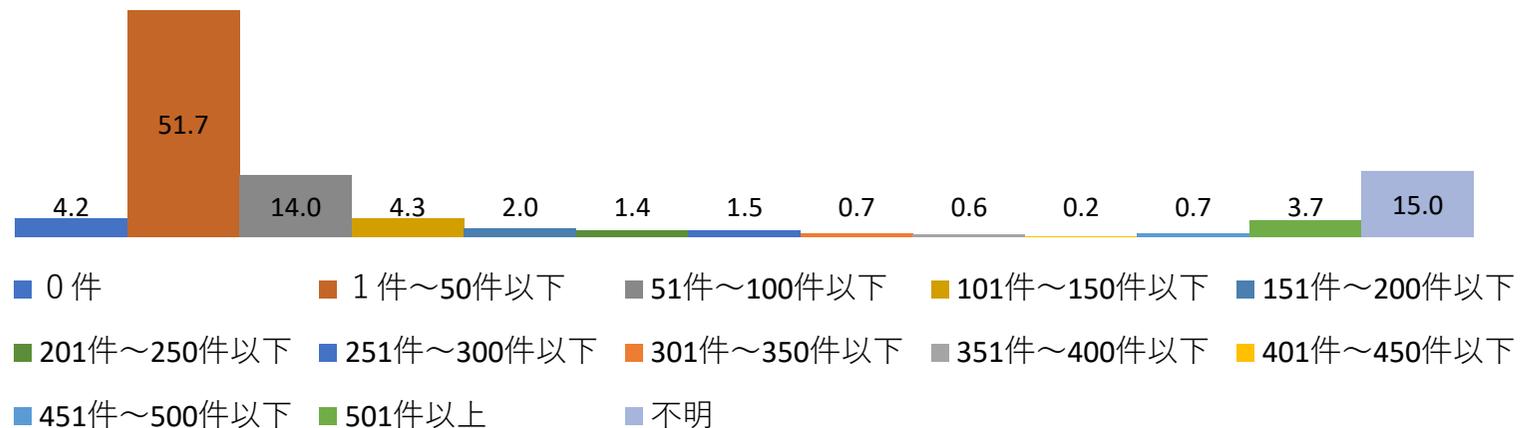
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q4 所属部署の規模(職員数) (n=813/単一回答/件数)



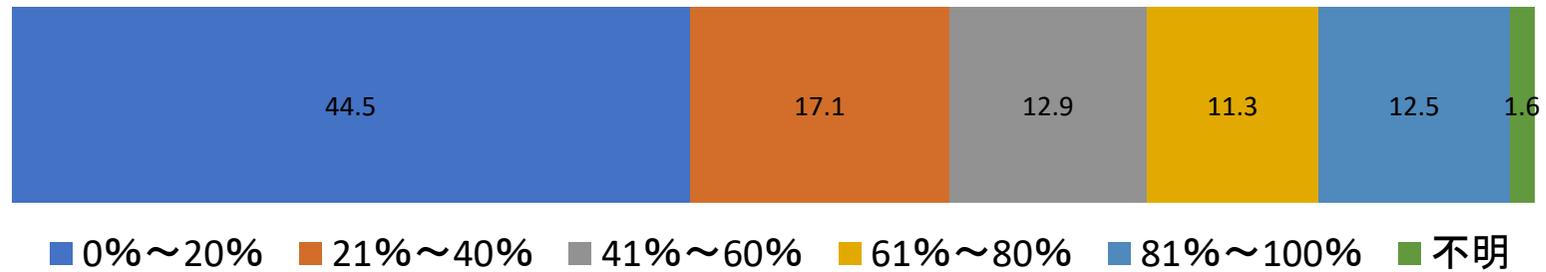
・所属部署の規模として、「10人以下」が約5割、「11人~50人」が約4割

Q5 所属部署で過去1年に受託した案件数 (n=813/自由回答/%)



・過去1年間の受託案件として、「1件~50件以下」が最も多い

Q6 所属部署における受注案件に占める公共工事の割合 (n=813/単一回答/%)



・受注案件に占める公共工事の割合として、「40%以下」が約6割

集計結果(単純集計) BIMの導入状況

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q7 所属する企業（部署）におけるBIMの導入状況 (n=813/単一回答/%)

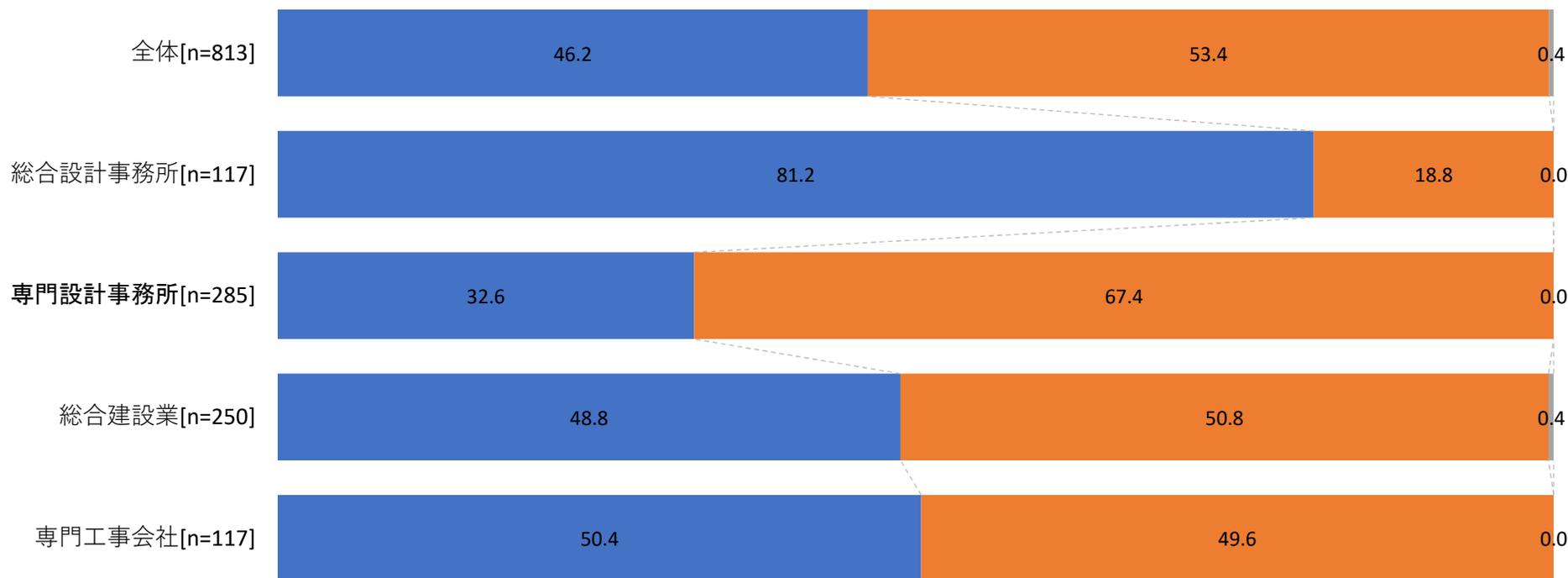


・今回回答があった企業（部署）のBIMの導入状況は、「導入している」が46%（376）、「導入していない」が53%（434）

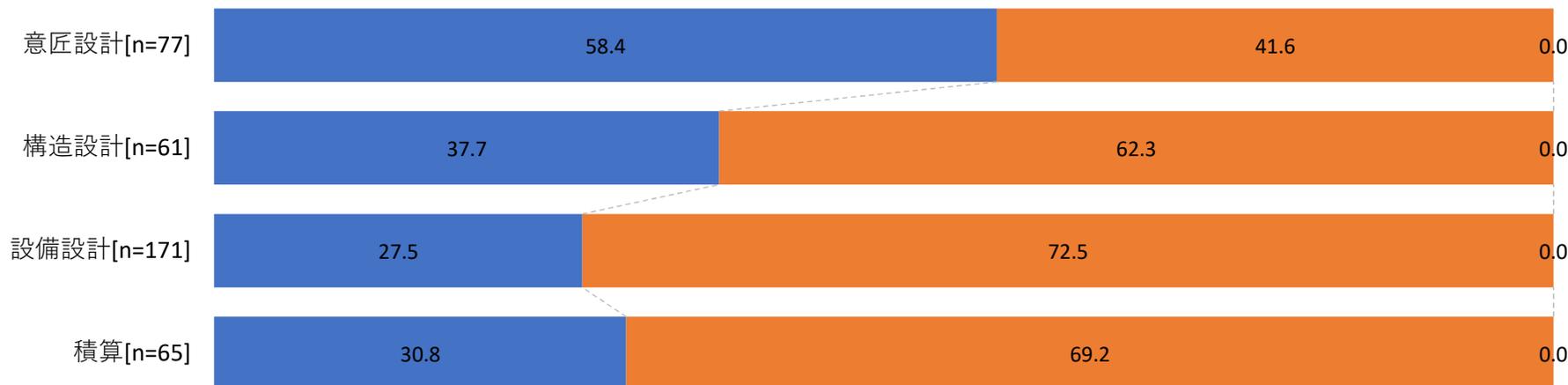
集計結果(クロス集計・分野別) BIMの導入状況

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q7 所属する企業（所属部署）におけるBIMの導入状況（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 導入している

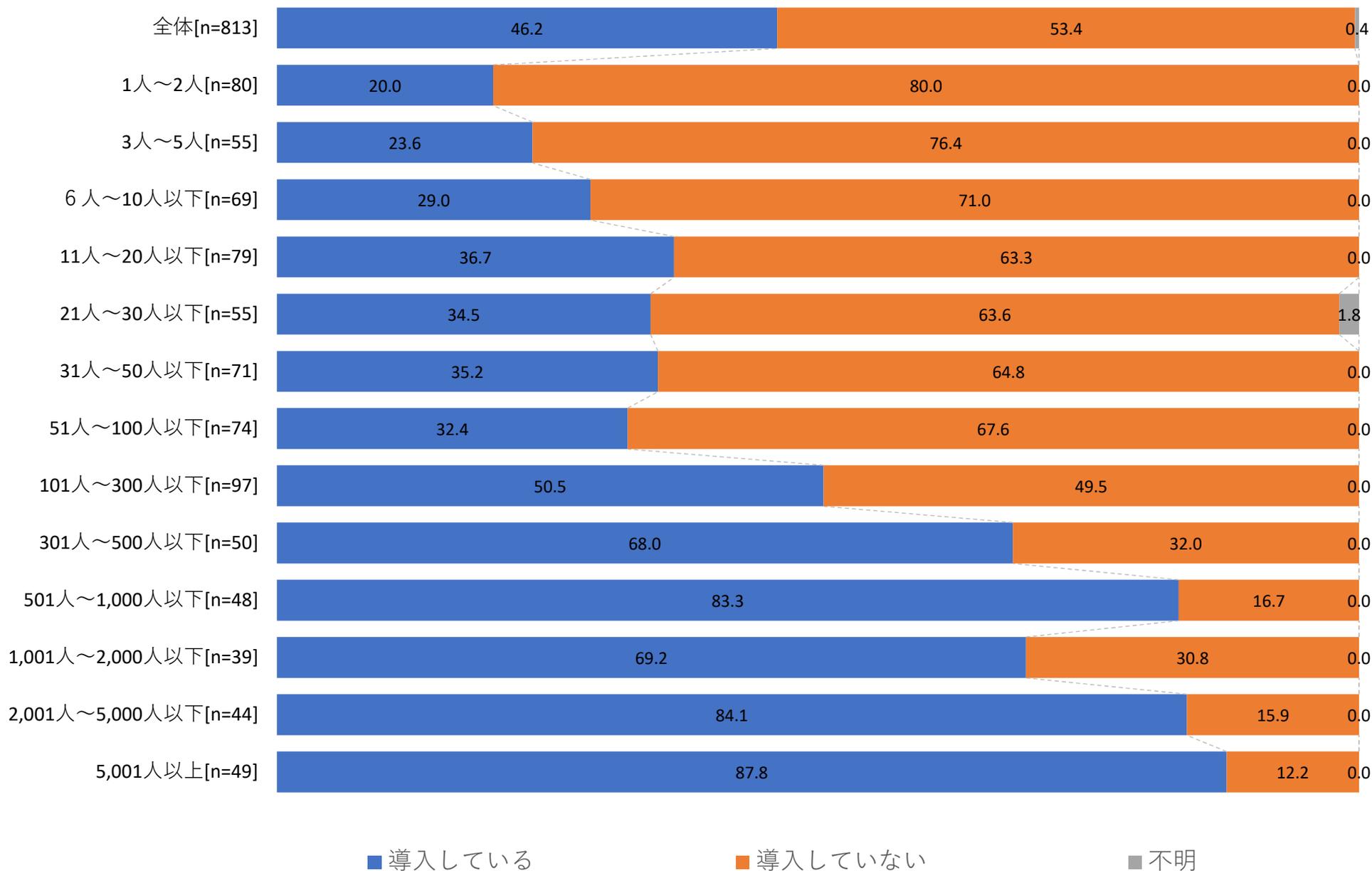
■ 導入していない

■ 不明

集計結果(クロス集計・企業規模別) BIMの導入状況

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q2 所属する企業の規模（従業員数）×Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況



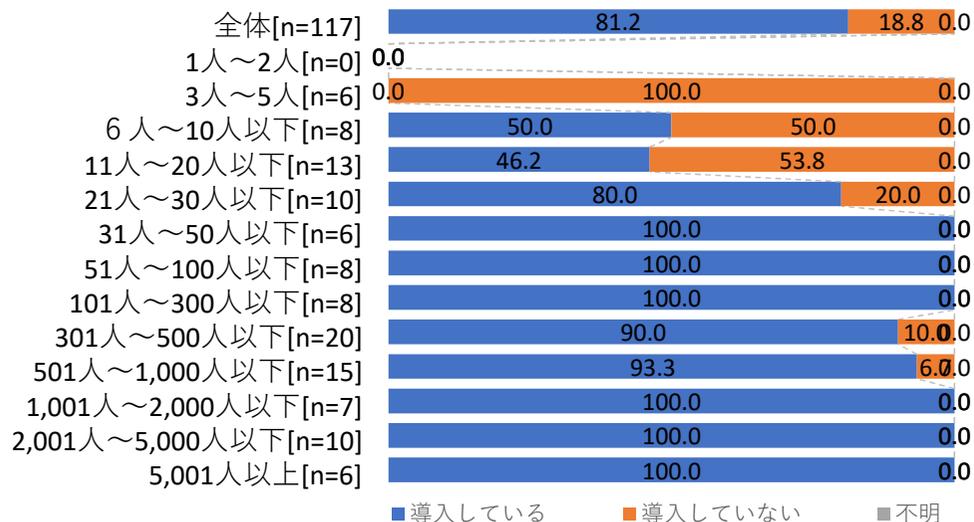
集計結果(クロス集計・企業規模別) BIMの導入状況

※今回追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

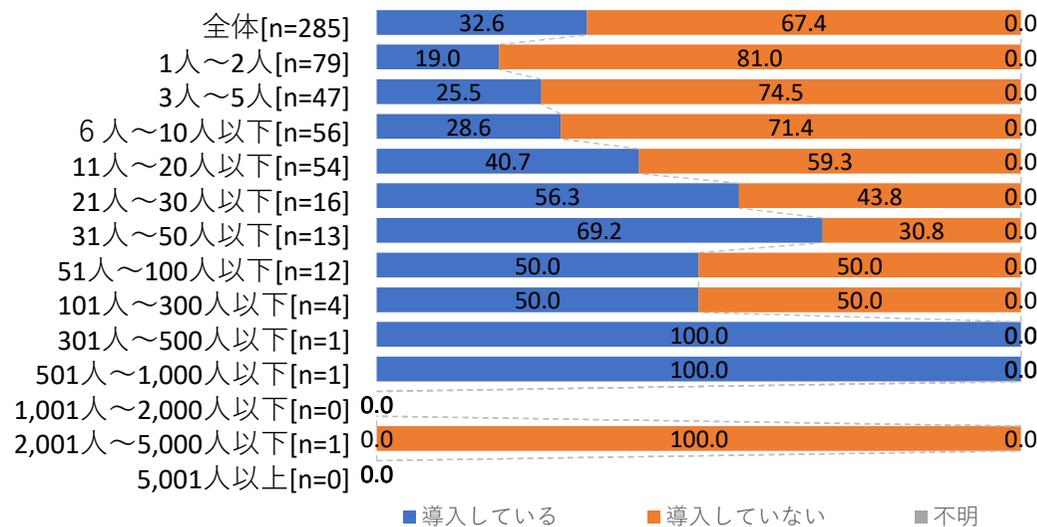
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類） ×
Q2 所属する企業の規模（従業員数） × Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況

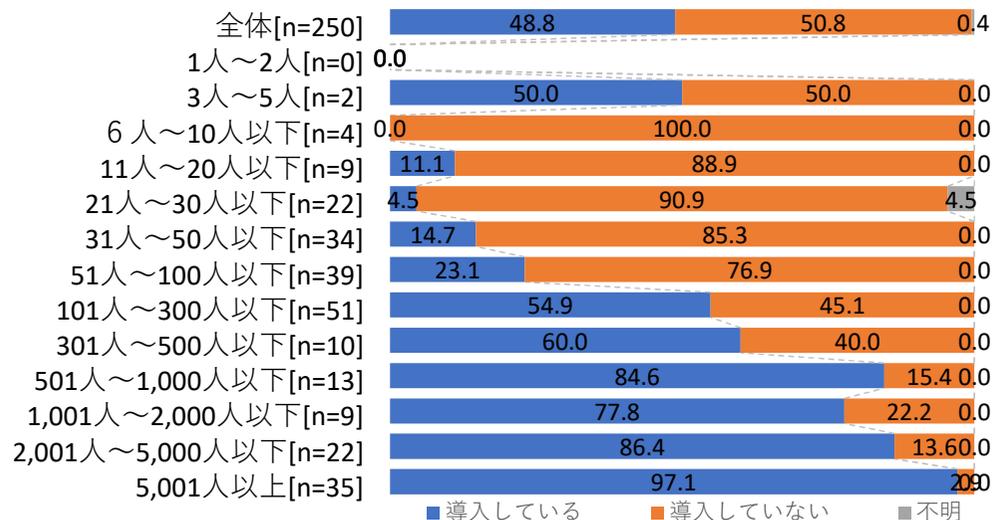
<総合設計事務所>



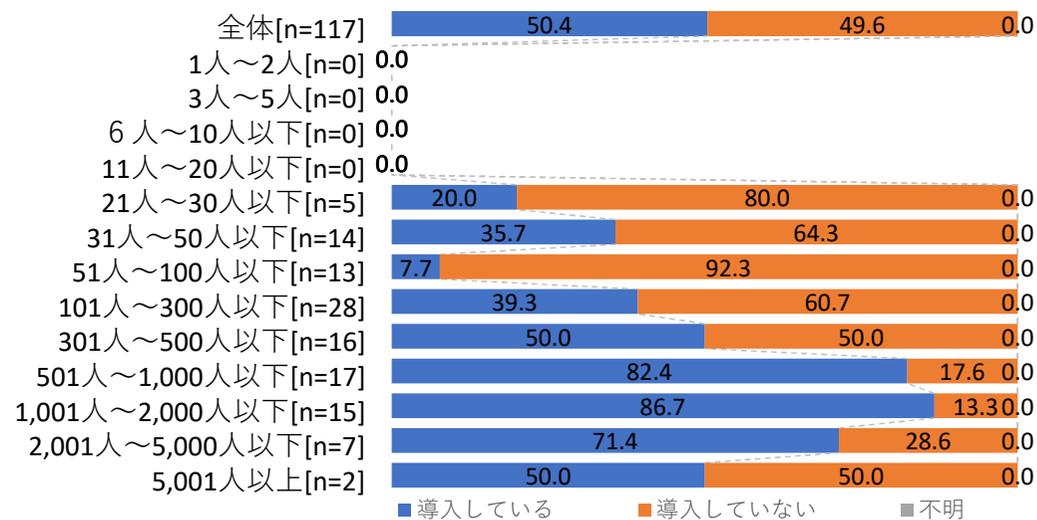
<専門設計事務所>



<総合建設業>



<専門工事会社>

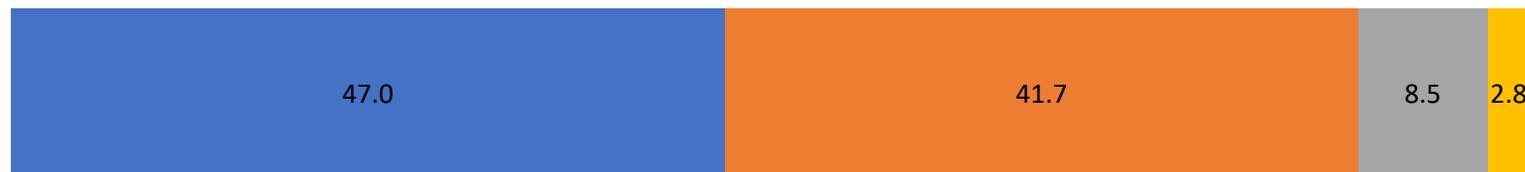


集計結果(単純集計) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

【Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況】のうち、導入していない企業について

QII-1 今後のBIMの導入について (n=434/単一回答/%)



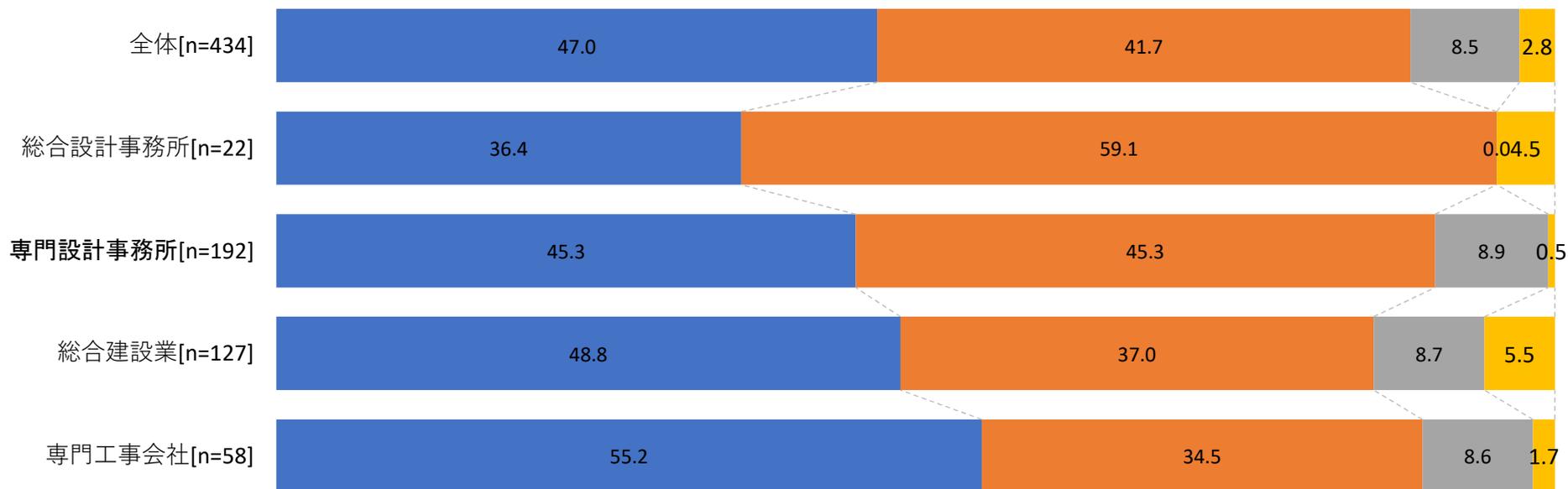
■ 導入予定はない・未定 ■ 導入の予定はないが導入に興味がある ■ 3年以内に導入する予定がある ■ 不明

- ・BIMを導入していない企業は、今後のBIM導入について、約半数が「導入予定はない・未定」であるが、約半数は「導入に興味がある」又は「3年以内に導入予定」

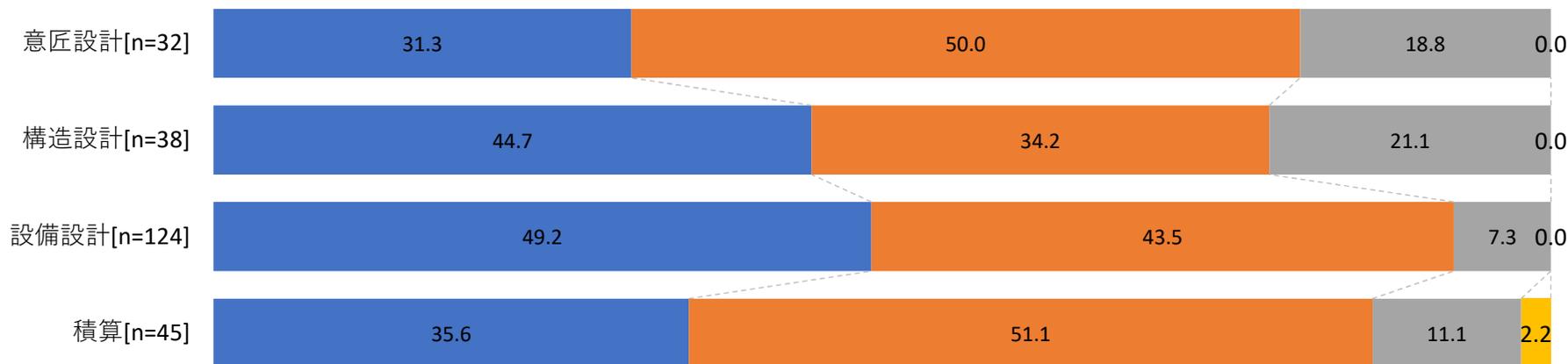
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QII-1 今後のBIMの導入について（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



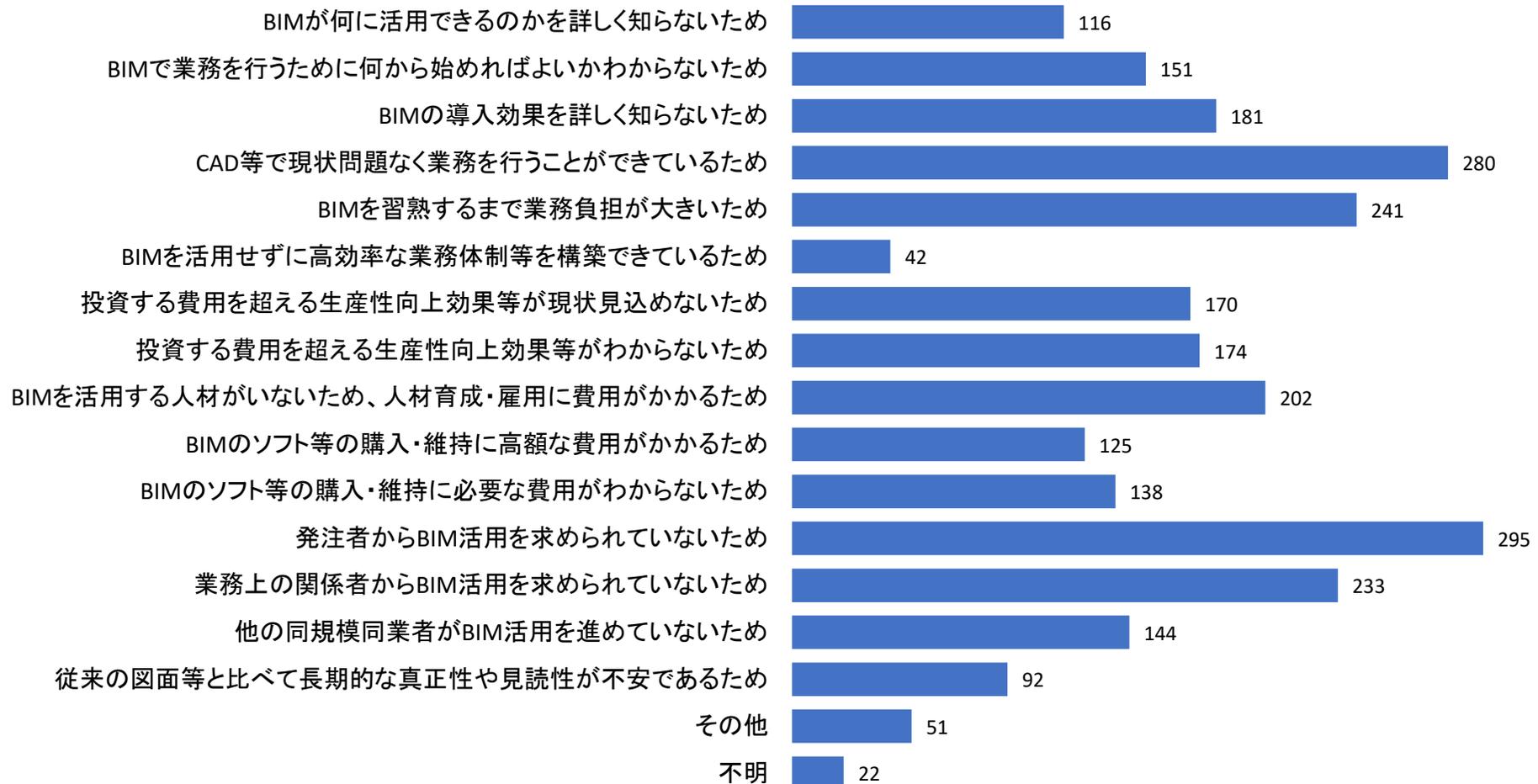
- 導入予定はない・未定
- 導入の予定はないが導入に興味がある
- 3年以内に導入する予定がある
- 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入していない企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

QII-2 BIMの導入に至らない理由 (n=434/複数回答/件数)



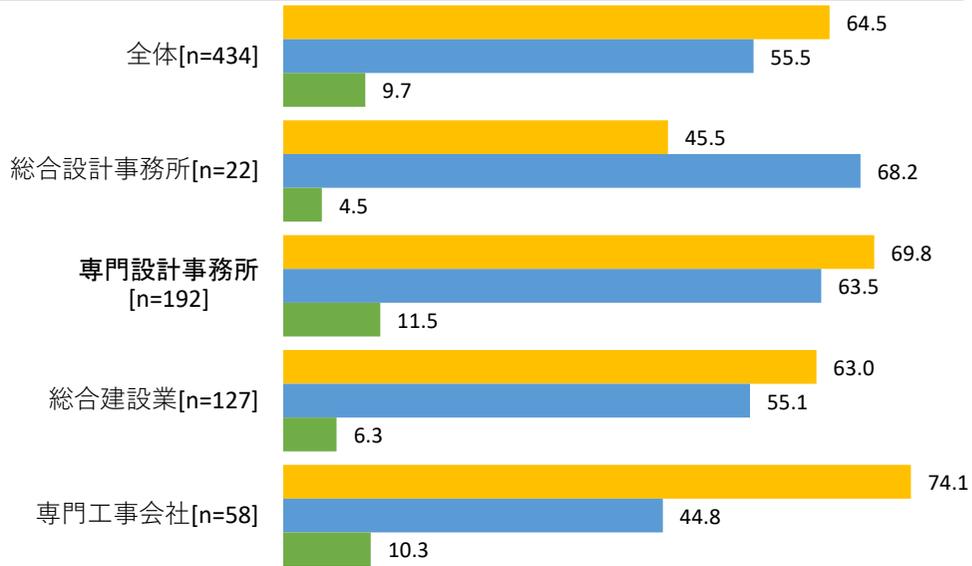
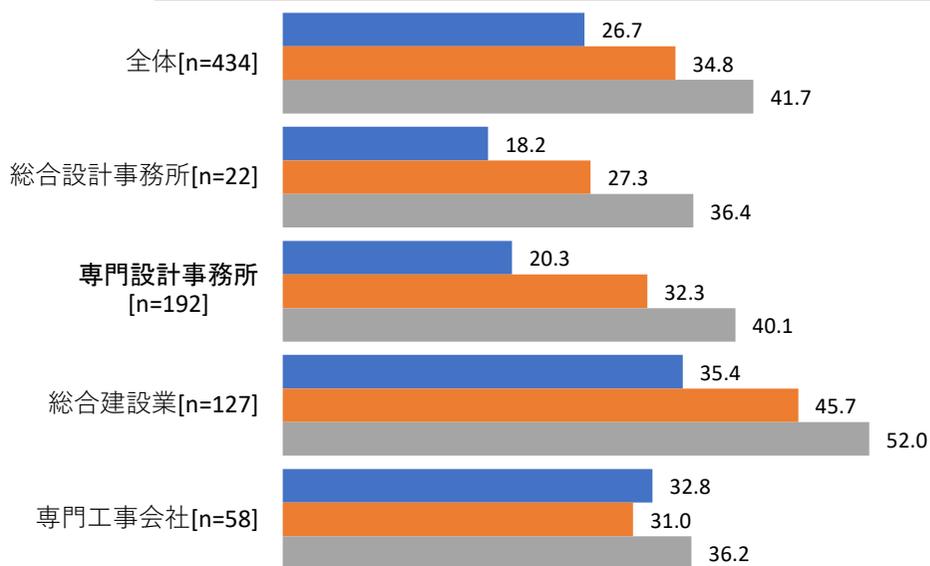
- ・ BIMを導入していない企業は、導入に至らない理由として、「発注者・業務上の関係者からBIM活用を求められていないため」や、「CAD等で現状問題なく業務を行うことができているため」、「BIMを習熟するまで業務負担が大きい」等の回答が多い。なお、費用に関する回答（「高額な費用がかかる」等）は比較的少ない。

※「その他」の回答例として、「複数のどのソフトが有用か判断がつかない」、「小規模事業、改修や保守を主な生業にしているため、必要性を感じない」、「知らなかった、広報が足りない」、「関係事業者と一斉に転換しないと効果が見込めない」、「BIMデータが流れてこない」、「周りの事務所もjwcadで業務を続けているのでそれが効率的」等が挙げられた

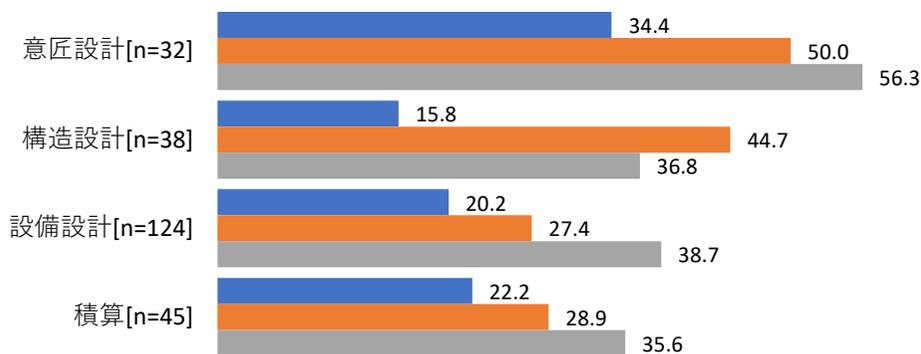
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QII-2 BIMの導入に至らない理由（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



- BIMが何に活用できるのかを詳しく知らないため
- BIMで業務を行うために何から始めればよいかわからないため
- BIMの導入効果を詳しく知らないため

<専門設計事務所の主な内訳>

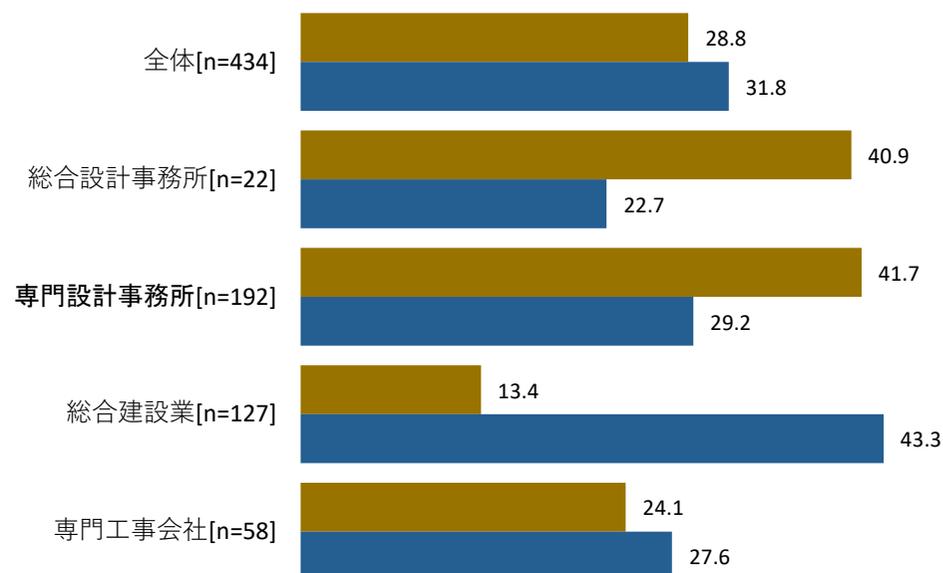
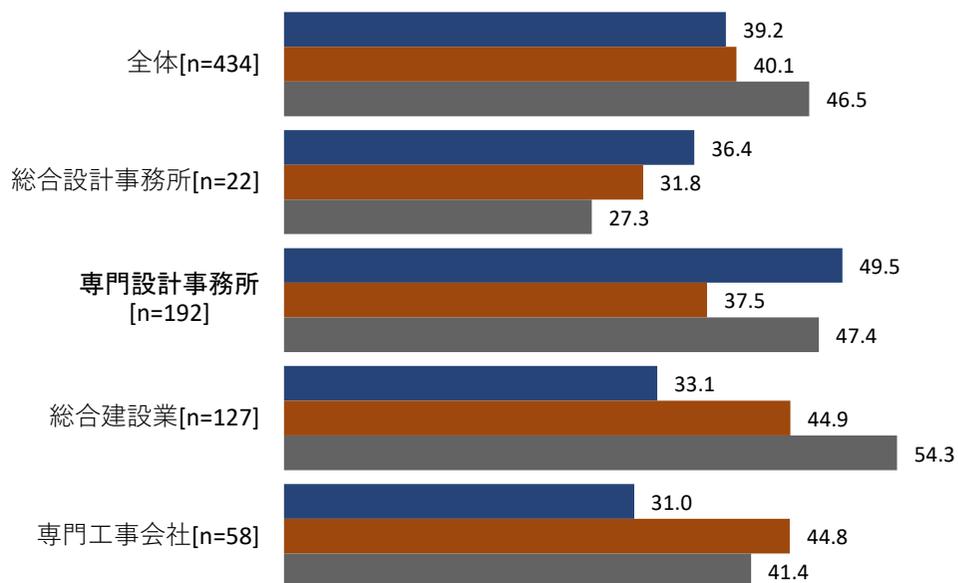


- CAD等で現状問題なく業務を行うことができているため
- BIMを習熟するまで業務負担が大きい
- BIMを活用せずに高効率な業務体制等を構築できているため

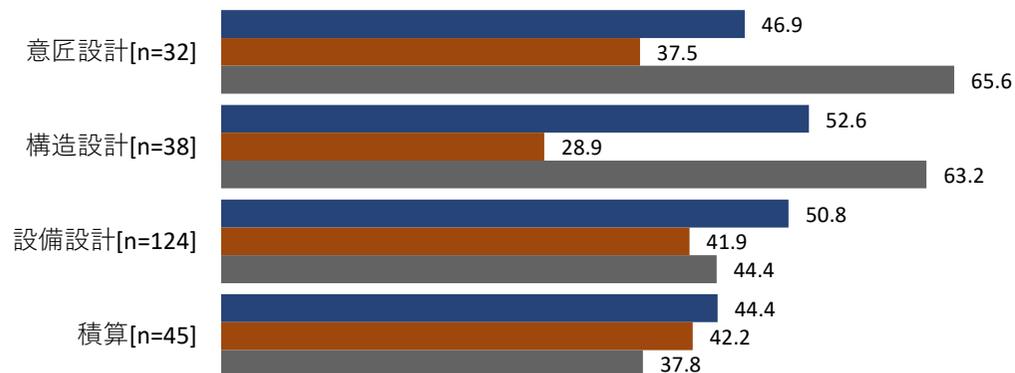
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類) × QII-2 BIMの導入に至らない理由(%)

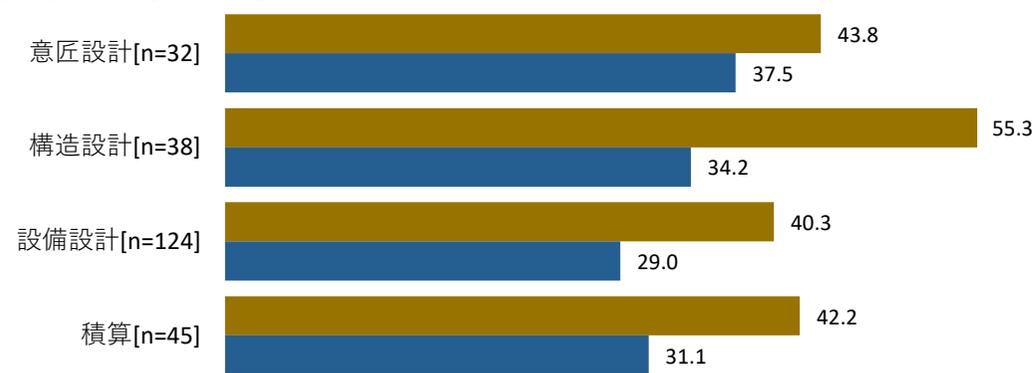


<専門設計事務所の主な内訳>



- 投資する費用を超える生産性向上効果等が現状見込めないため
- 投資する費用を超える生産性向上効果等がわからないため
- BIMを活用する人材がないため、人材育成・雇用に費用がかかるため

<専門設計事務所の主な内訳>

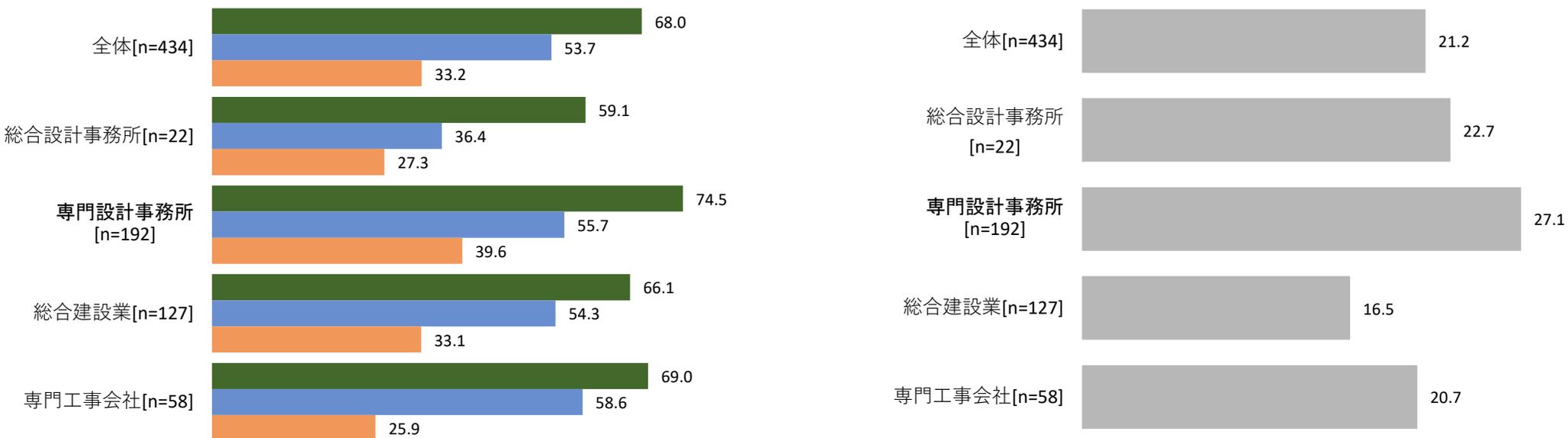


- BIMのソフト等の購入・維持に高額な費用がかかるため
- BIMのソフト等の購入・維持に必要な費用がわからないため

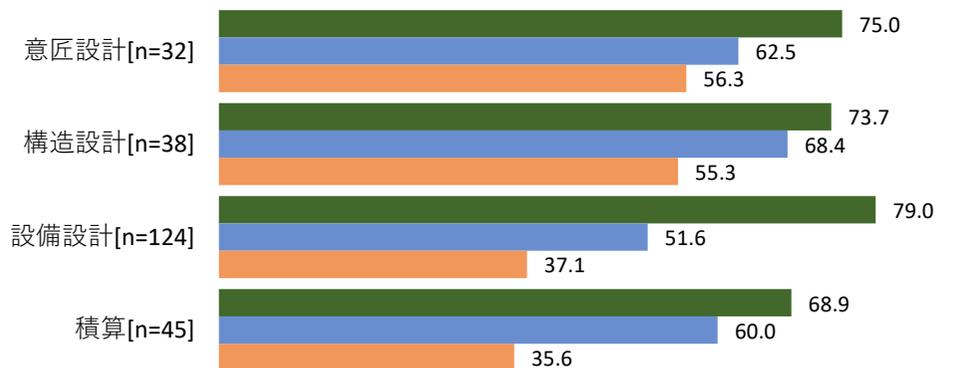
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QII-2 BIMの導入に至らない理由（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



- 発注者からBIM活用を求められていないため
- 業務上の関係者からBIM活用を求められていないため
- 他の同規模同業者がBIM活用を進めていないため

<専門設計事務所の主な内訳>



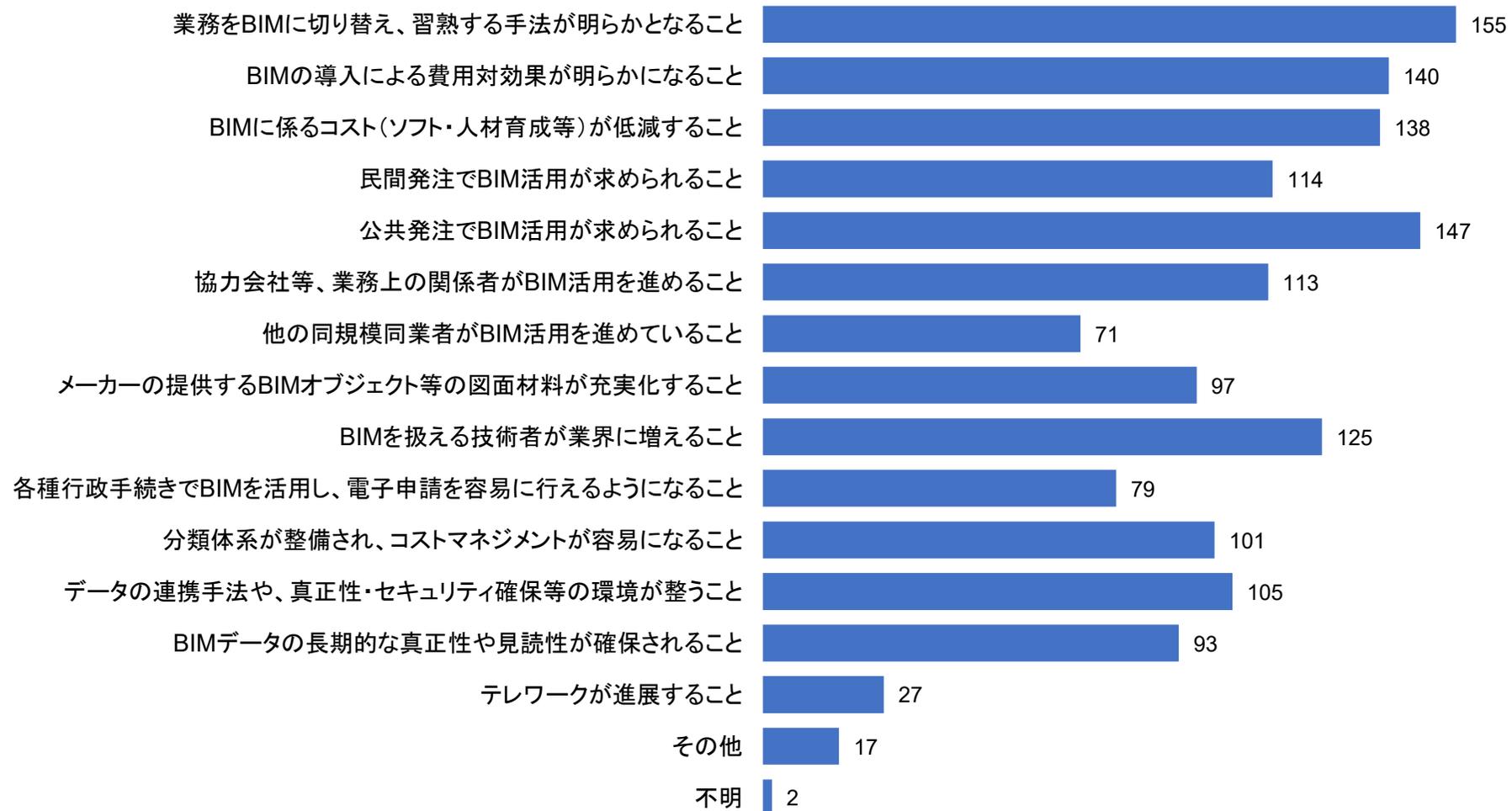
- 従来の図面等と比べて長期的な真正性や見読性が不安であるため

集計結果(単純集計) BIMを導入していない企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

QII-3 QII-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機 (n=212/複数回答/件数)



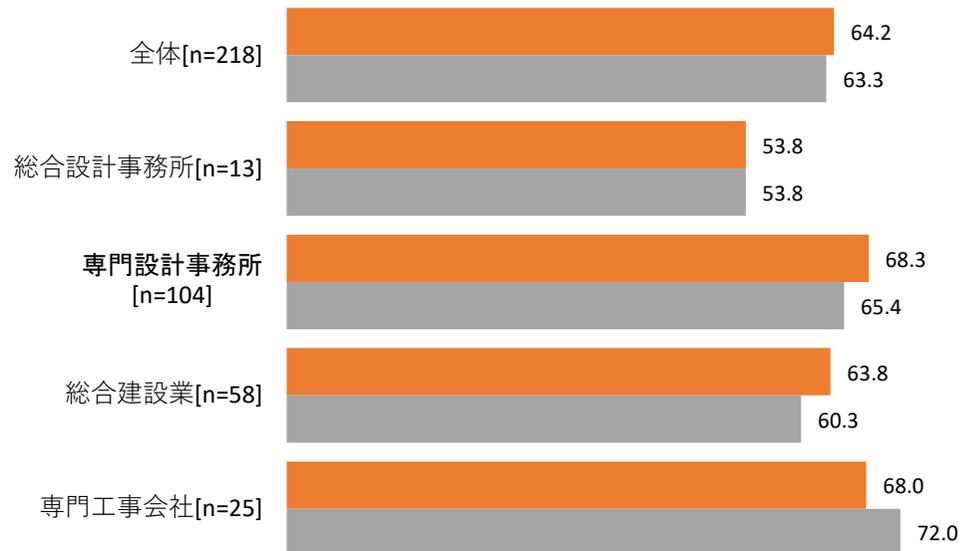
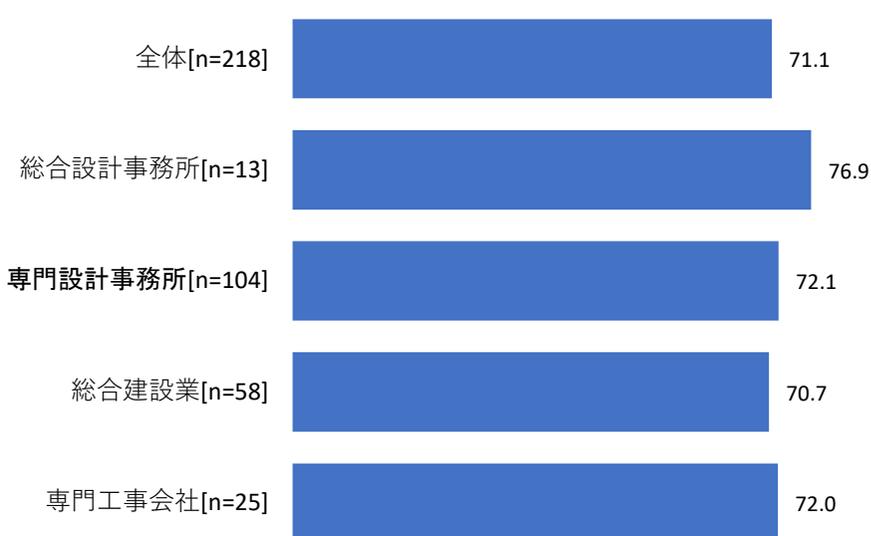
・導入に興味がある企業については、今後BIMの導入を決断する契機として、「業務をBIMに切り替え、習熟する手法が明らかとなること」や「公共発注でBIM活用が求められること」が多い。また、「コストの低減」よりも「費用対効果が明らかになること」が多い。

※「その他」の回答例として、「業務量に対する適切な報酬」、「一齐にBIMに転換し、継続的に求められること」、「ソフトの互換性」等が挙げられた

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QII-3 QII-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



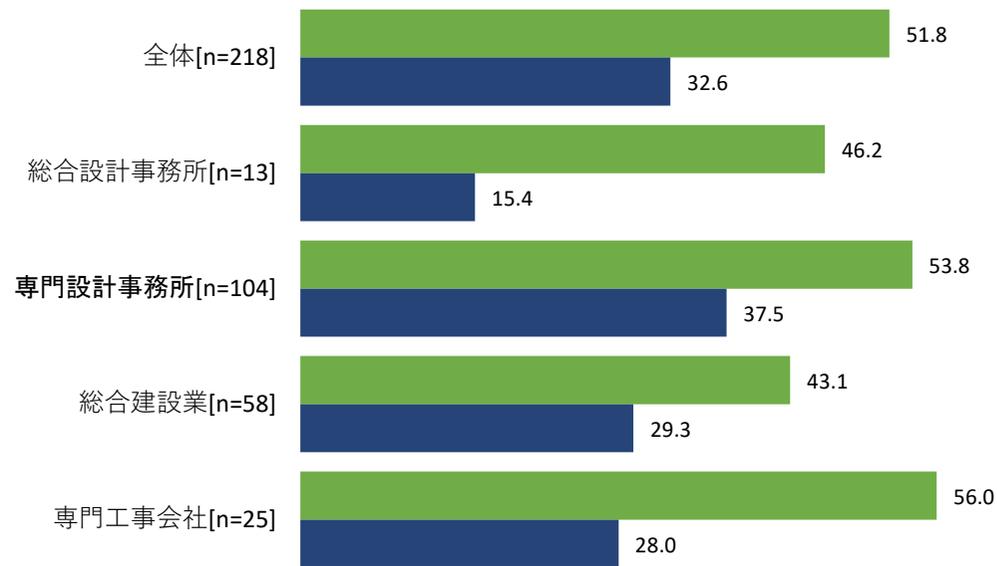
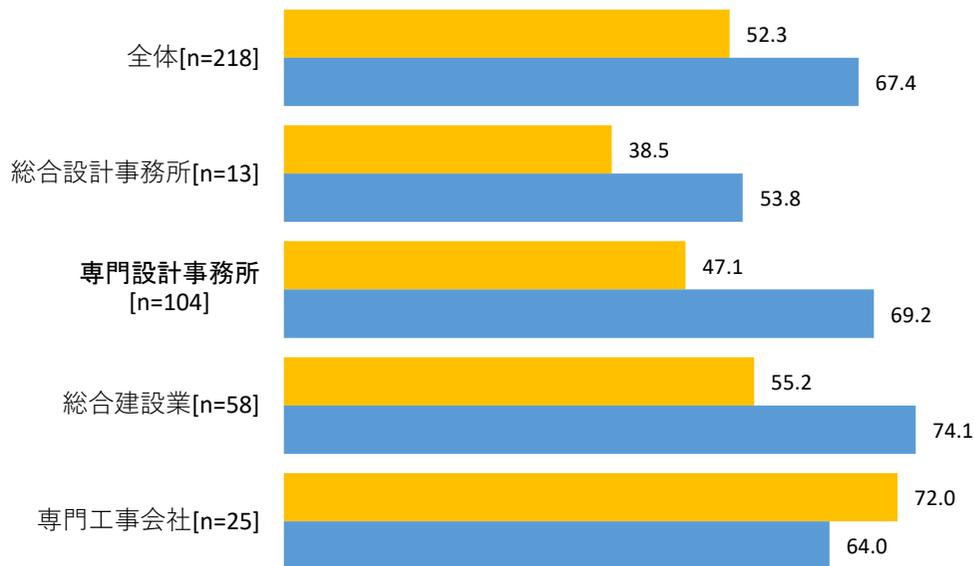
■ 業務をBIMに切り替え、習熟する手法が明らかとなること

■ BIMの導入による費用対効果が明らかになること
■ BIMに係るコスト（ソフト・人材育成等）が低減すること

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QII-3 QII-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



- 民間発注でBIM活用が求められること
- 公共発注でBIM活用が求められること

<専門設計事務所の主な内訳>

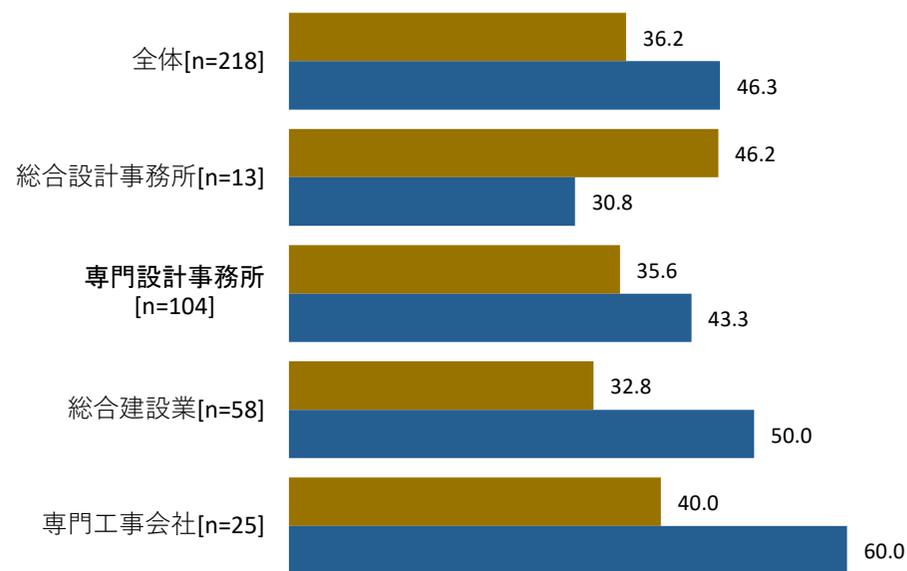
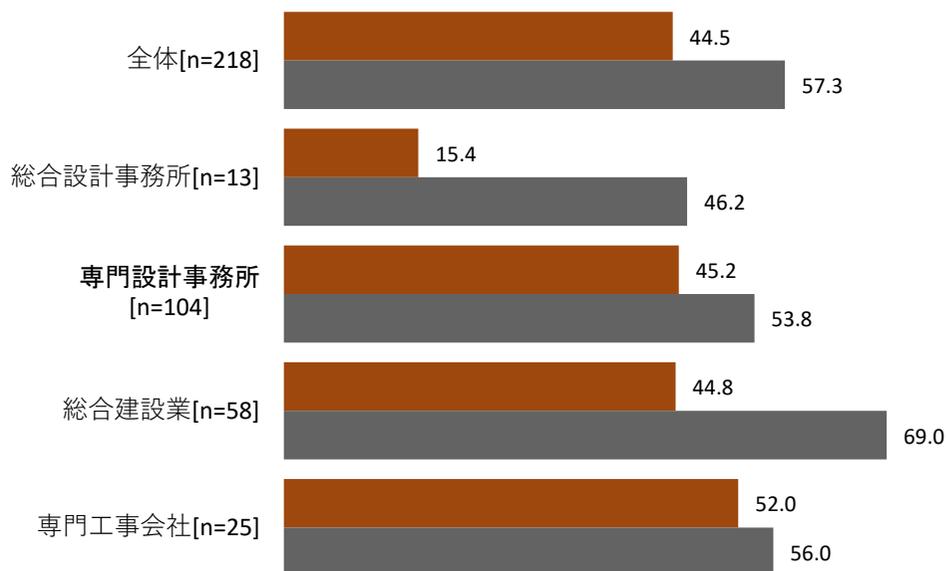


- 協力会社等、業務上の関係者がBIM活用を進めること
- 他の同規模同業者がBIM活用を進めていること

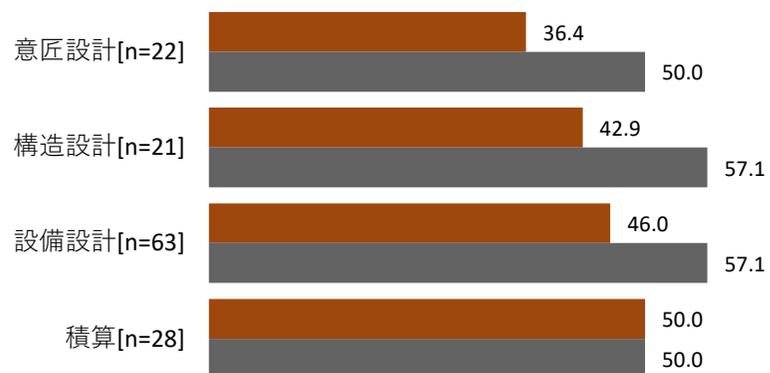
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QII-3 QII-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機（%）

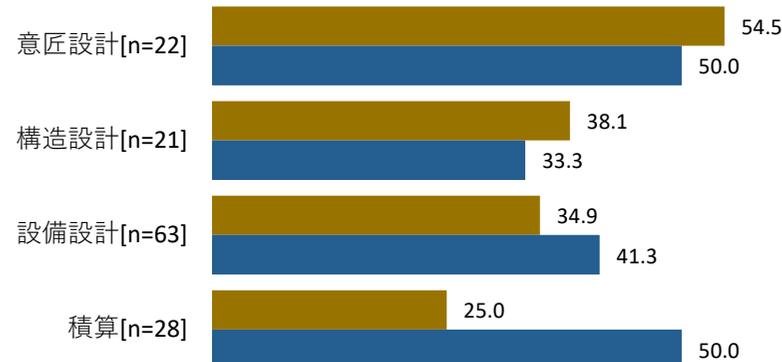


<専門設計事務所の主な内訳>



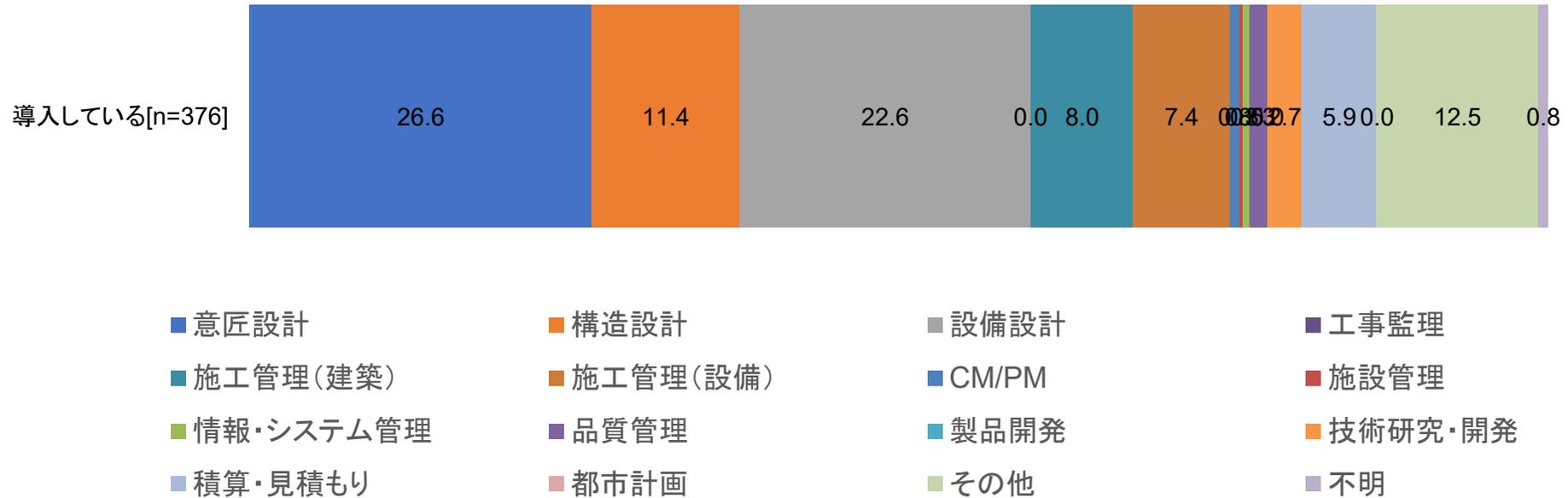
- メーカーの提供するBIMオブジェクト等の図面材料が充実化すること
- BIMを扱える技術者が業界に増えること

<専門設計事務所の主な内訳>



- 各種行政手続きでBIMを活用し、電子申請を容易に行えるようになること
- 分類体系が整備され、コストマネジメントが容易になること

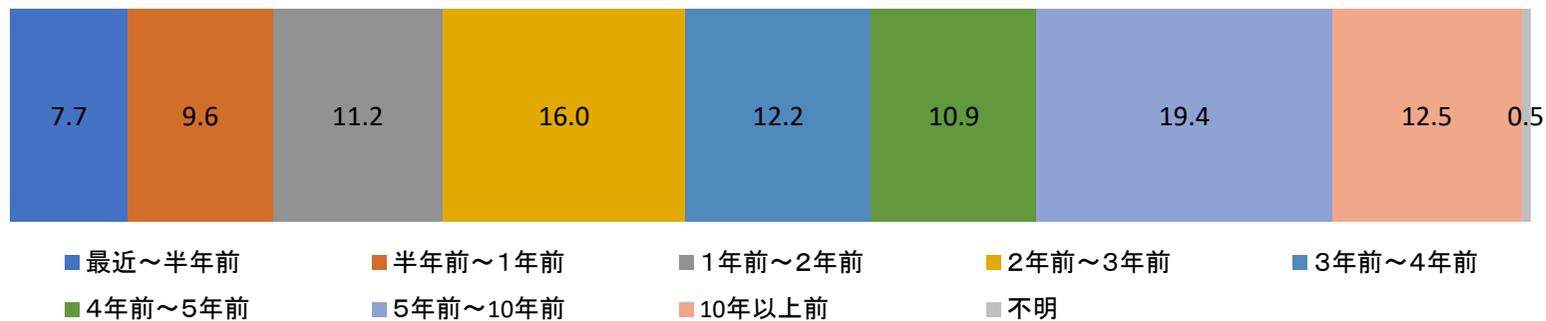
クロス集計：Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況×Q3 アンケート調査回答者の所属部署（%）



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q8 所属部署でBIMを導入した時期 (n=376/単一回答/%)

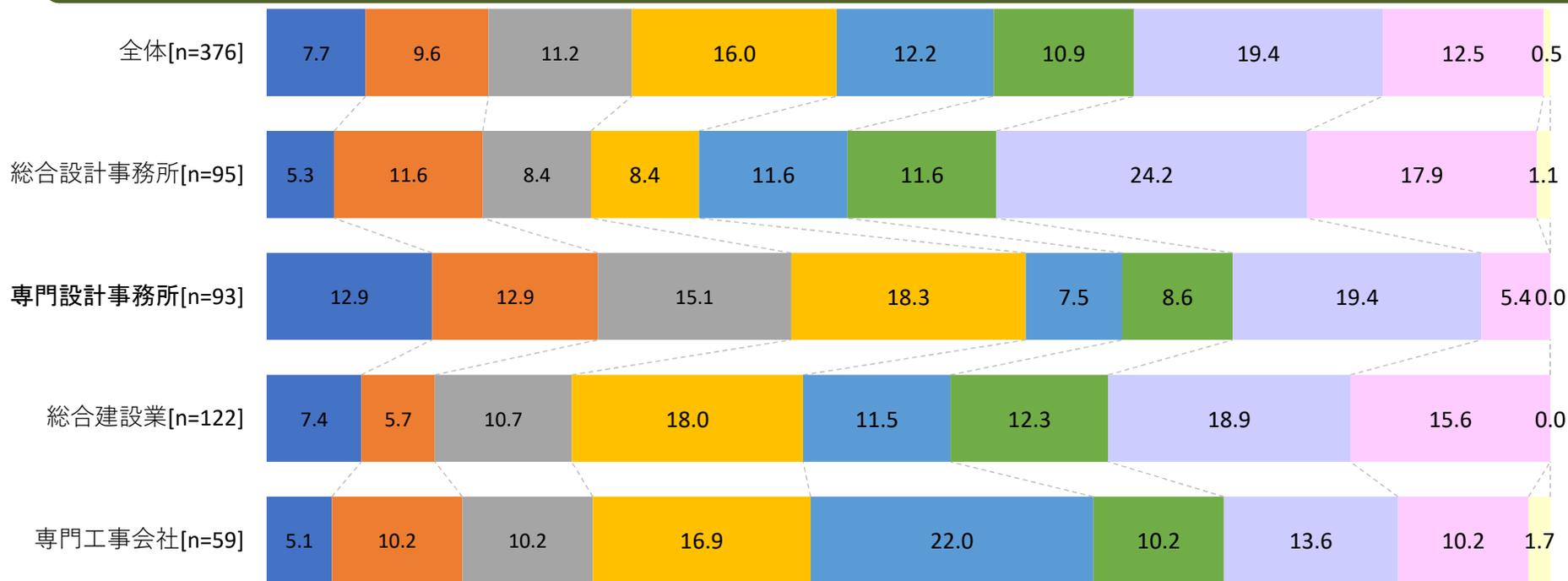


・BIMを導入している企業について、導入した時期として、「最近～3年前」が約45%

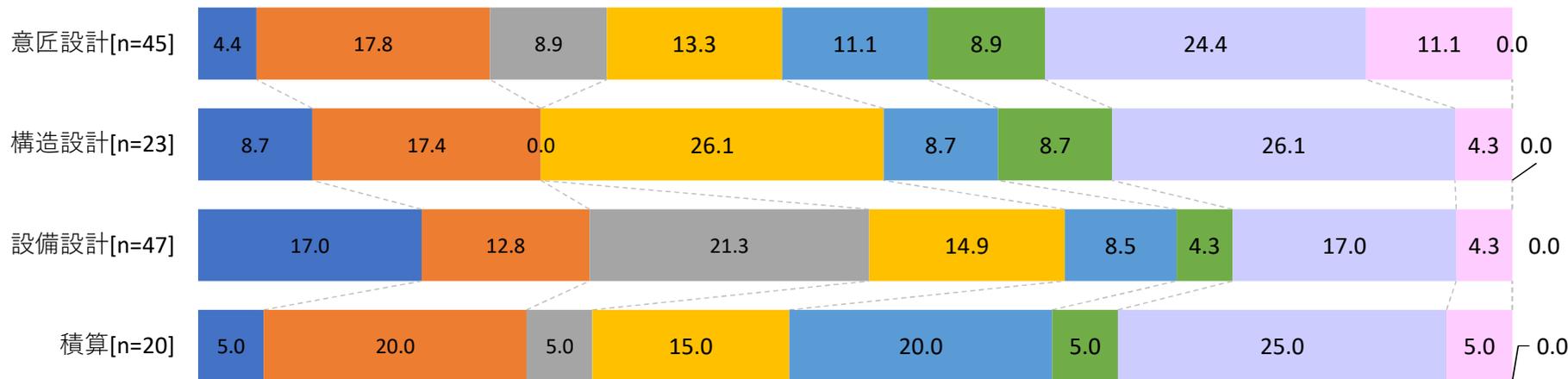
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q8 所属部署でBIMを導入した時期（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 最近～半年前
 ■ 半年前～1年前
 ■ 1年前～2年前
 ■ 2年前～3年前
 ■ 3年前～4年前
■ 4年前～5年前
 ■ 5年前～10年前
 ■ 10年以上前
 ■ 不明

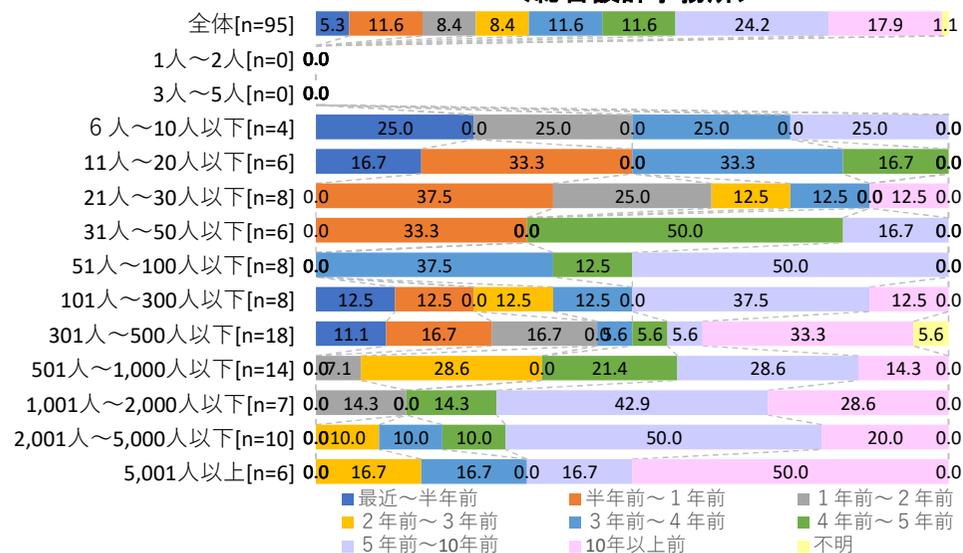
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

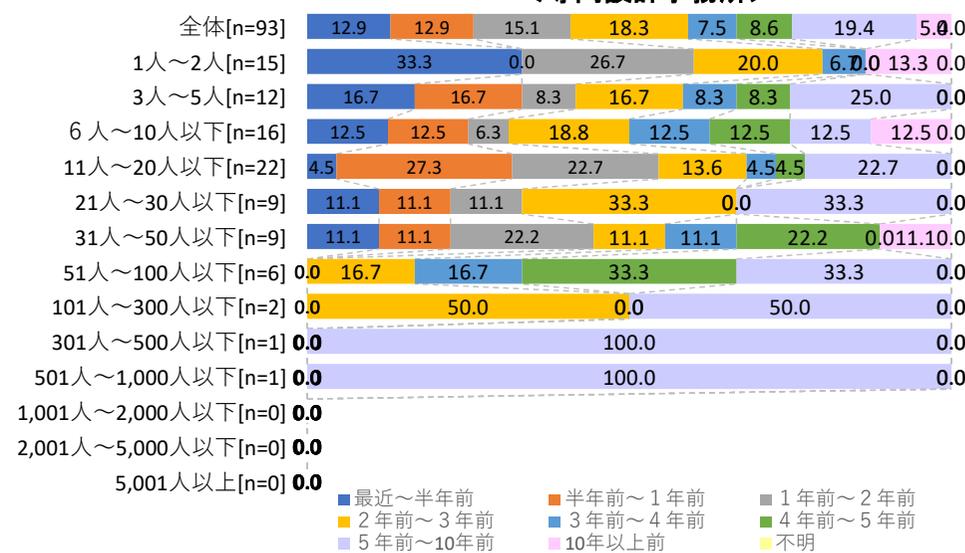
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計 : Q1A 企業の属性 (大分類) ×
Q2 所属する企業の規模 (従業員数) × Q8 所属部署でBIMを導入した時期(%)

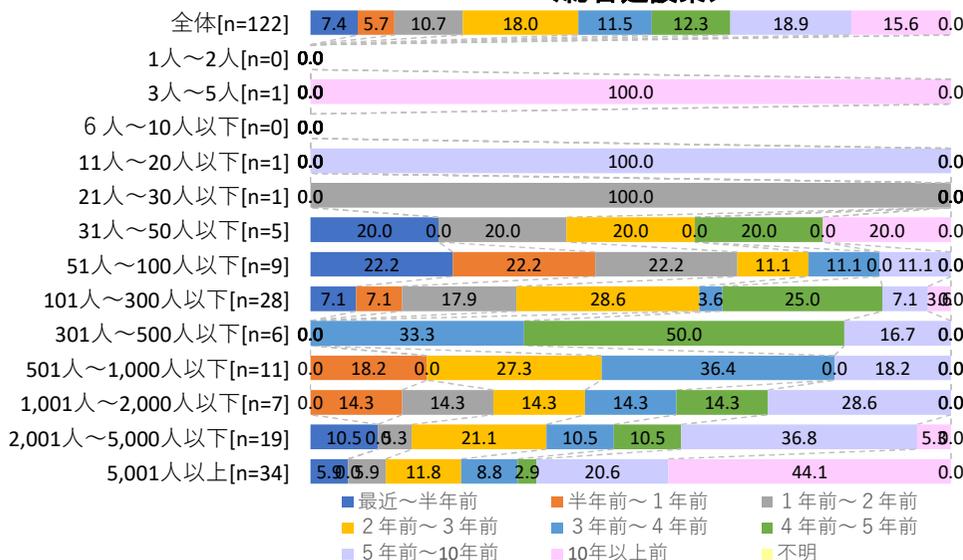
<総合設計事務所>



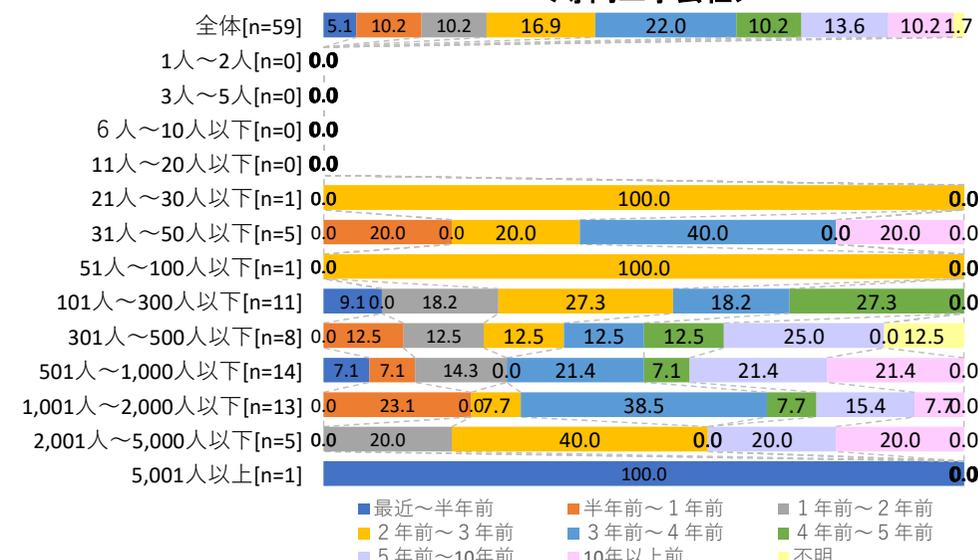
<専門設計事務所>



<総合建設業>



<専門工事会社>

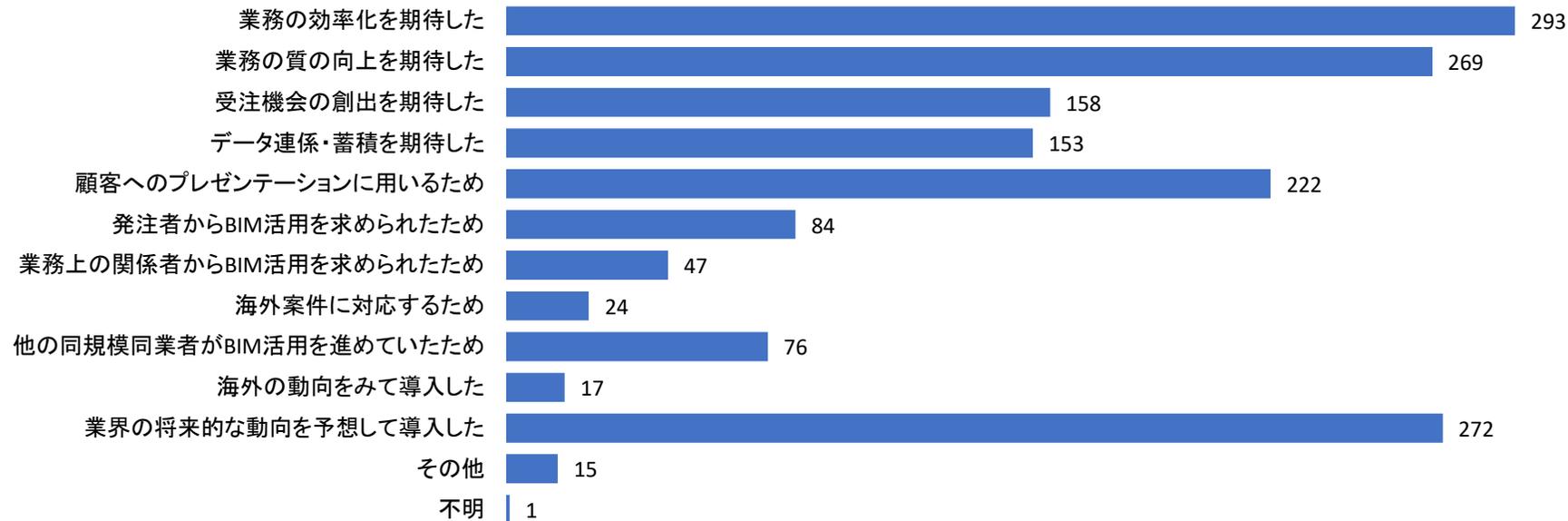


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q9 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ (n=376/複数回答/件数)



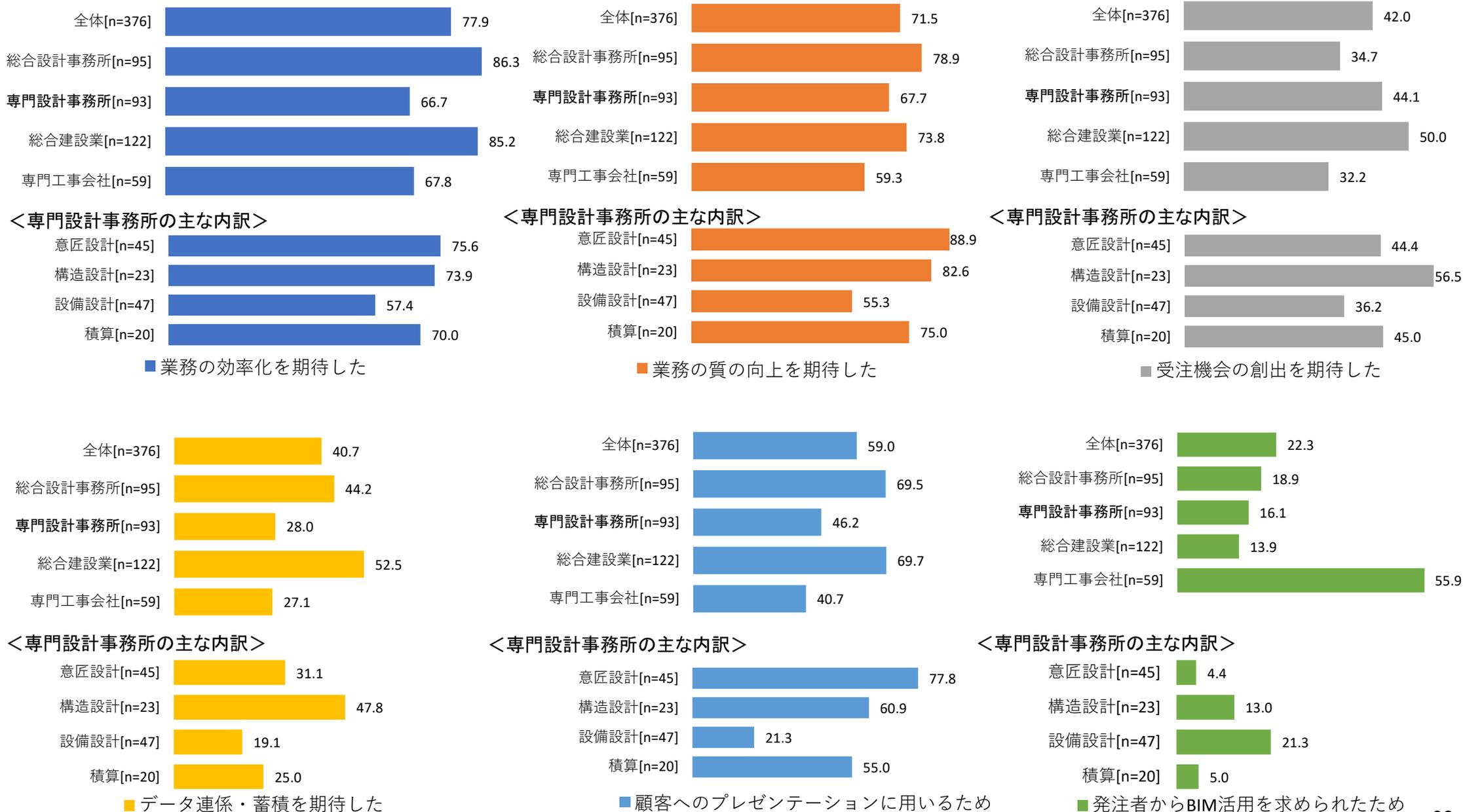
・BIMの導入の背景やきっかけとして、約7割超が「業務の効率化」や「業務の質の向上」の期待、「業界の将来的な動向を予想した導入」と回答

※「その他」の回答例として、「自社製品PR・販売促進」、「光環境等のシミュレーションのため」等が挙げられた

集計結果(クロス集計・属性別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

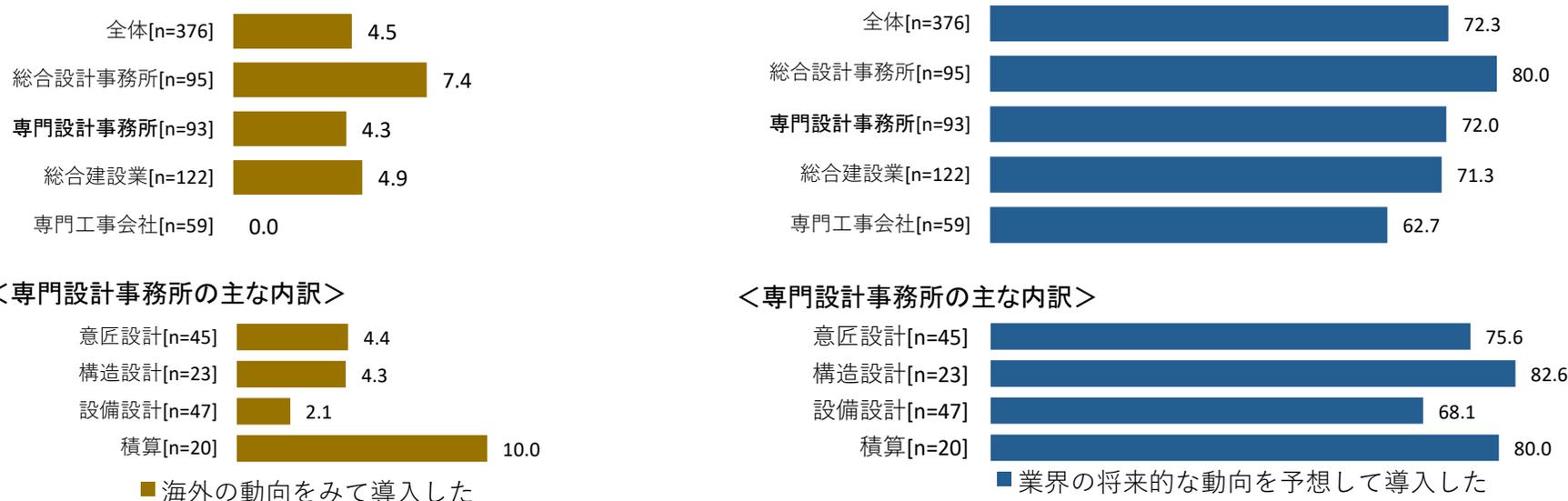
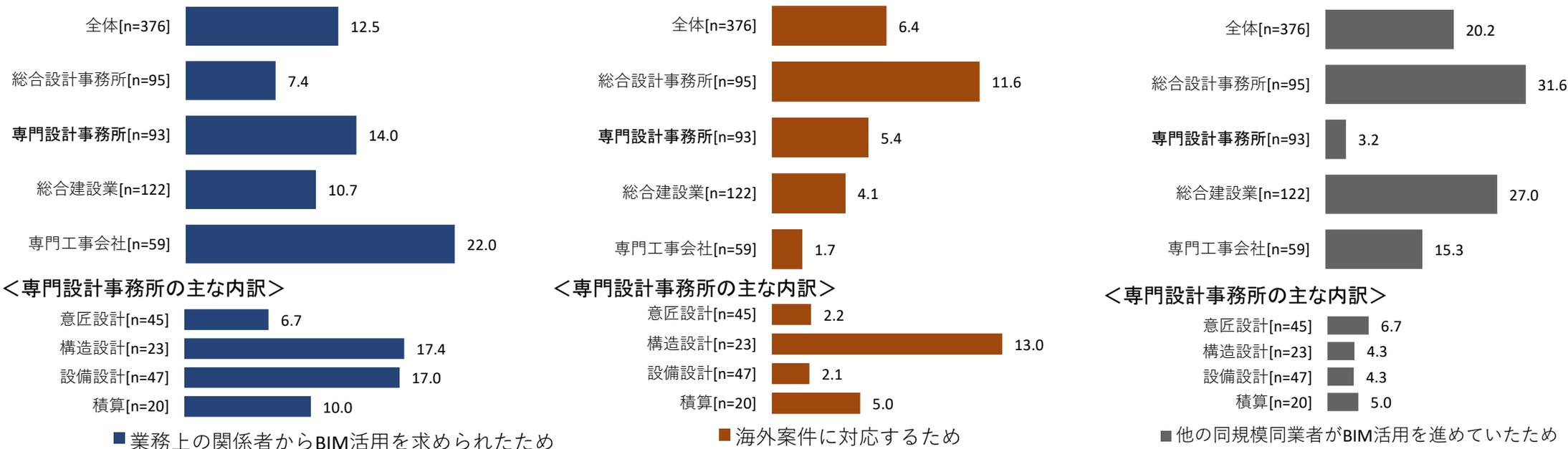
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q9 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ（%）



集計結果(クロス集計・属性別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q9 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ（%）

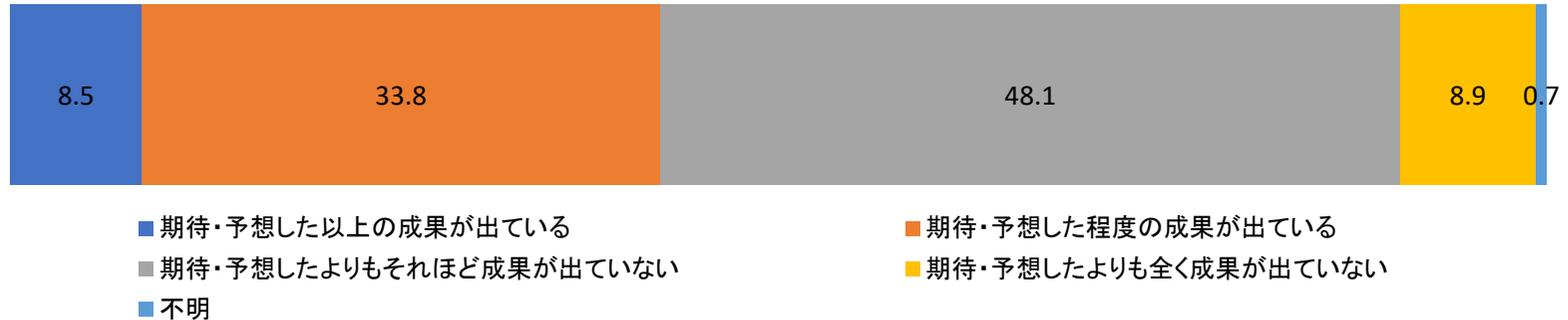


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

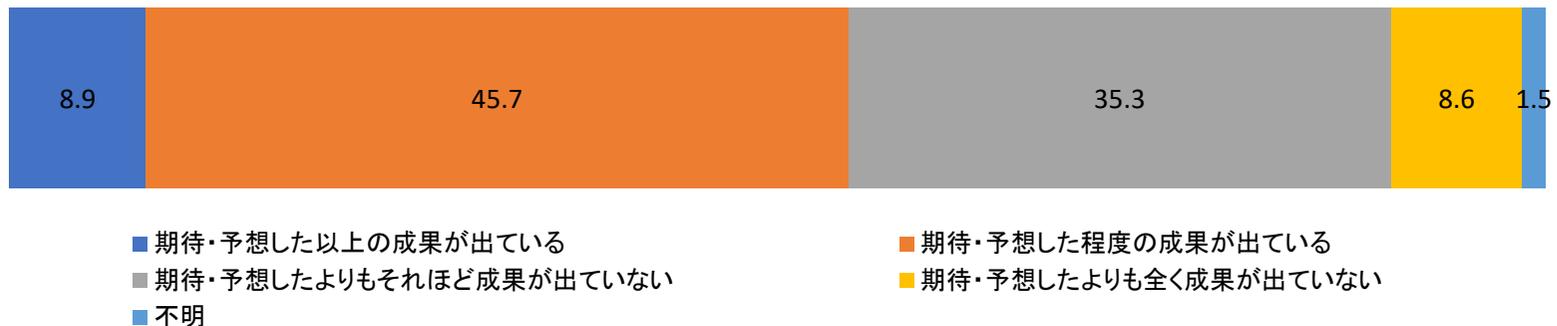
【Q9 「所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ」の回答に対する現状の評価について】

Q10① 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【①業務の効率化を期待した】(n=293/単一回答/%)



・現時点の業務効率化の評価として、成果が出ているという回答は約4割

Q10② 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【②業務の質の向上を期待した】(n=269/単一回答/%)

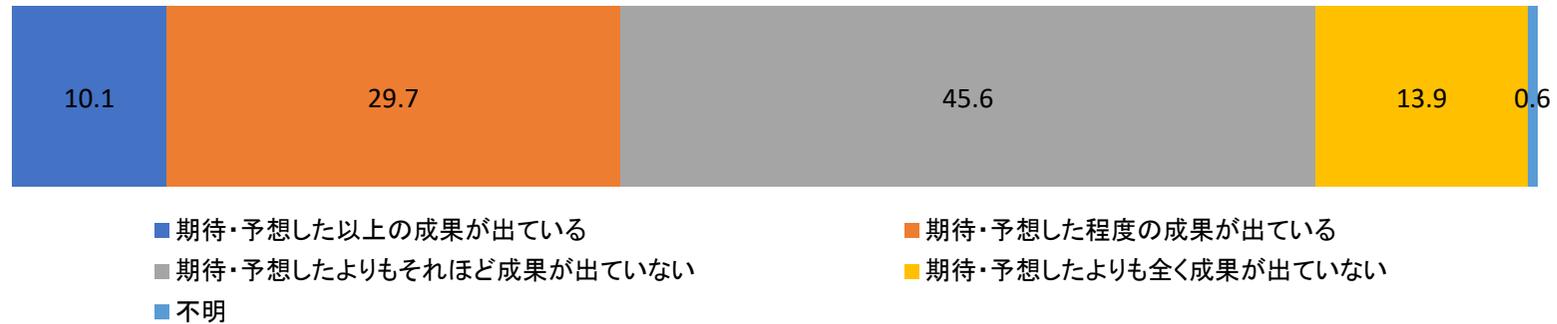


・現時点の業務の質の向上の評価として、成果が出ているという回答は約55%

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

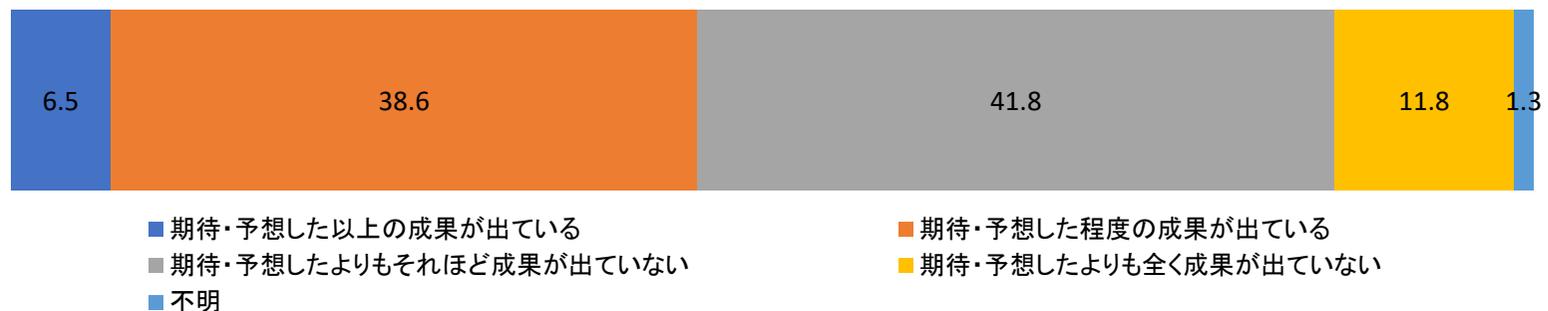
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q10③ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【③受注機会の創出を期待した】(n=158/単一回答/%)



・現時点の受注機会の創出の評価として、成果が出ているという回答は約4割

Q10④ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【④データ関係・蓄積を期待した】(n=153/単一回答/%)



・現時点のデータ連携・蓄積の評価として、成果が出ているという回答は約45%

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q10⑤ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため】

(n=222/単一回答/%)



・現時点の顧客へのプレゼン活用の評価として、成果が出ているという回答は約8割

Q10⑥ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【⑥発注者からBIM活用を求められた】

(n=84/単一回答/%)

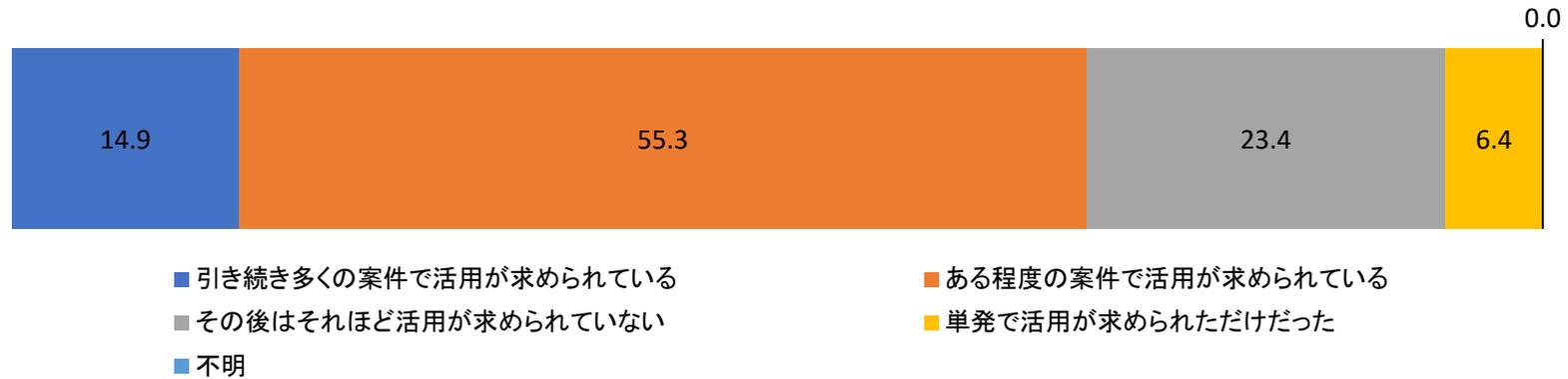


・発注者からBIM活用を求められて導入した場合、約7割で引き続き活用が求められている

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート (R3年1月 国土交通省調べ)

Q10⑦ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められた】 (n=47/単一回答/%)



・協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められて導入した場合、約 7 割で引き続き活用が求められている

Q10⑧ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑧海外案件に対応するため】(n=24/単一回答/%)



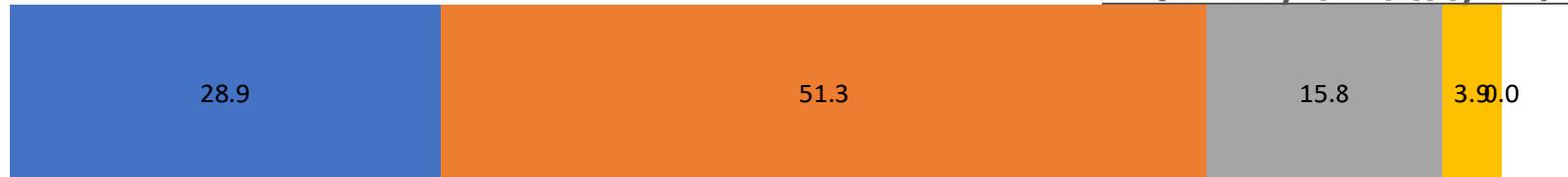
・海外案件に対応するためBIMを導入した場合、約 8 割で引き続き活用が求められている

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q10⑨ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていた】

(n=76/単一回答/%)



- 引き続き他の同規模同業者がBIMの活用を積極的に進めており、BIMを導入してとてもよかった
- ある程度、他の同規模同業者がBIMの活用を進めており、BIMを導入してよかった
- 思ったほど他の同規模同業者はBIMの活用を進めていないため、当初の狙いとは少し違った
- 他の同規模同業者は現状、BIMの活用を進めていないため、当初の狙いとは違った
- 不明

・他の同規模同業者がBIM活用を進めていたことによりBIMを導入場合、約8割は、同業者が活用を進めており、導入してよかったと回答

Q10⑩ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑩海外の動向をみて導入した】 (n=17/単一回答/%)



- 引き続き海外の動向をみるとBIMの活用を積極的に進めており、BIMを導入してとてもよかった
- ある程度、海外の動向をみるとBIMの活用を進めており、BIMを導入してよかった
- 思ったほど海外の動向をみるとBIMの活用を進めていないため、当初の狙いとは少し違った
- 海外の動向をみると現状、BIMの活用を進めていないため、当初の狙いとは違った
- 不明

・海外の動向をみてBIMを導入場合、すべての企業が、海外同行をみるとBIMの活用を進めており、導入してよかったと回答

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q10⑪ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑪業界の将来的な動向を予想して導入した】
(n=272/単一回答/%)



- 業界内でBIMの活用が積極的に進んでおり、BIMを導入してとてもよかった
- ある程度、業界内でBIMの活用が進んでおり、BIMを導入してよかった
- 思ったほど業界内でBIMの活用が進んでいないため、当初の狙いとは少し違った
- 業界内では現状、BIMの活用が進んでいないため、当初の狙いとは違った
- 不明

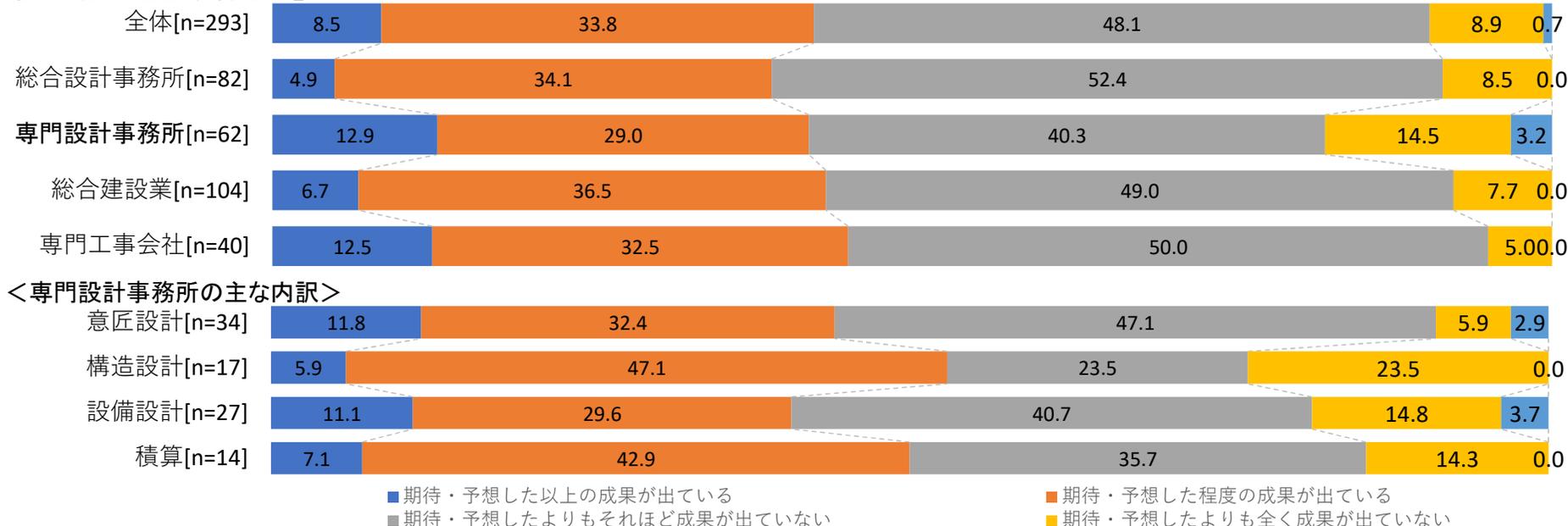
・半数強が、業界内でBIMの活用が進んでおり、導入してよかったと回答

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

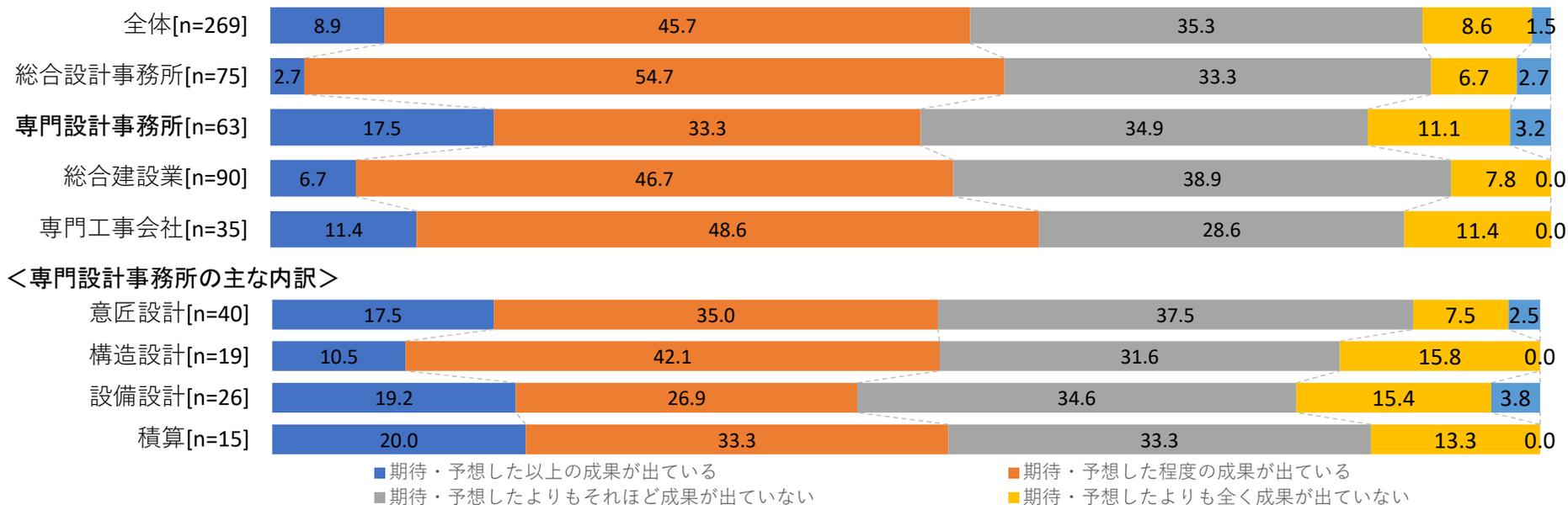
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10① 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【①業務の効率化を期待した】



【②業務の質の向上を期待した】

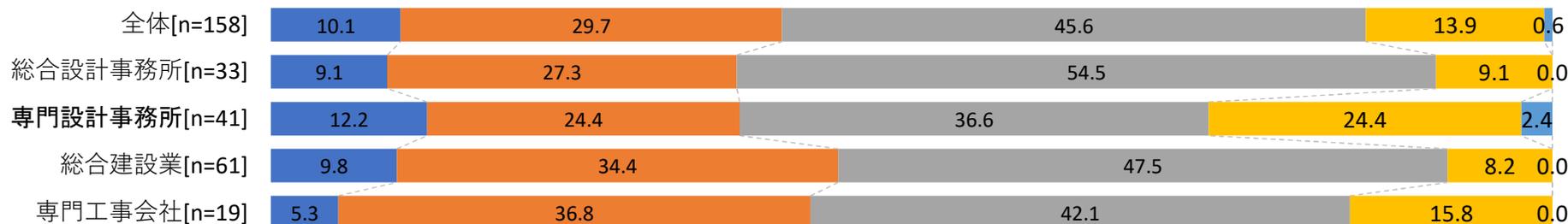


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

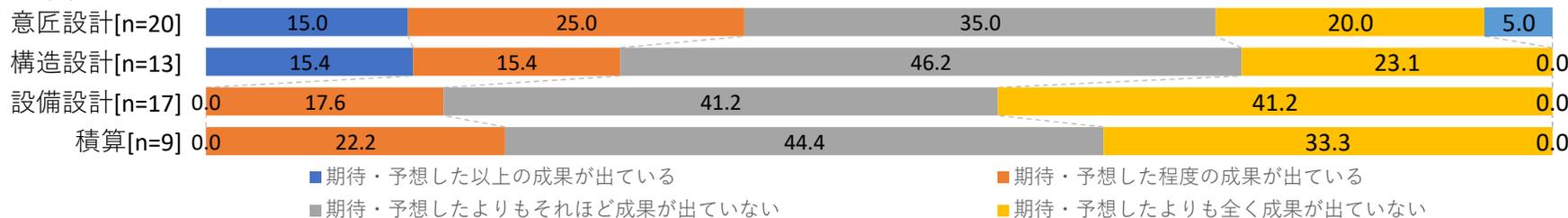
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類)×Q10③④ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【③受注機会の創出を期待した】

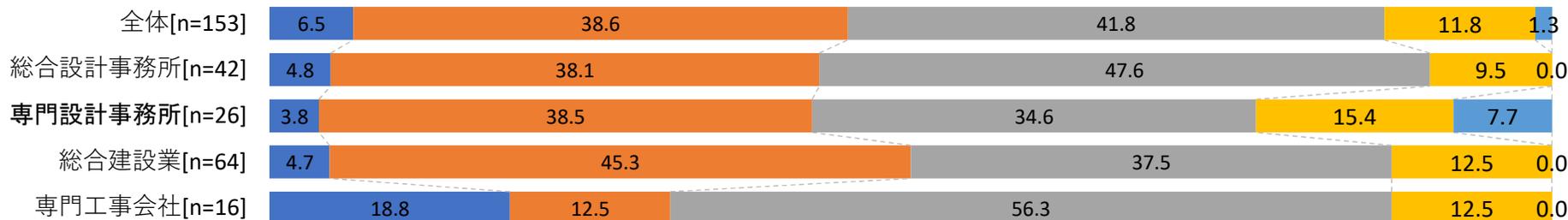


<専門設計事務所の主な内訳>

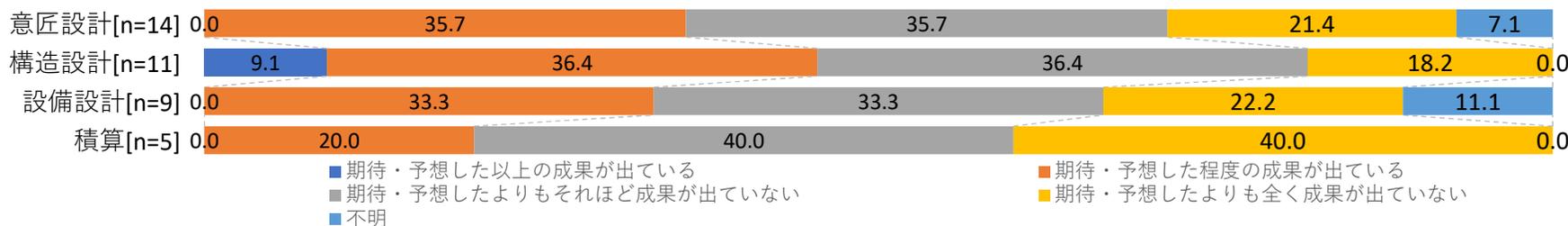


■ 期待・予想した以上の成果が出ている
 ■ 期待・予想した程度の成果が出ている
 ■ 期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
 ■ 期待・予想したよりも全く成果が出ていない

【④データ関係・蓄積を期待した】



<専門設計事務所の主な内訳>



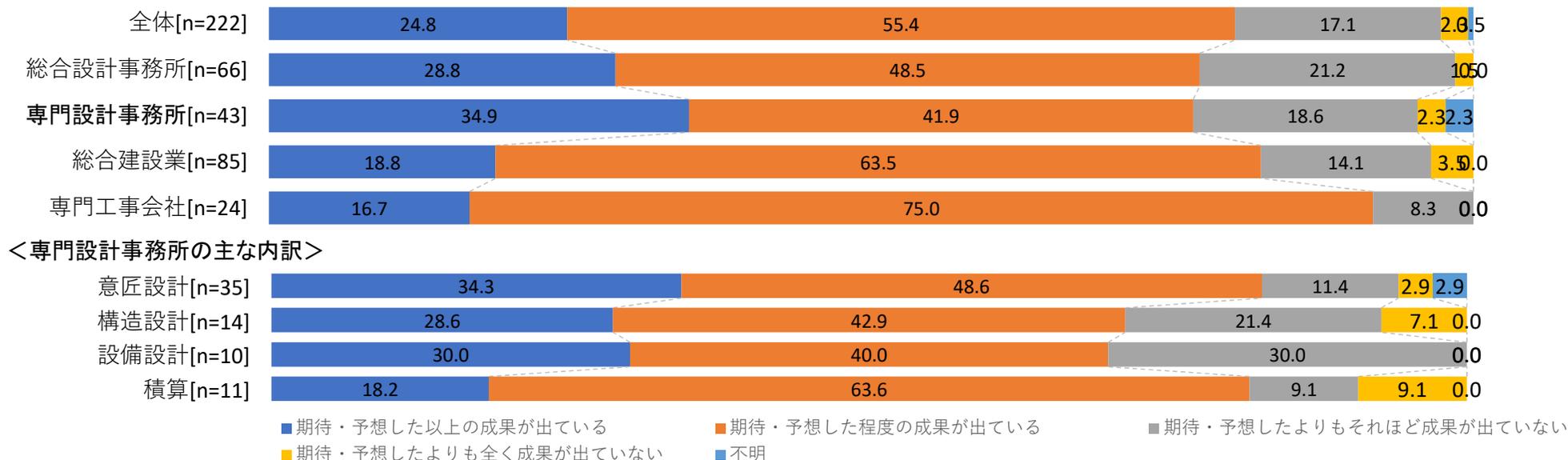
■ 期待・予想した以上の成果が出ている
 ■ 期待・予想した程度の成果が出ている
 ■ 期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
 ■ 期待・予想したよりも全く成果が出ていない
 ■ 不明

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

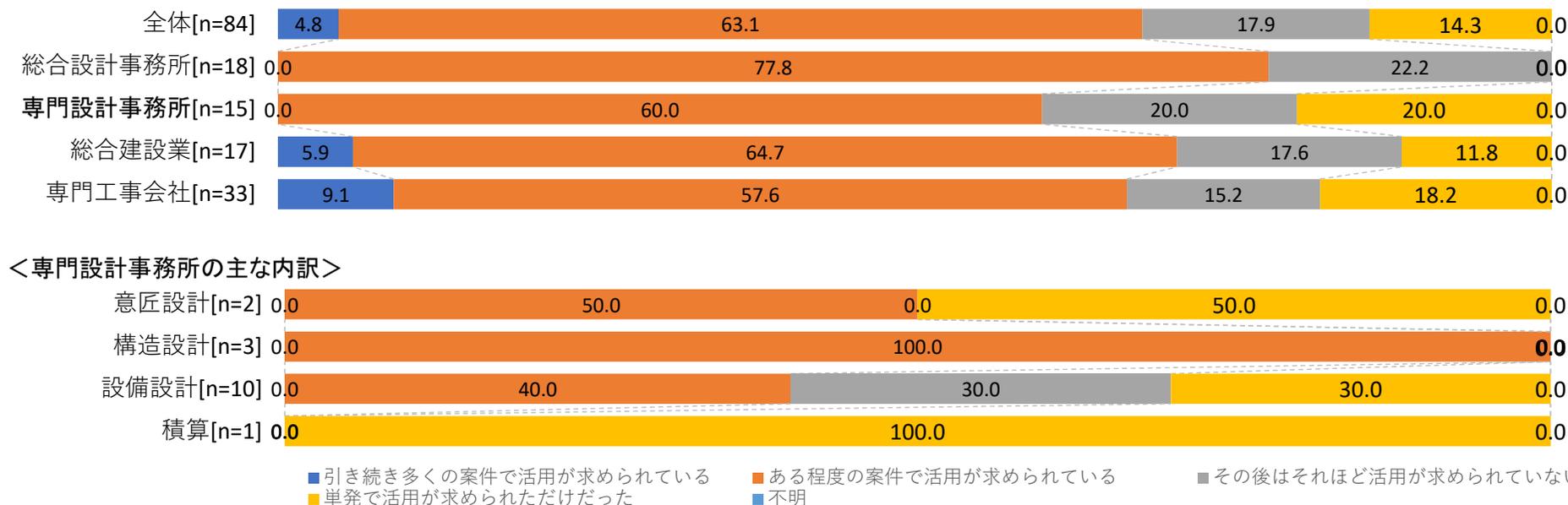
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10⑤⑥ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため】



【⑥発注者からBIM活用を求められた】



集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

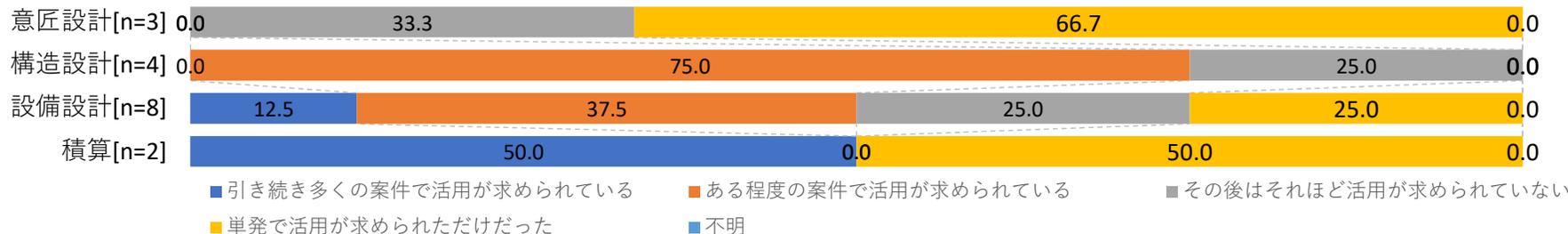
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10⑦⑧ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

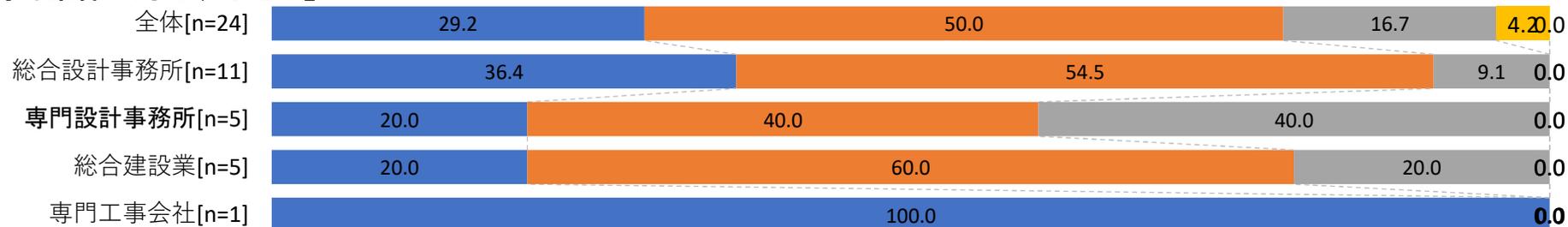
【⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められた】



<専門設計事務所の主な内訳>



【⑧海外案件に対応するため】



<専門設計事務所の主な内訳>

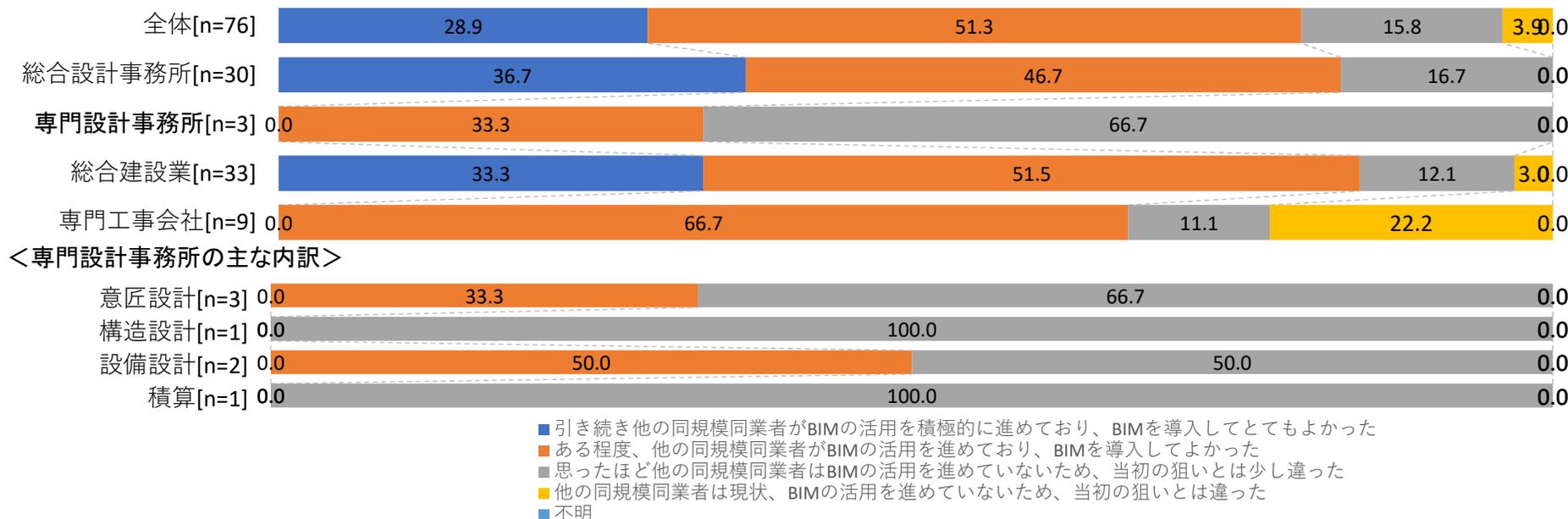


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

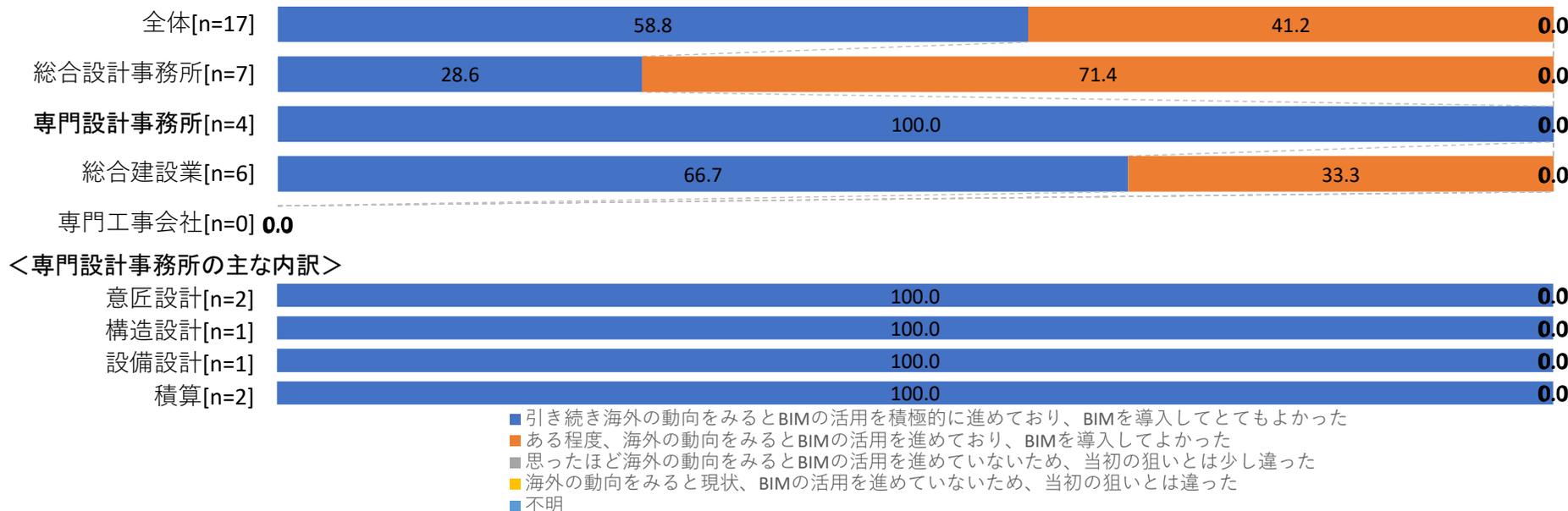
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10⑨⑩ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていた】



【⑩海外の動向をみて導入した】

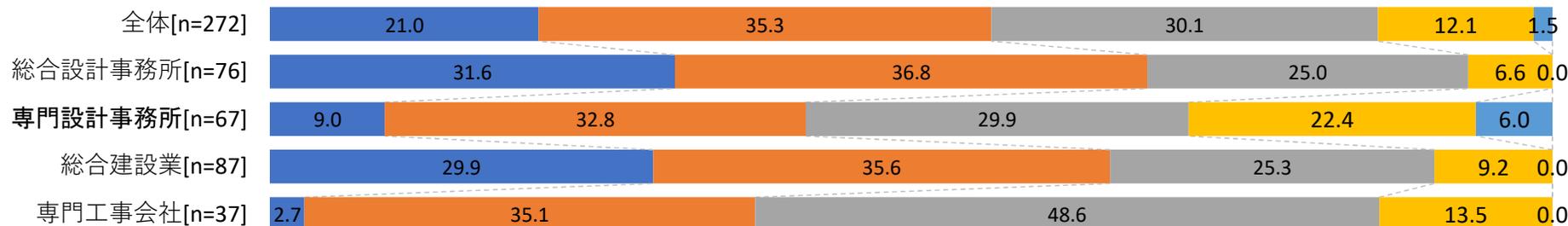


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

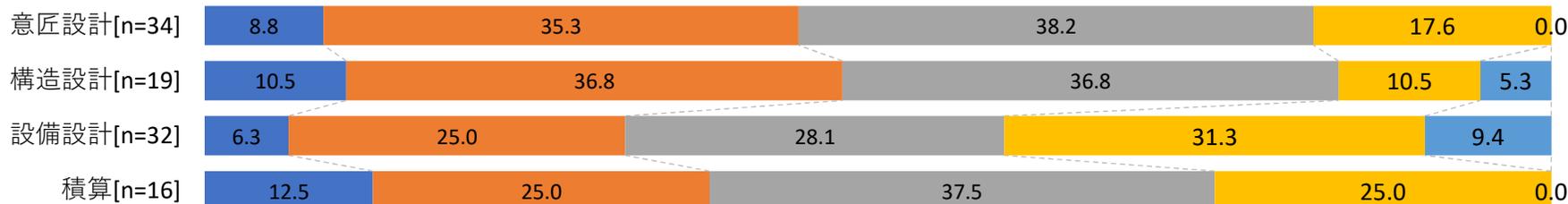
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10^⑪ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【^⑪業界の将来的な動向を予想して導入した】



<専門設計事務所の主な内訳>



- 業界内でBIMの活用が積極的に進んでおり、BIMを導入してとてもよかった
- ある程度、業界内でBIMの活用が進んでおり、BIMを導入してよかった
- 思ったほど業界内でBIMの活用が進んでいないため、当初の狙いとは少し違った
- 業界内では現状、BIMの活用が進んでいないため、当初の狙いとは違った
- 不明

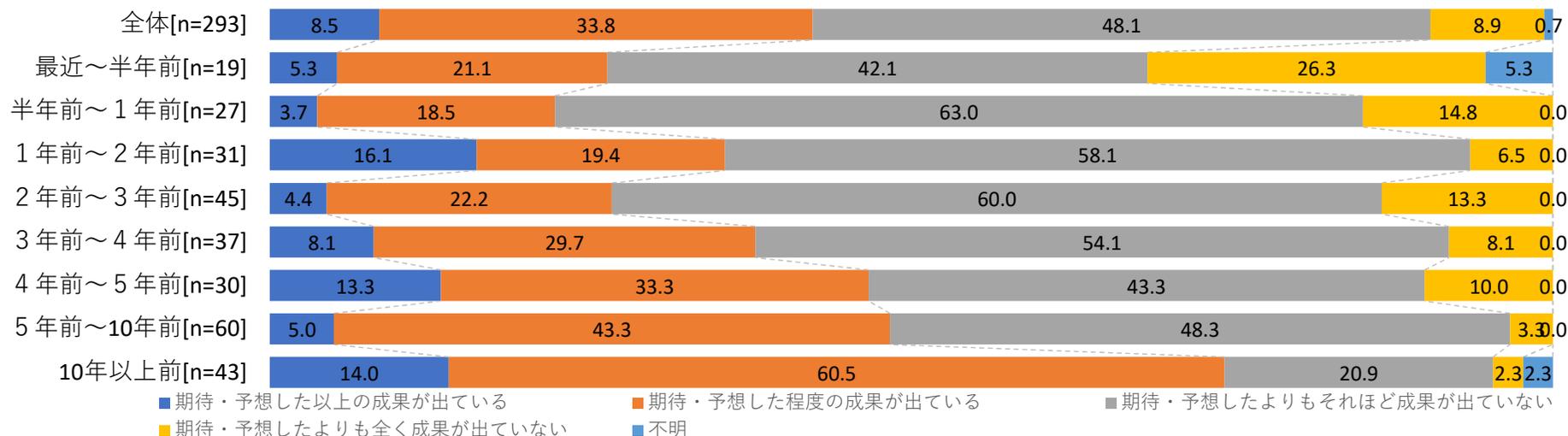
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

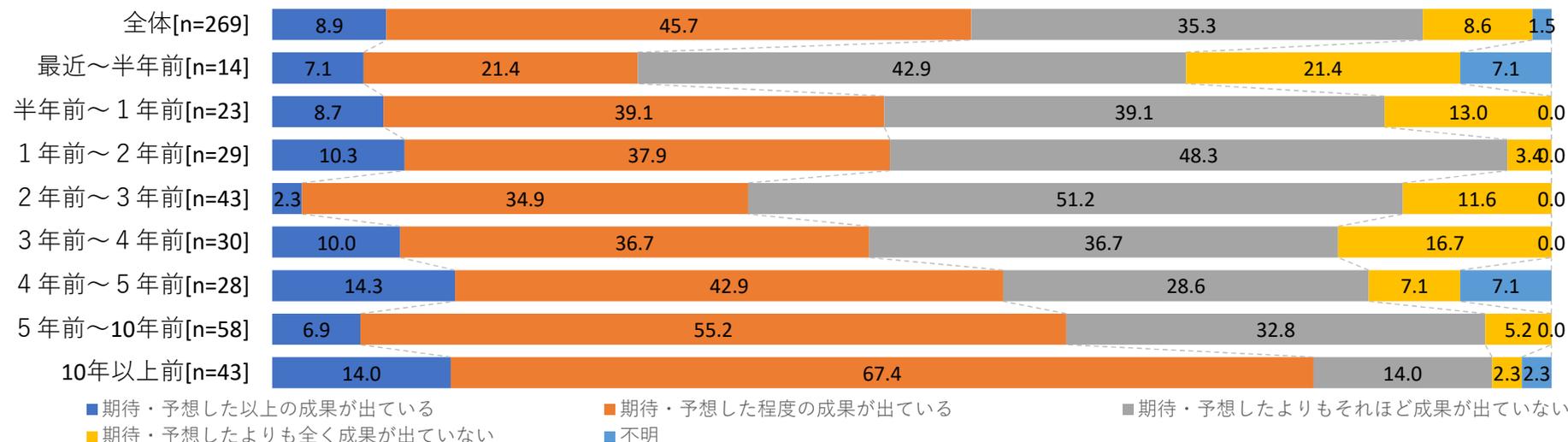
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

【①業務の効率化を期待した】



【②業務の質の向上を期待した】



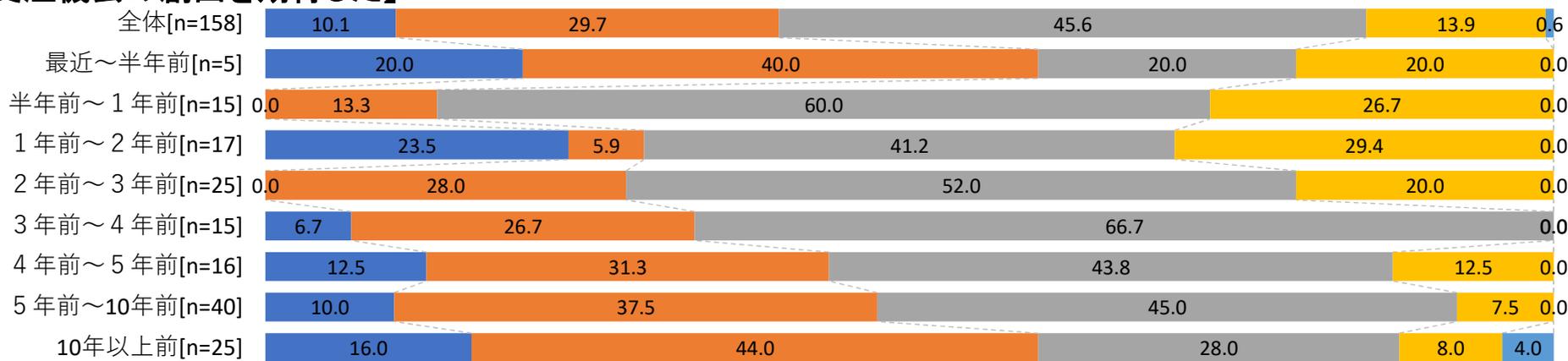
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

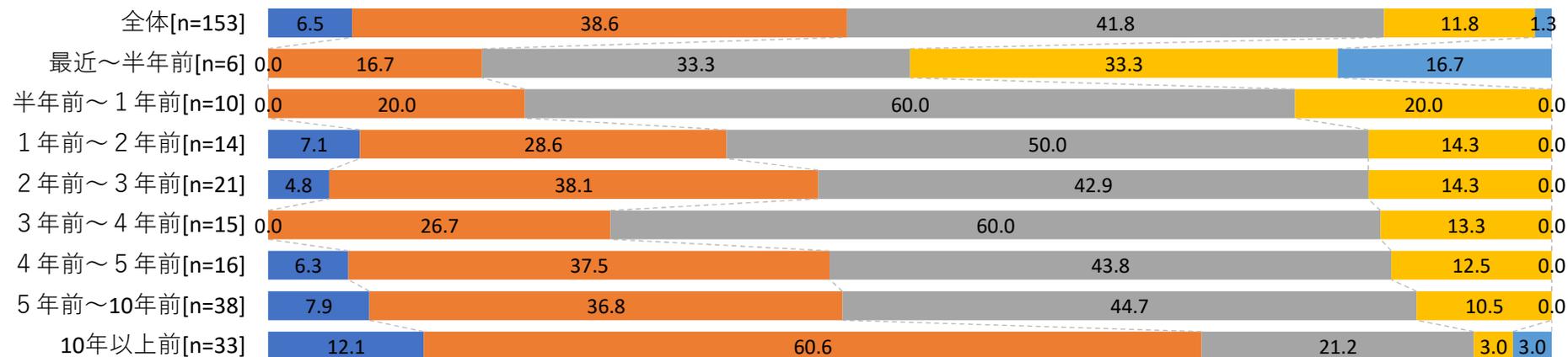
クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【③受注機会の創出を期待した】



■期待・予想した以上の成果が出ている ■期待・予想した程度の成果が出ている ■期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない ■期待・予想したよりも全く成果が出ていない ■不明

【④データ関係・蓄積を期待した】



■期待・予想した以上の成果が出ている ■期待・予想した程度の成果が出ている ■期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない ■期待・予想したよりも全く成果が出ていない ■不明

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため】



■期待・予想した以上の成果が出ている ■期待・予想した程度の成果が出ている ■期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない ■期待・予想したよりも全く成果が出ていない ■不明

【⑥発注者からBIM活用を求められた】



■引き続き多くの案件で活用が求められている ■ある程度の案件で活用が求められている ■その後はそれほど活用が求められていない ■単発で活用が求められたりだけだった ■不明

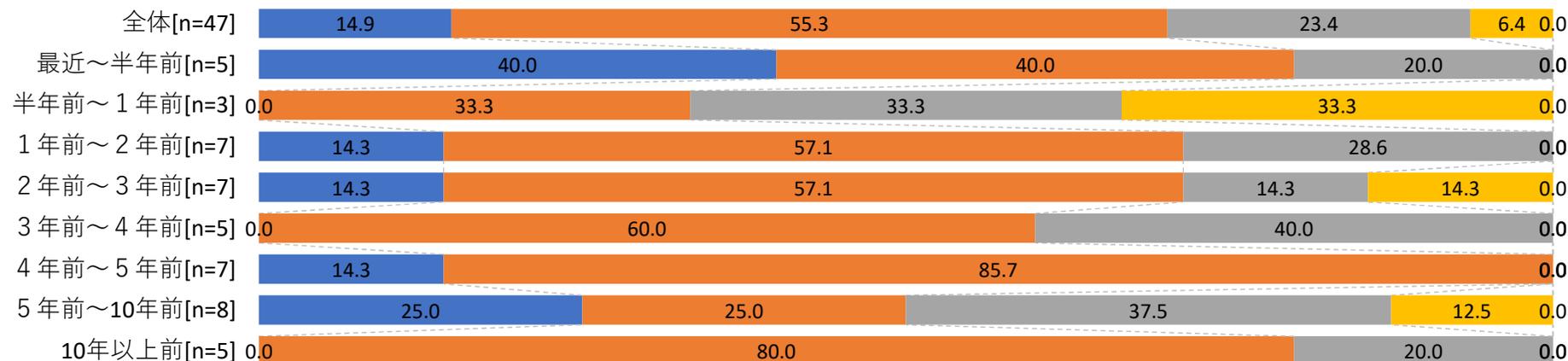
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

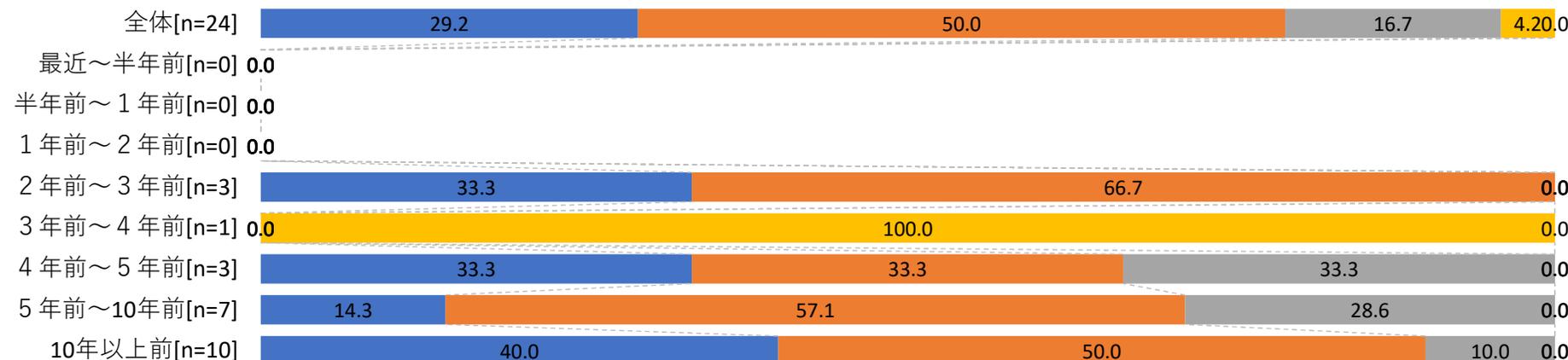
クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められた】



■引き続き多くの案件で活用が求められている ■ある程度の案件で活用が求められている ■その後はそれほど活用が求められていない ■単発で活用が求められただけだった ■不明

【⑧海外案件に対応するため】



■引き続き多くの案件で活用が求められている ■ある程度の案件で活用が求められている ■その後はそれほど活用が求められていない ■単発で活用が求められただけだった ■不明

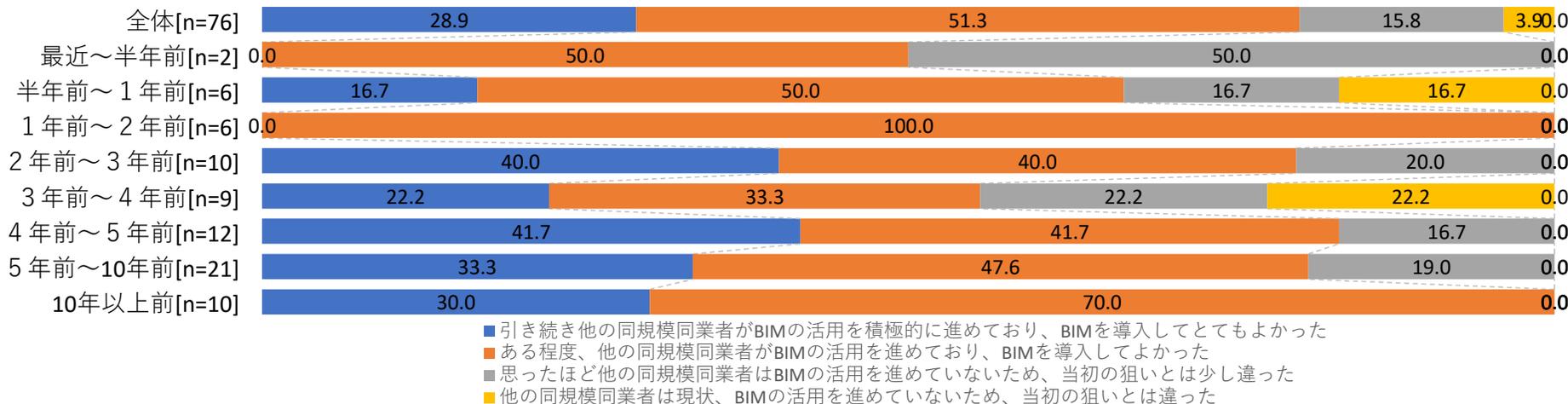
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

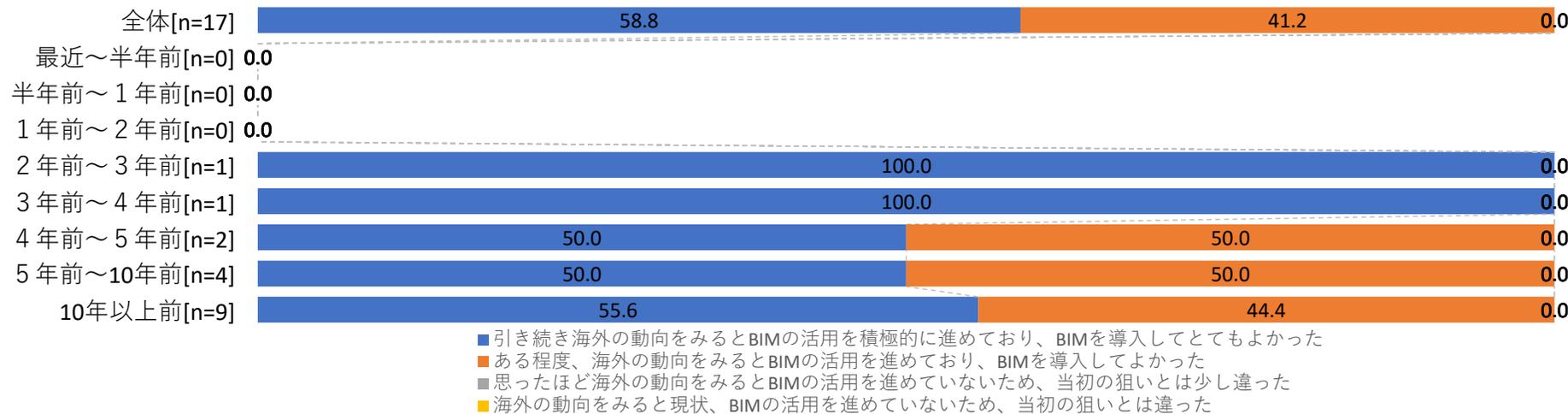
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

【⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていた】



【⑩海外の動向をみて導入した】

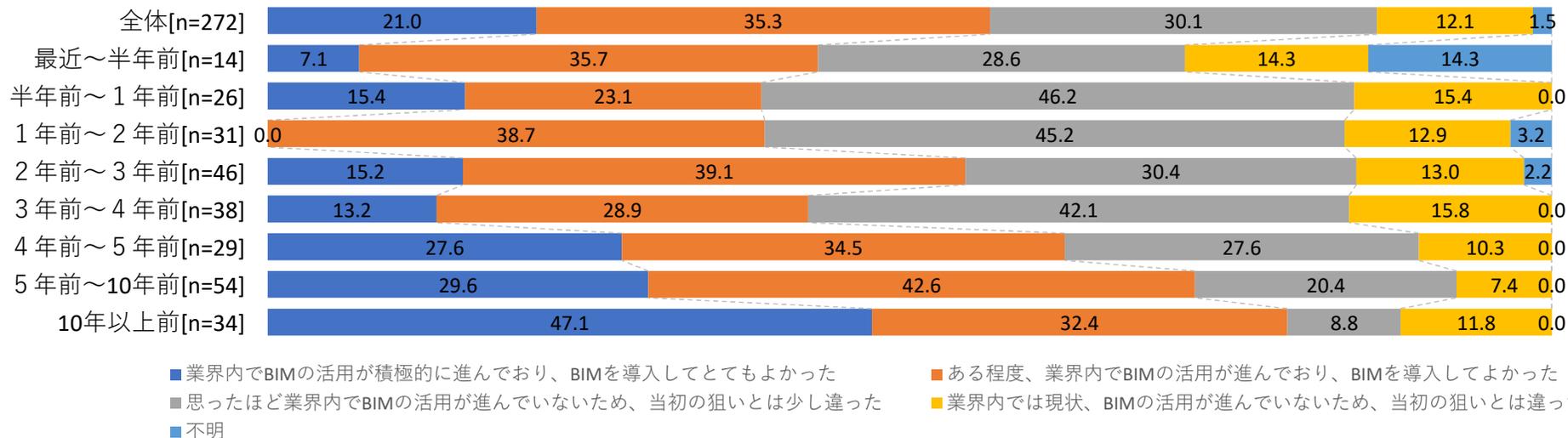


※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

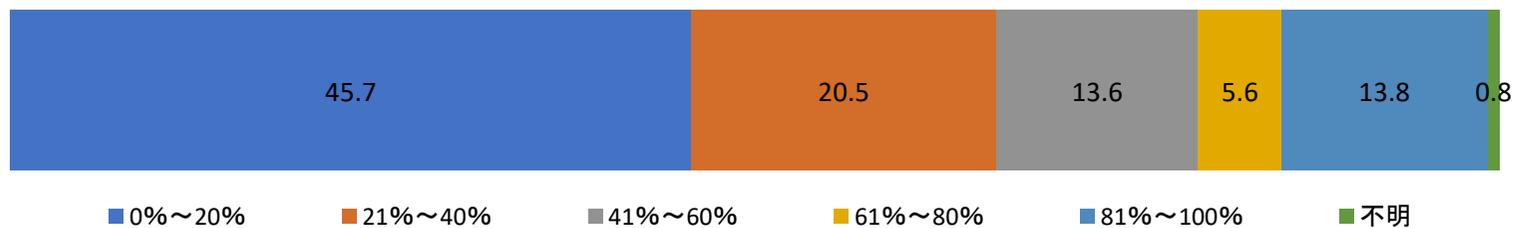
【①②業界の将来的な動向を予想して導入した】



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q11 所属部署でBIMを活用している人数の割合 (n=376/単一回答/%)



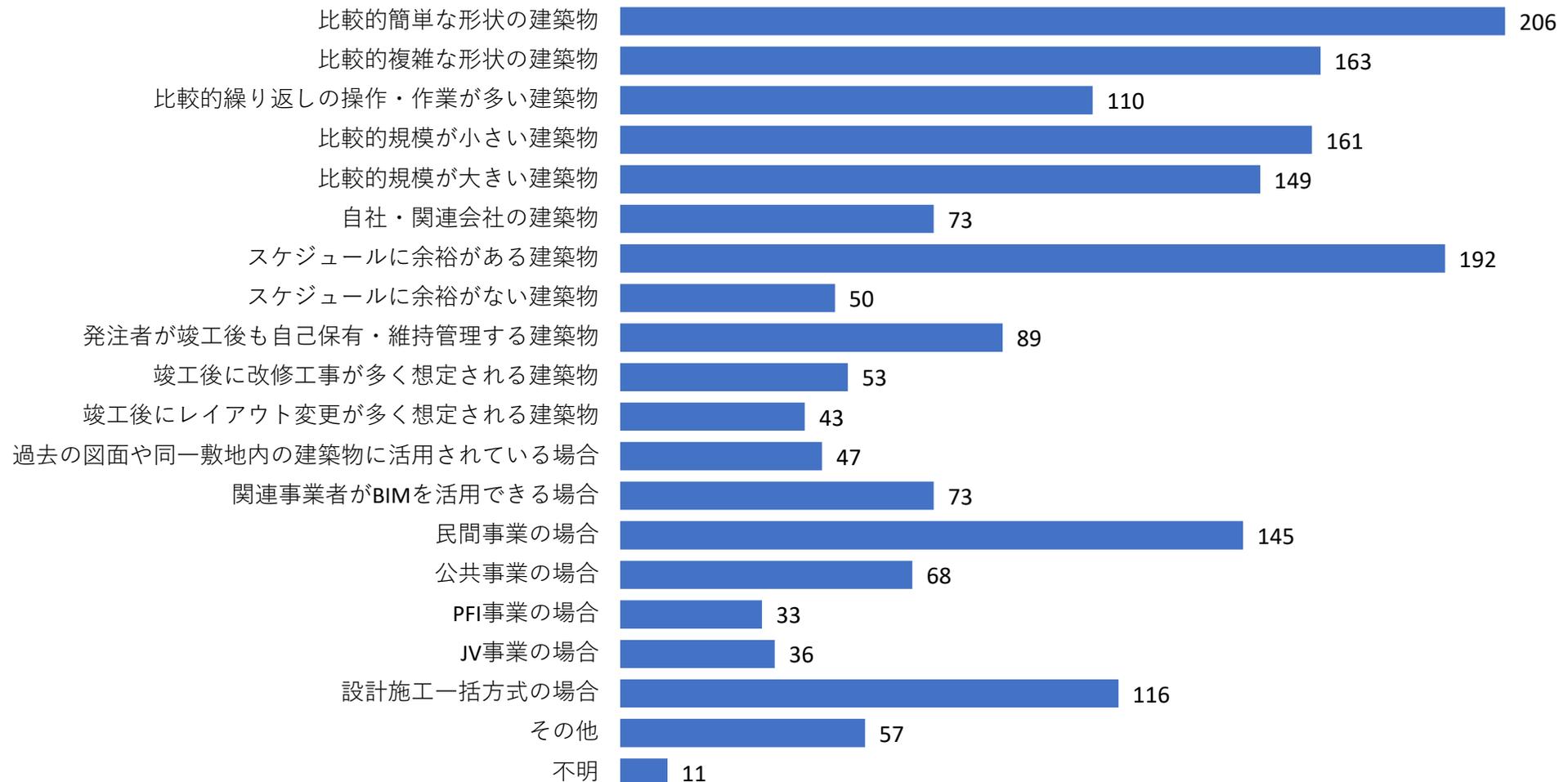
・所属部署でのBIMを活用する人数割合として、「0%~40%」という回答が約65%

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴 (n=376/複数回答/件数)



・所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴として、「比較的簡単な形状の建築物」や「スケジュールに余裕がある建築物」等が多いが、「比較的複雑な形状の建築物」も多い。また、「スケジュールに余裕がない建築物」の回答も少なからずある。

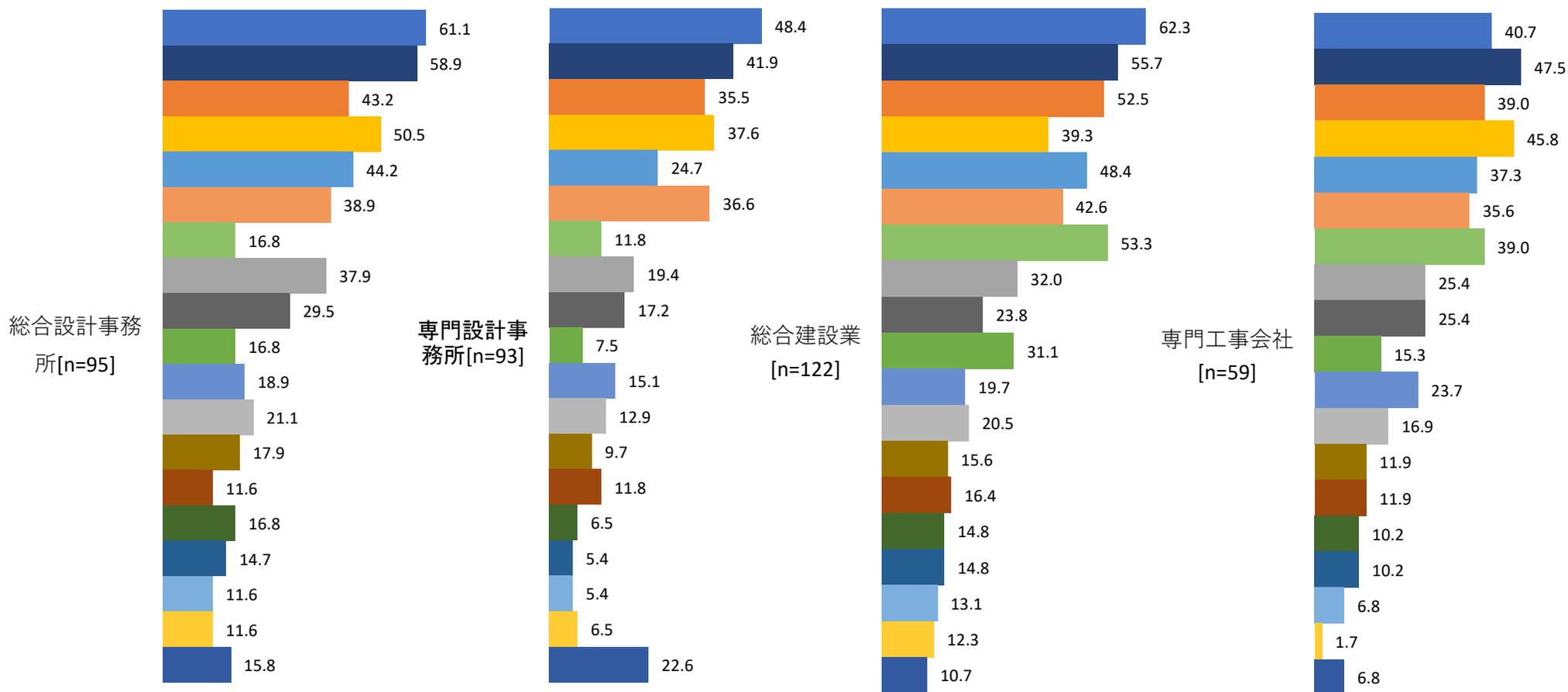
※「その他」の回答例として、「原則すべての案件でBIM活用」、「導入したばかりでまだ判断がつかない」等が多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類) × Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴(%)



- 比較的小規模な形状の建築物
- スケジュールに余裕がある建築物
- 比較的小規模な形状の建築物
- 比較的小規模な建築物
- 比較的小規模な建築物
- 民間事業の場合
- 設計施工一括方式の場合
- 比較的小規模な形状の建築物
- 発注者が竣工後も自己保有・維持管理する建築物
- 自社・関連会社の建築物
- 関連事業者がBIMを活用できる場合
- 公共事業の場合
- 竣工後に改修工事が多く想定される建築物
- スケジュールに余裕がない建築物
- 過去の図面や同一敷地内の建築物に活用されている場合
- 竣工後にレイアウト変更が多く想定される建築物
- JV事業の場合
- PFI事業の場合
- その他

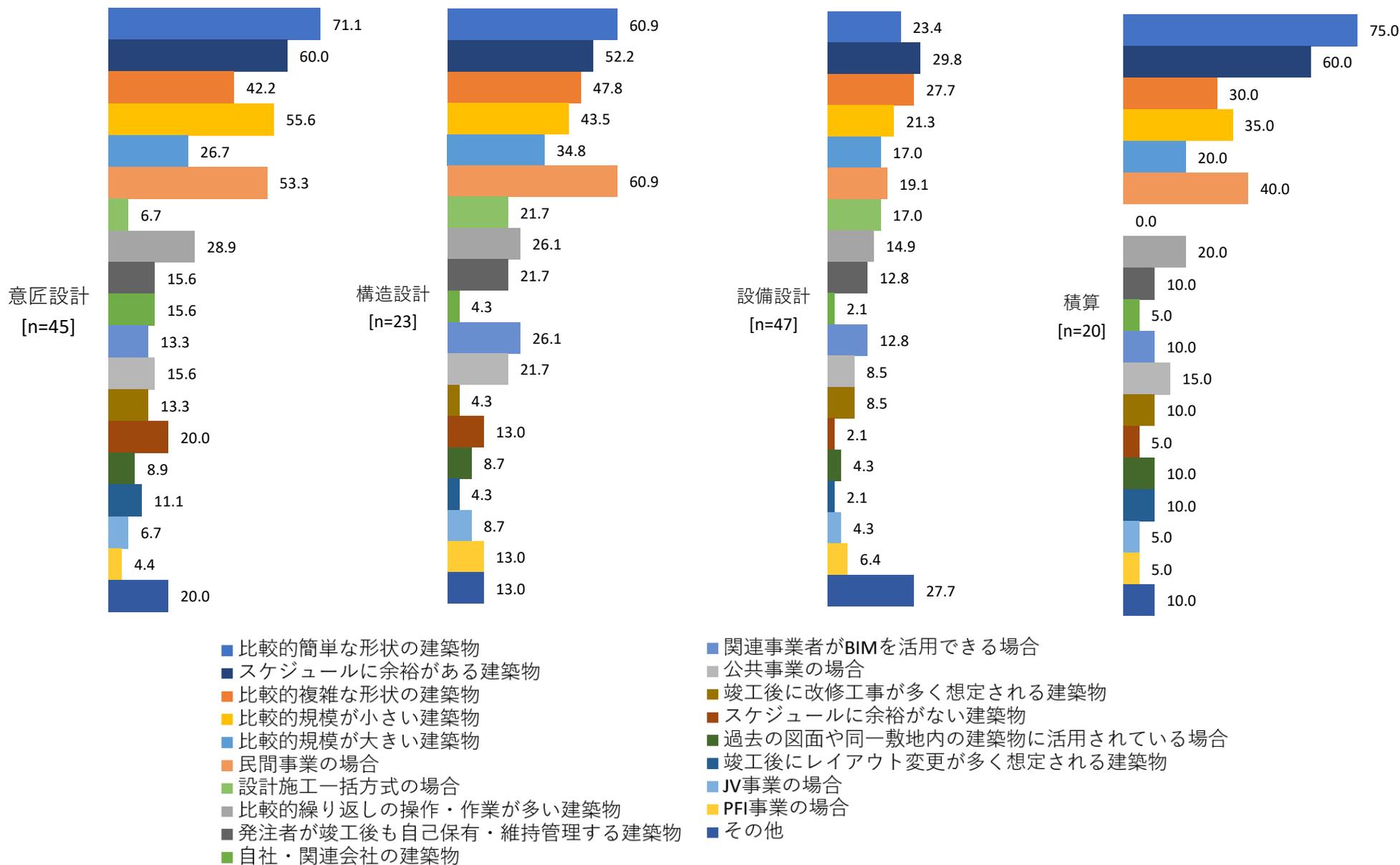
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

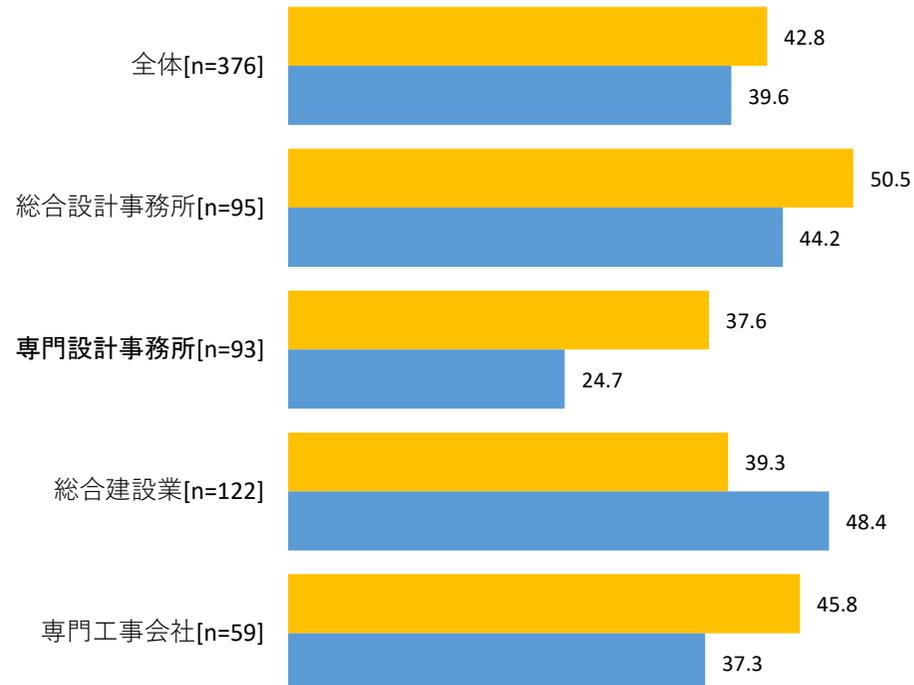
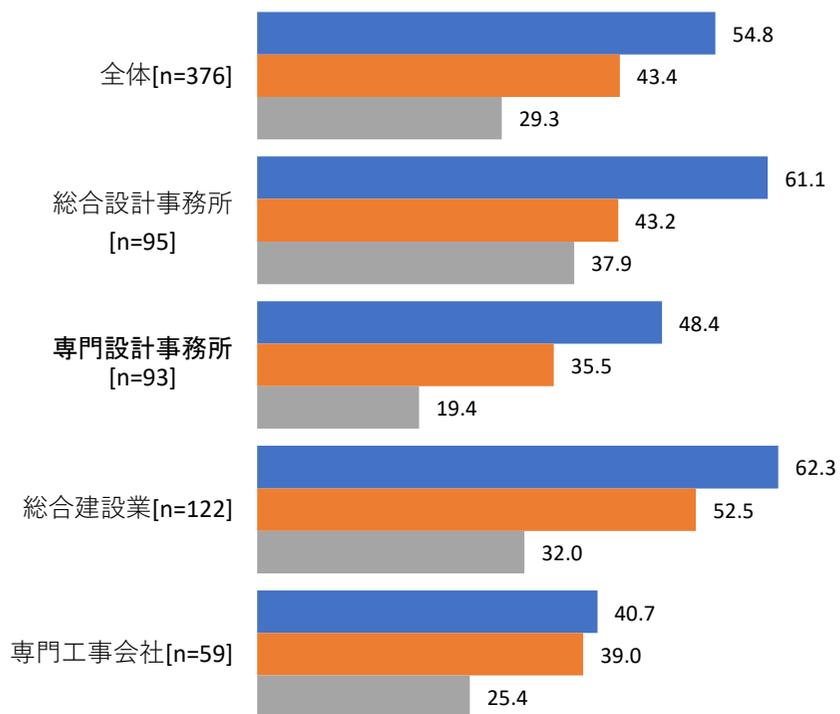
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類) × Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴(%)

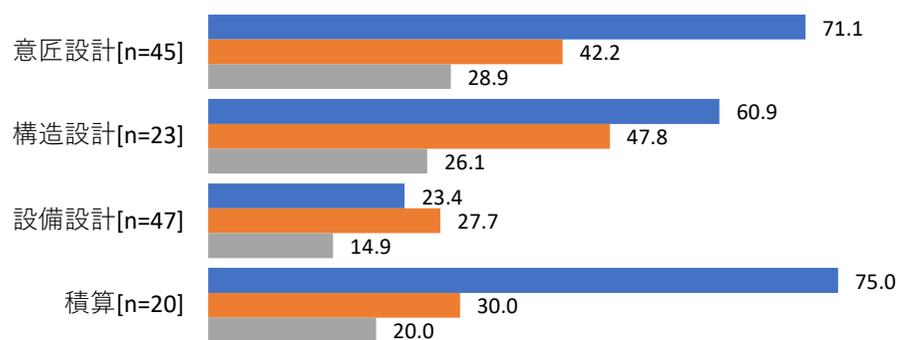
<専門設計事務所の主な内訳>



クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴（%）

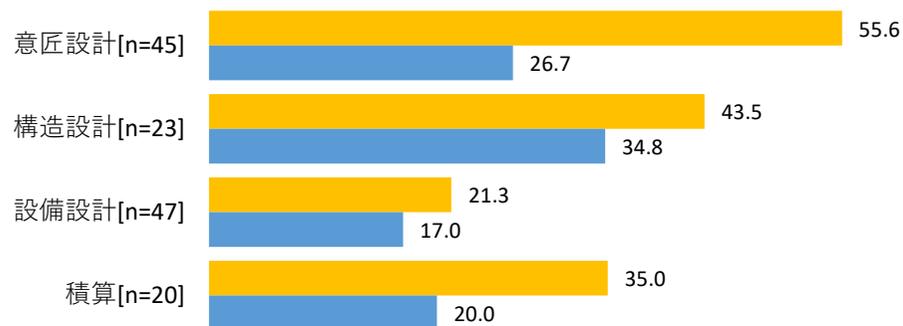


<専門設計事務所の主な内訳>



- 比較的小さい建築物
- 比較的大きな建築物
- 比較的繰り返しの操作・作業が多い建築物

<専門設計事務所の主な内訳>

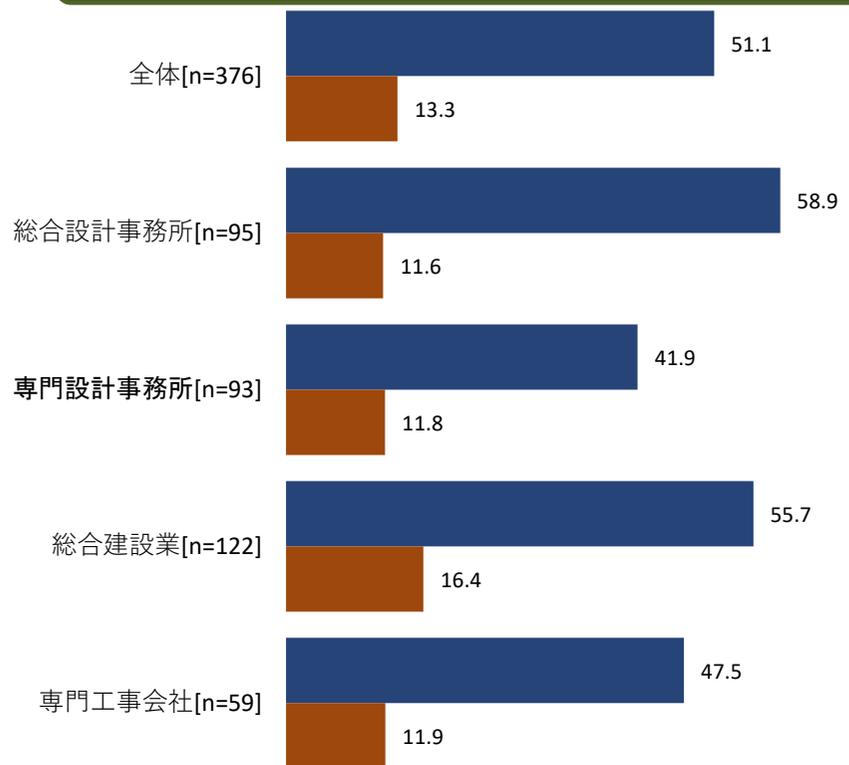


- 比較的小さい建築物
- 比較的大きな建築物

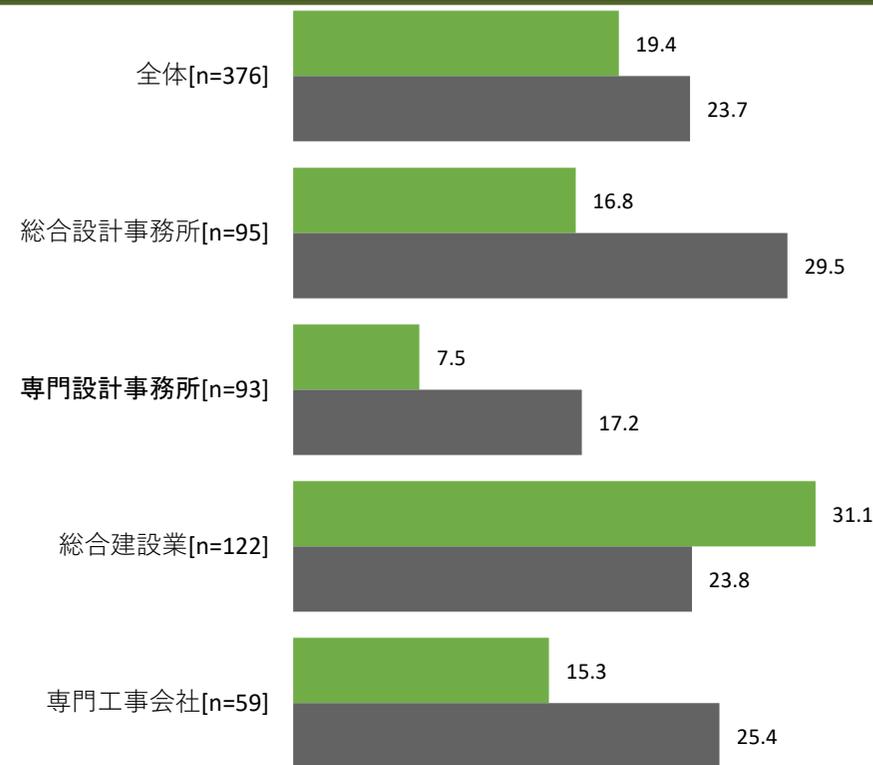
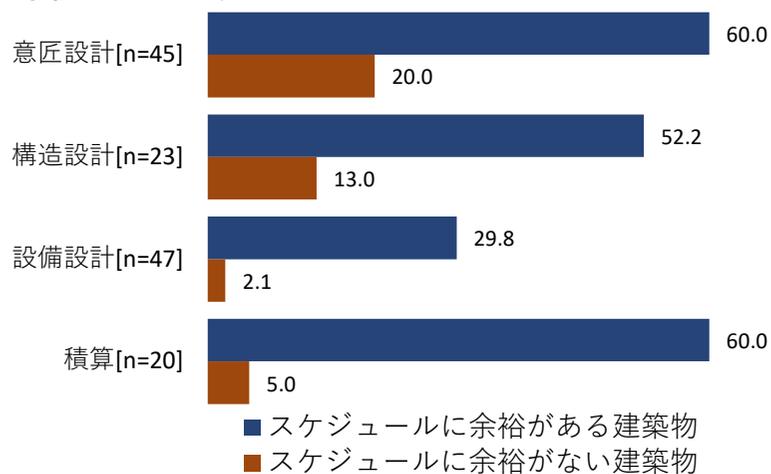
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

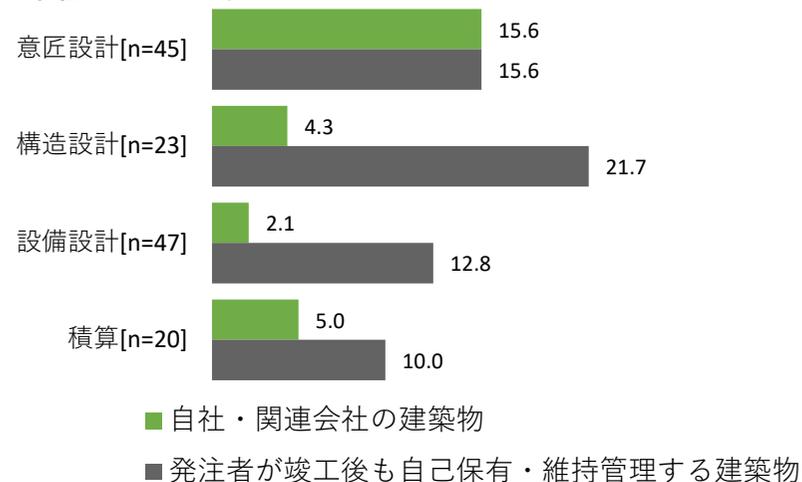
クロス集計 : Q1A 企業の属性 (大分類) × Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴 (%)



< 専門設計事務所の主な内訳 >



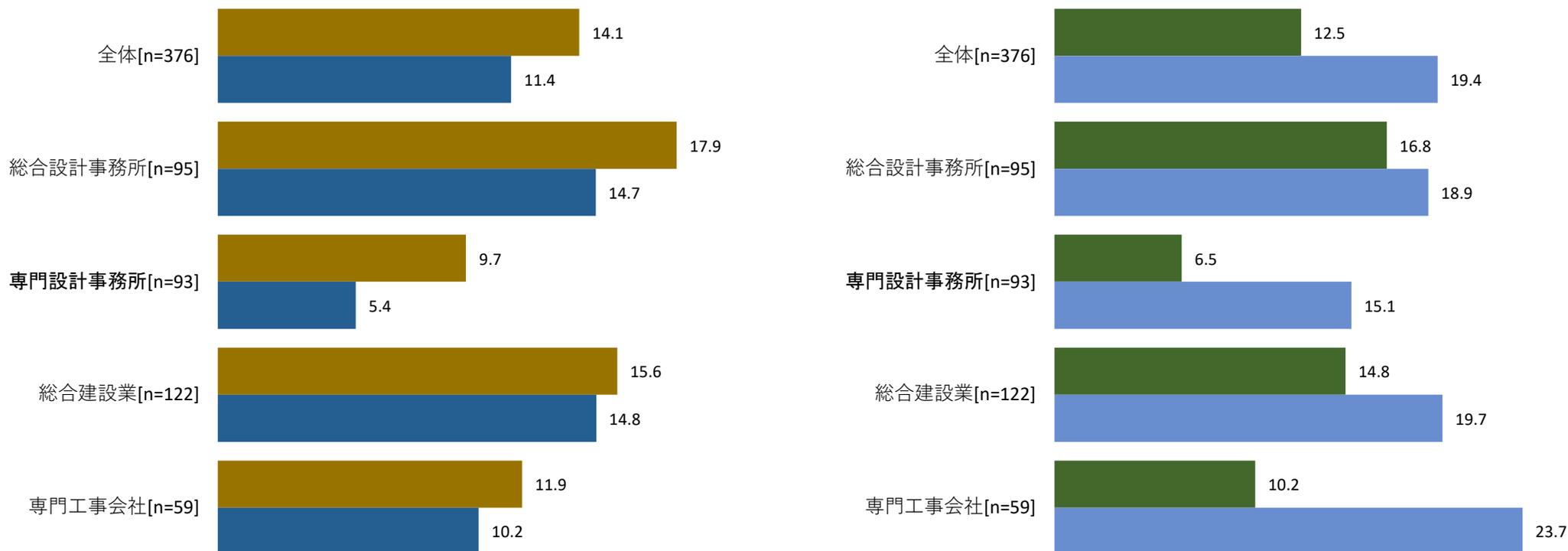
< 専門設計事務所の主な内訳 >



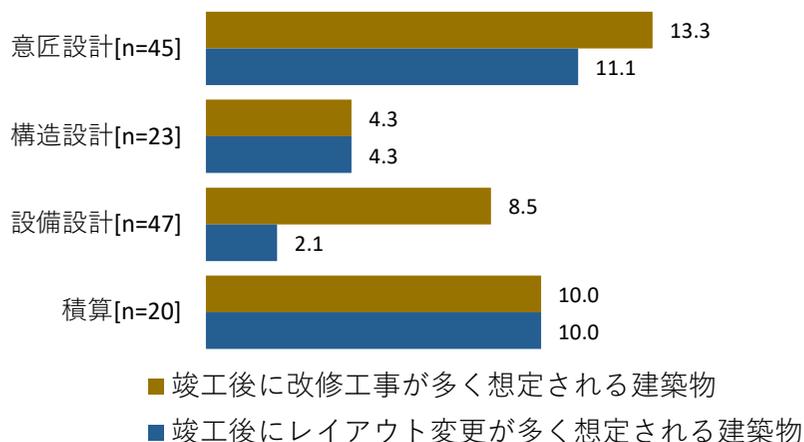
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

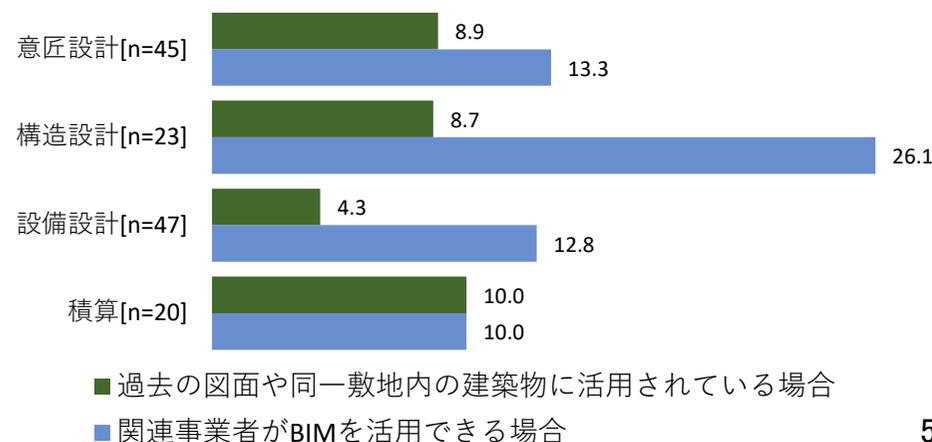
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



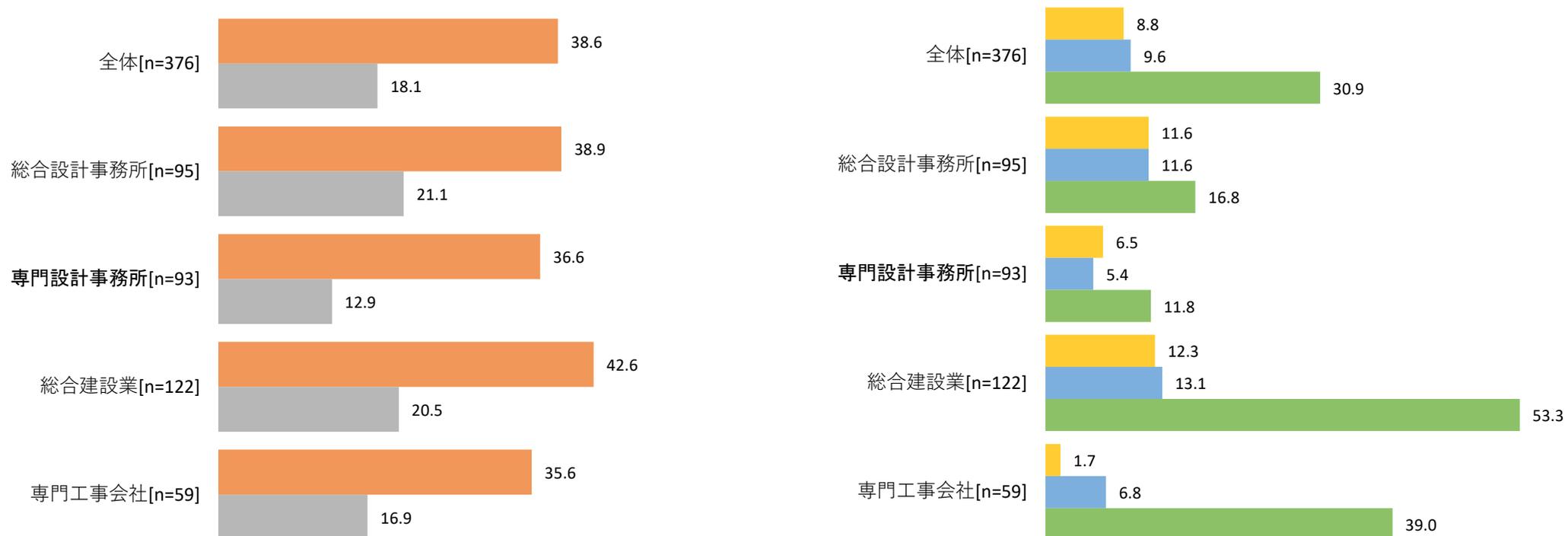
<専門設計事務所の主な内訳>



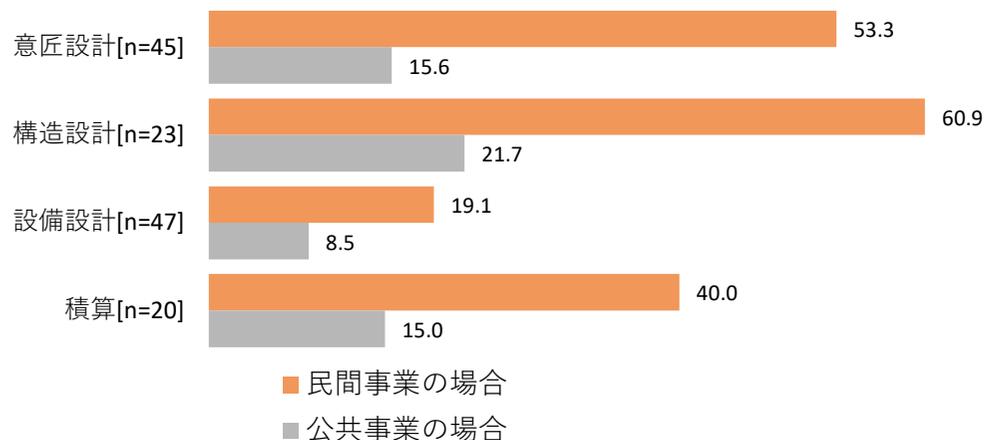
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

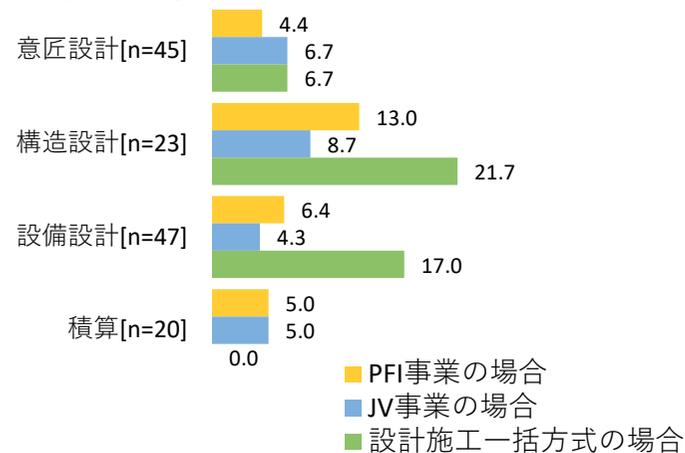
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>

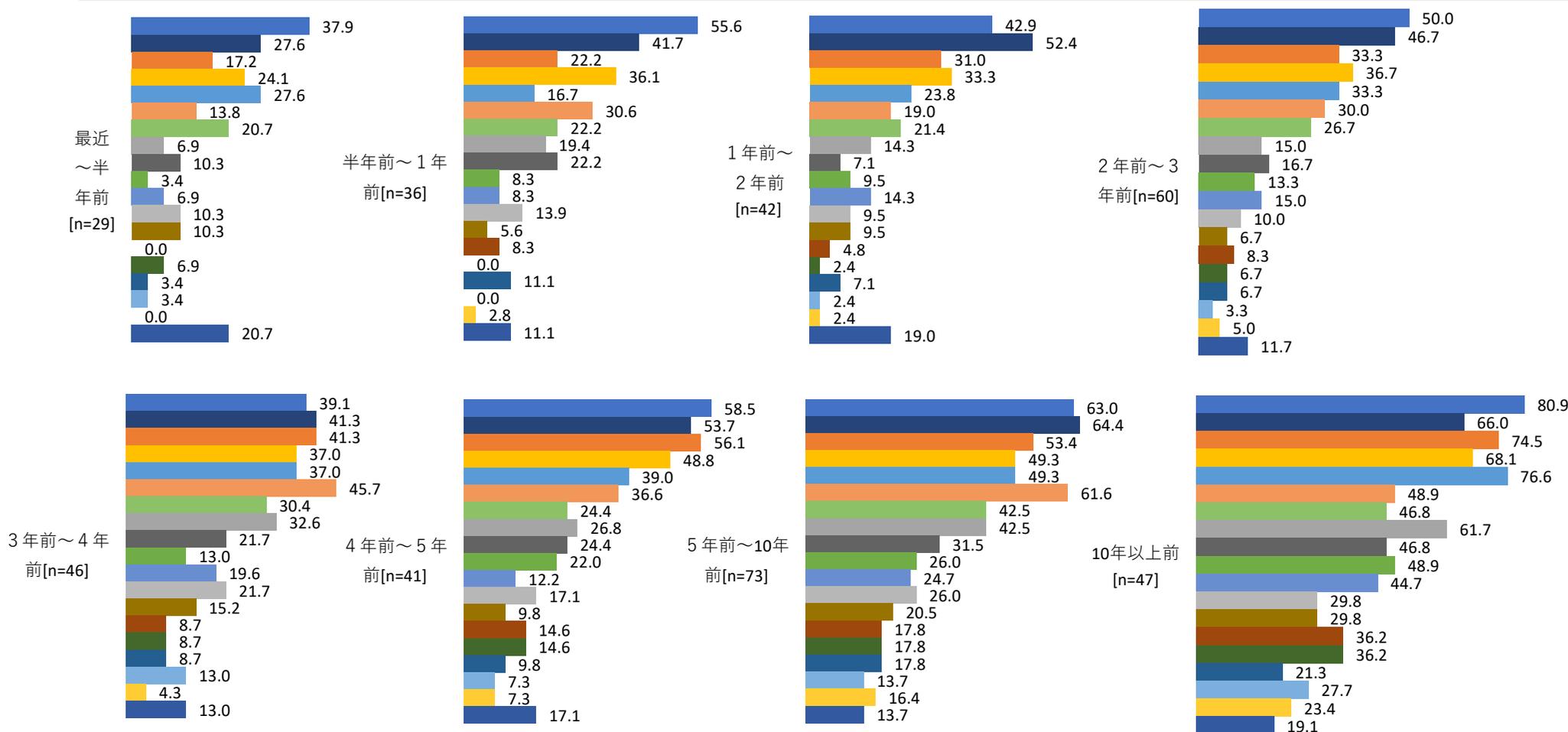


集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業 国土交通省

※今回追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

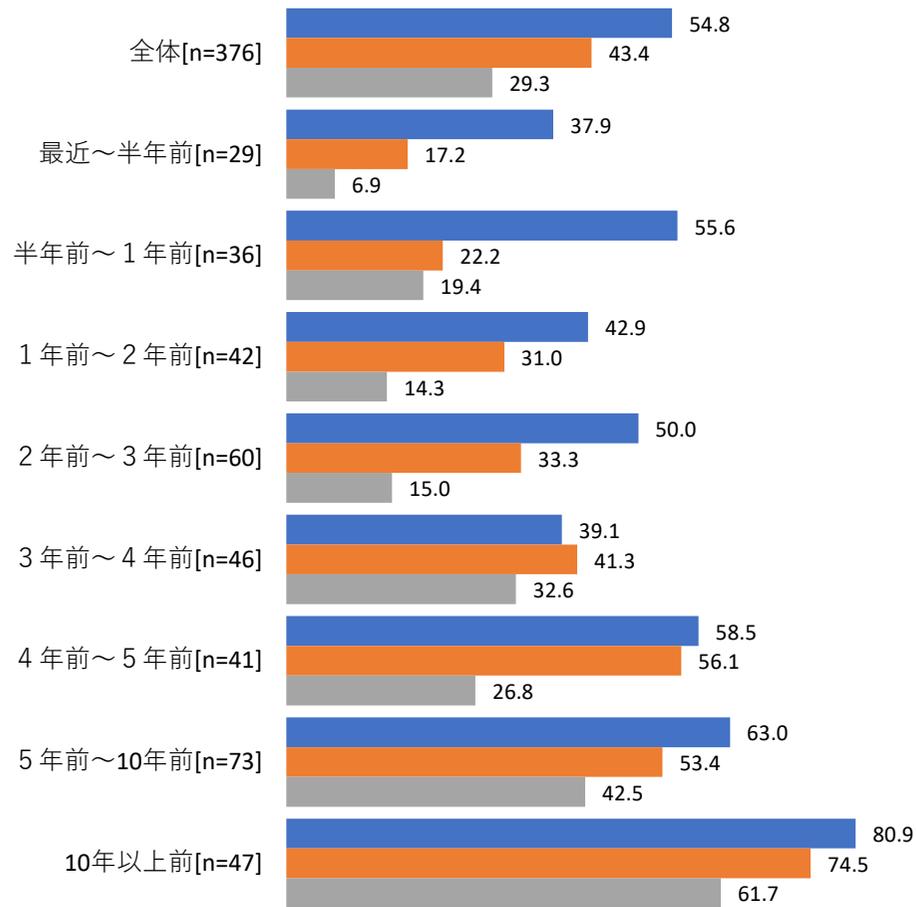
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴

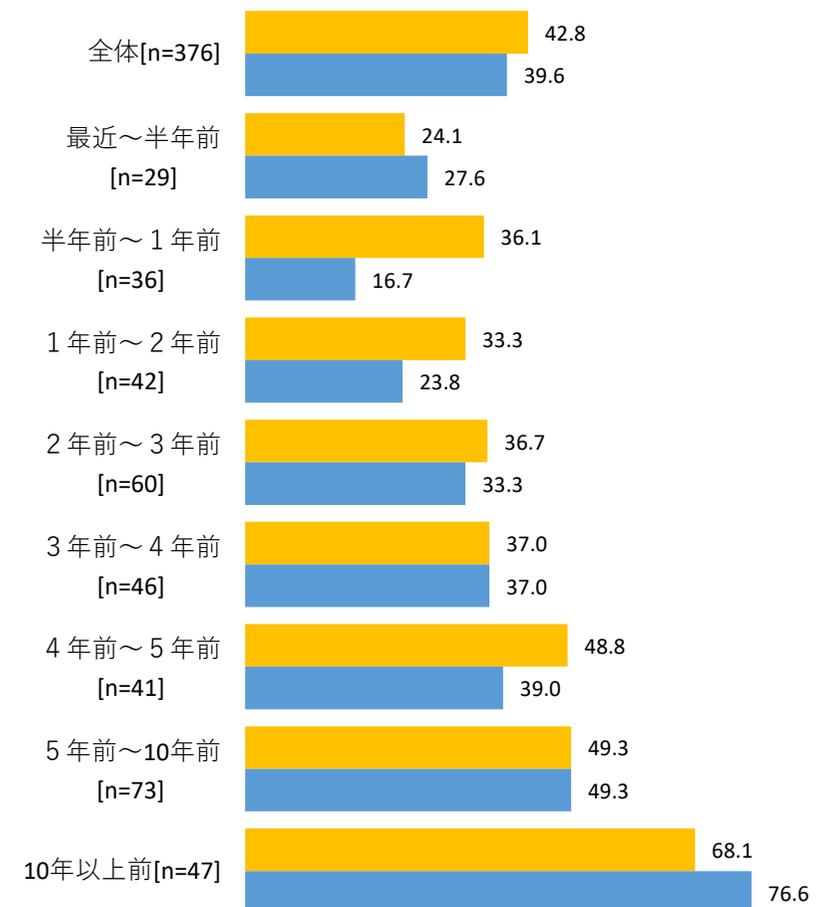


- 比較的に簡単な形状の建築物
- スケジュールに余裕がある建築物
- 比較的に複雑な形状の建築物
- 比較的に規模が小さい建築物
- 比較的に規模が大きい建築物
- 民間事業の場合
- 設計施工一括方式の場合
- 比較的繰り返しの操作・作業が多い建築物
- 発注者が竣工後も自己保有・維持管理する建築物
- 自社・関連会社の建築物
- 関連事業者がBIMを活用できる場合
- 公共事業の場合
- 竣工後に改修工事が多く想定される建築物
- スケジュールに余裕がない建築物
- 過去の図面や同一敷地内の建築物に活用されている場合
- 竣工後にレイアウト変更が多く想定される建築物
- JV事業の場合
- PFI事業の場合
- その他

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴

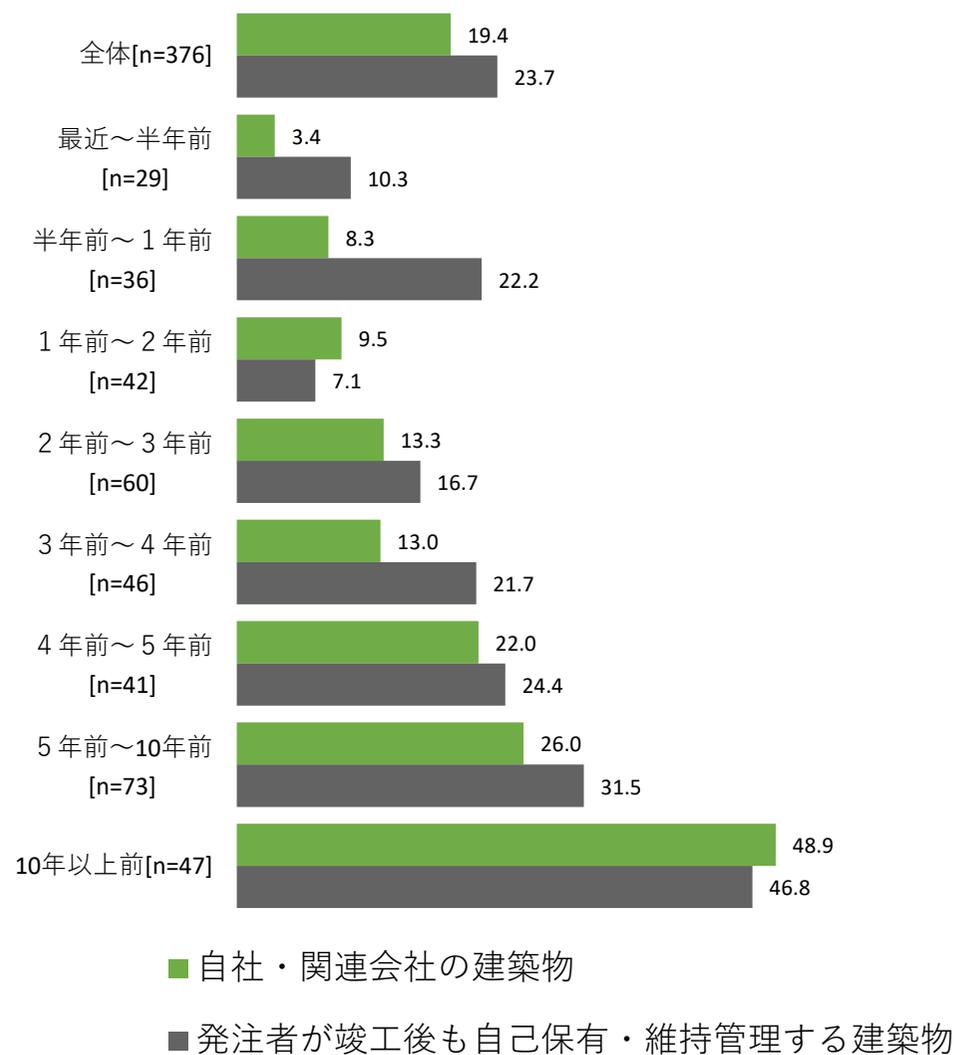
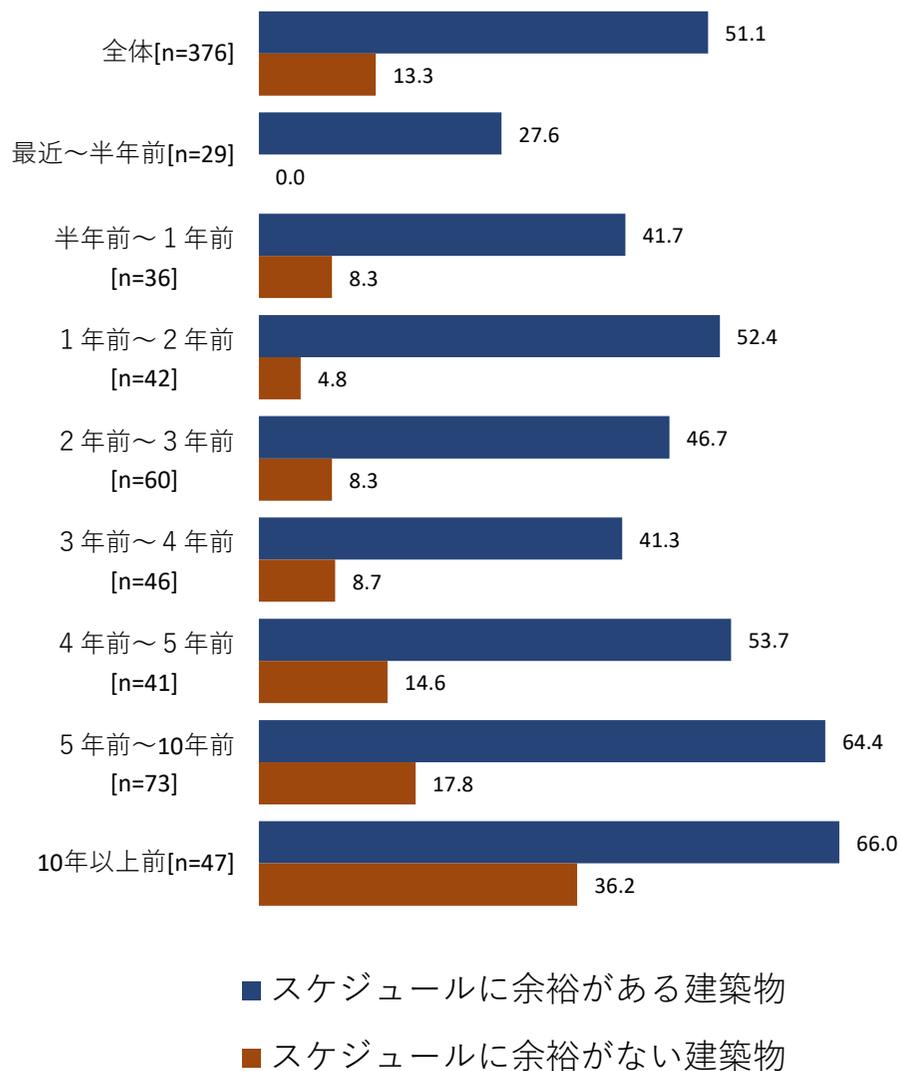


- 比較的簡単な形状の建築物
- 比較的複雑な形状の建築物
- 比較的繰り返しの操作・作業が多い建築物

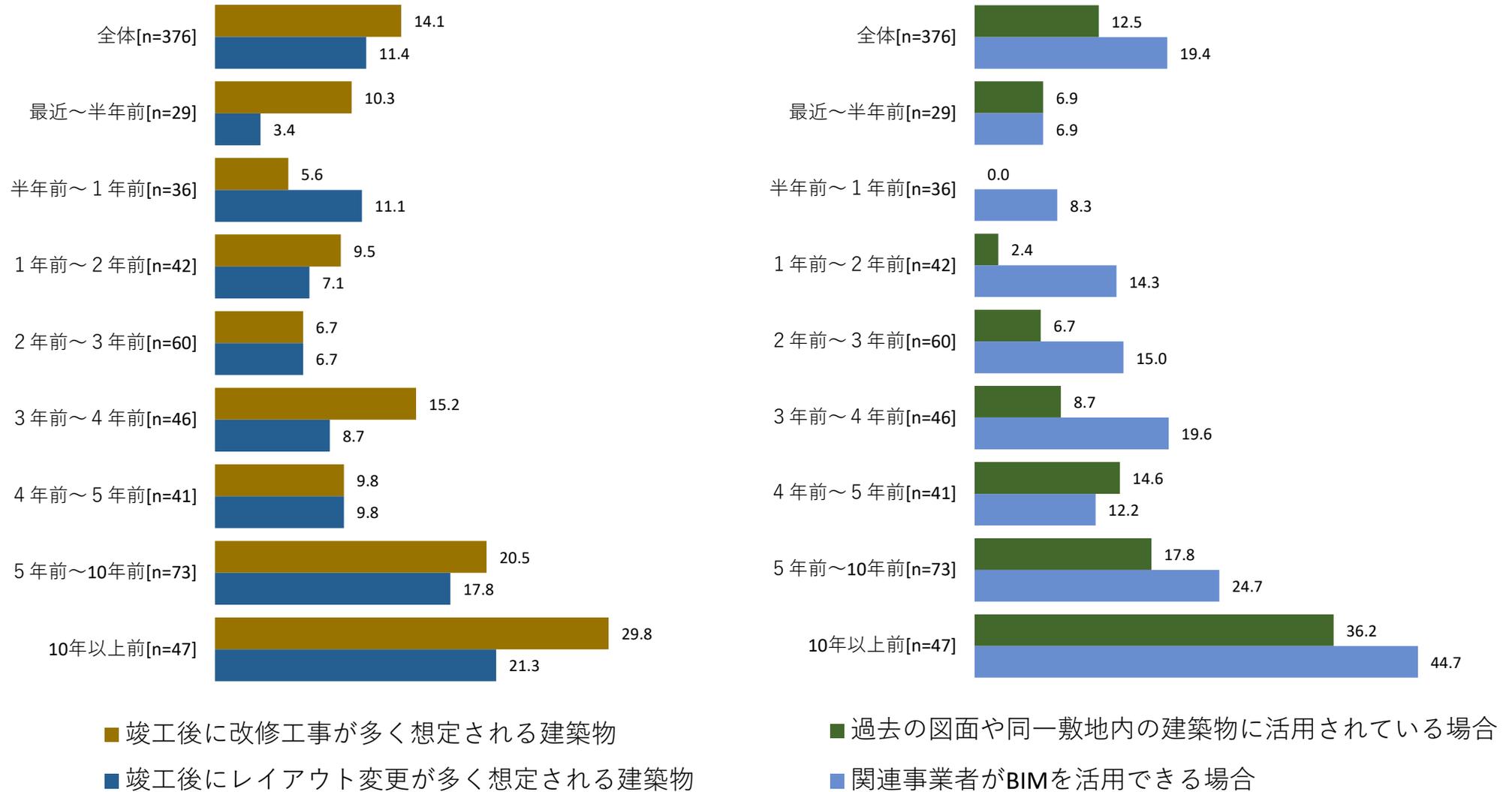


- 比較的規模が小さい建築物
- 比較的規模が大きい建築物

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



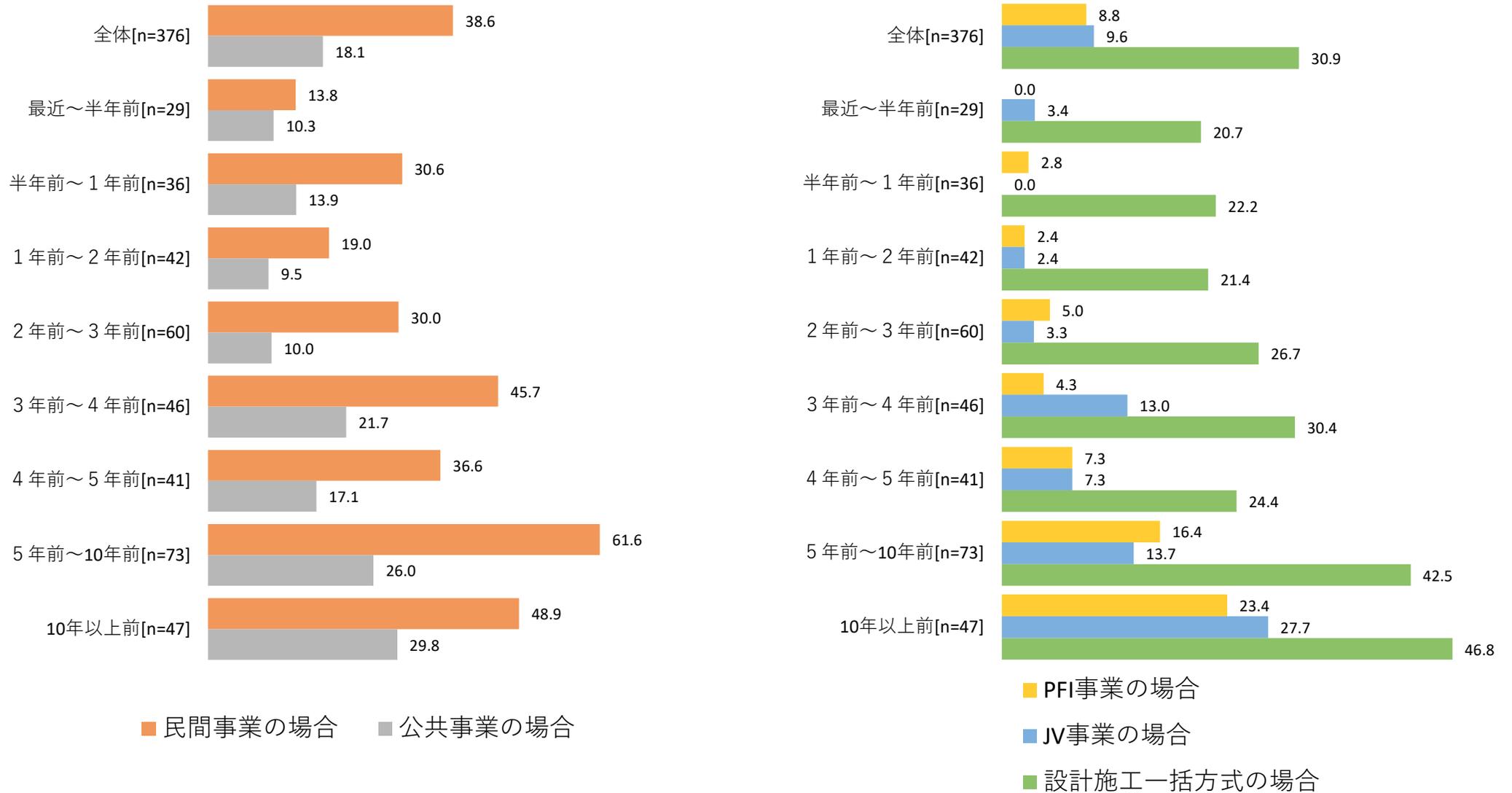
クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業 国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴

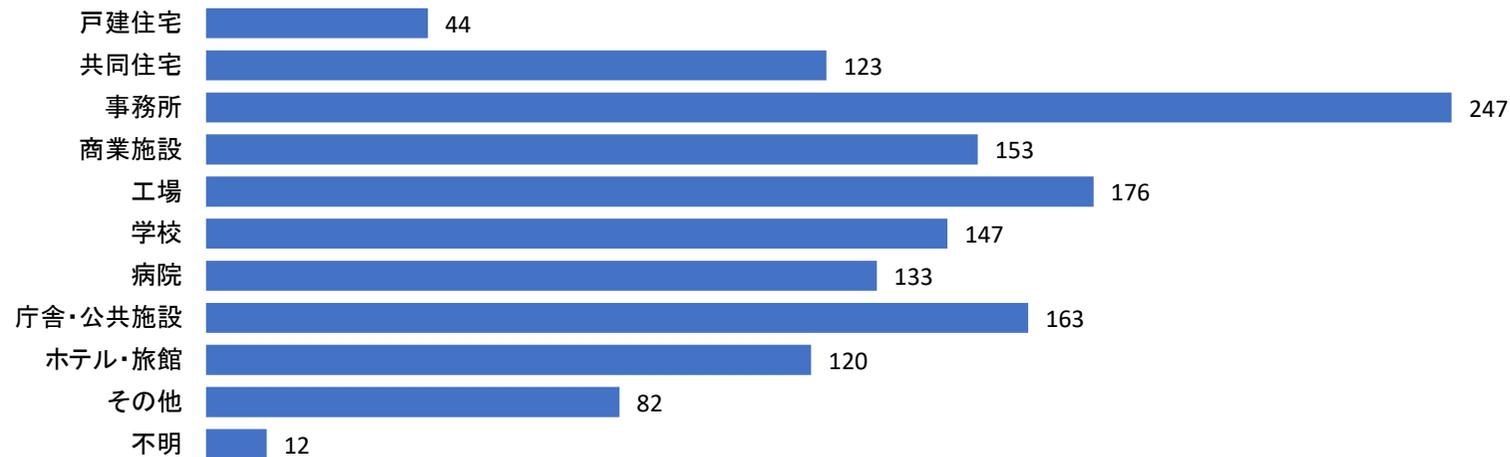


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途 (n=376/複数回答/件数)



・建築物の用途として、「事務所」が最も多く、次いで「工場」が多い。

※「その他」の回答例として、倉庫、物流施設、福祉施設、保育施設、スポーツ施設、情報通信施設、空港、バスターミナル、研究所、放送施設等が挙がっている。

※参考 建築着工統計調査 (令和2年計)

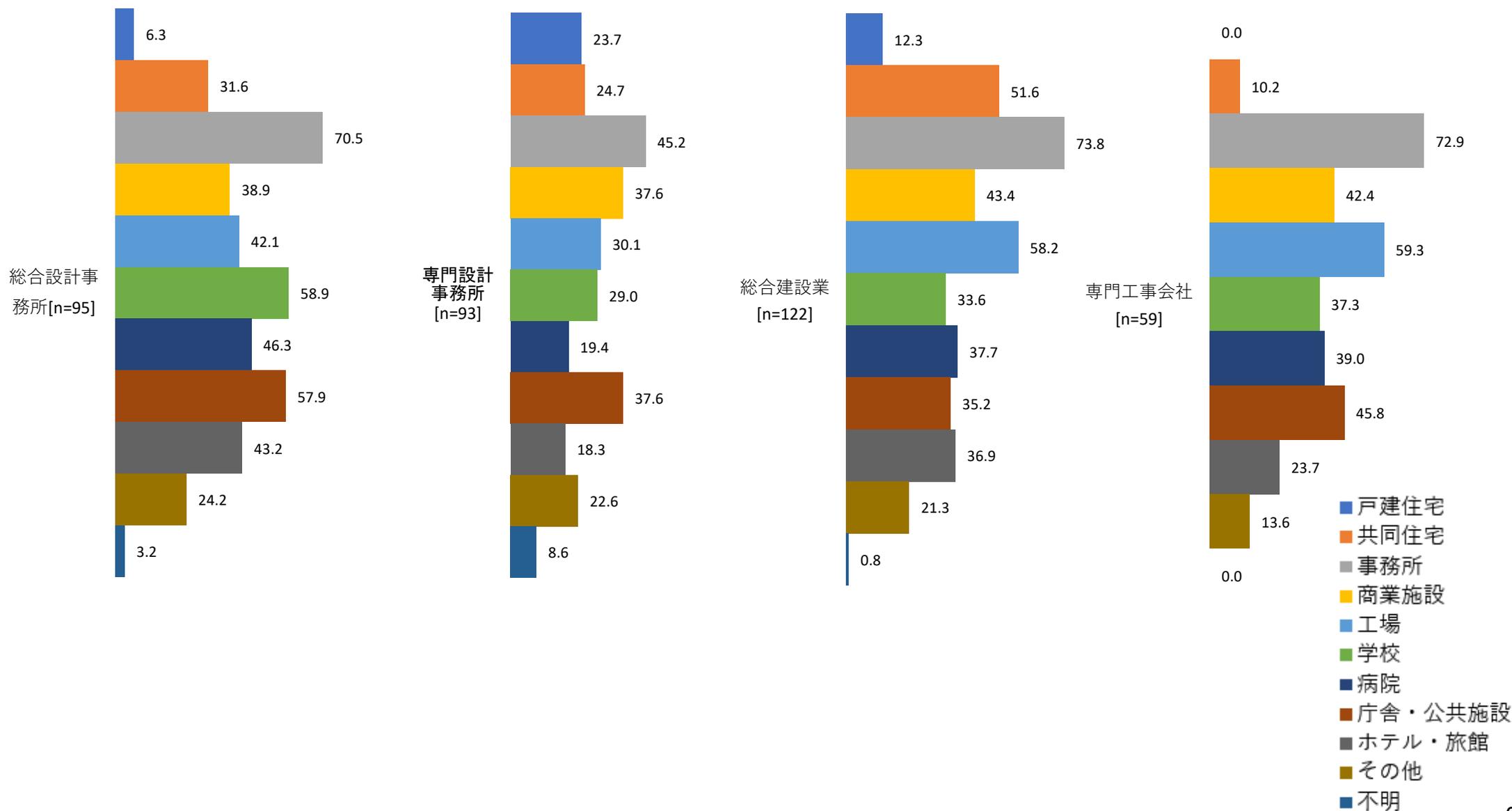
用途	棟数
住宅	458,596
事務所	10,876
店舗	5,076
工場及び作業場	6,341
学校の校舎	1,745
病院・診療所	1,719
公務用建築物	4,079
宿泊業用	1,631
倉庫	14,981

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

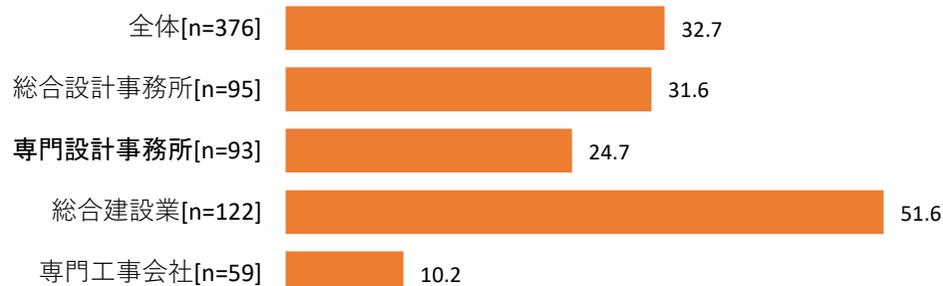
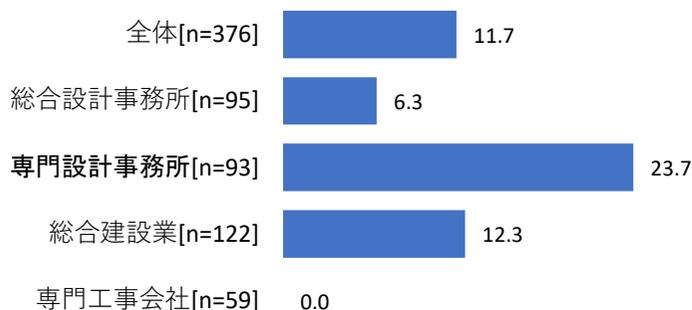
※今回追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

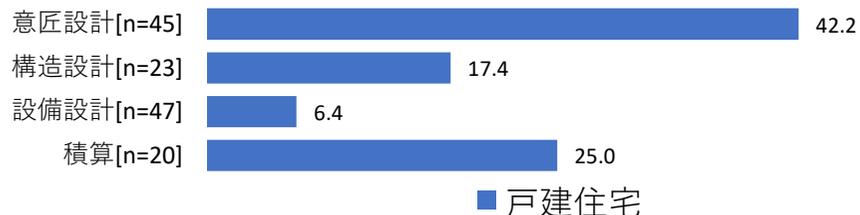
クロス集計 : Q1A 企業の属性 (大分類) × Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途 (%)



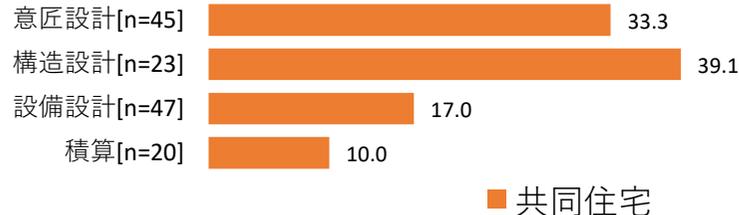
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途（%）



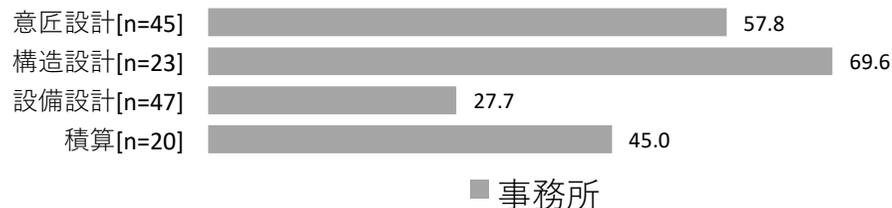
<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



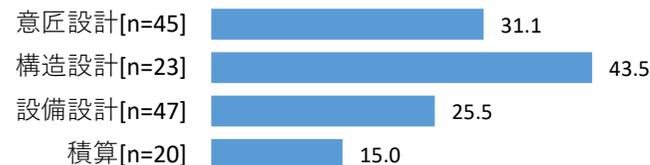
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途（%）



<専門設計事務所の主な内訳>

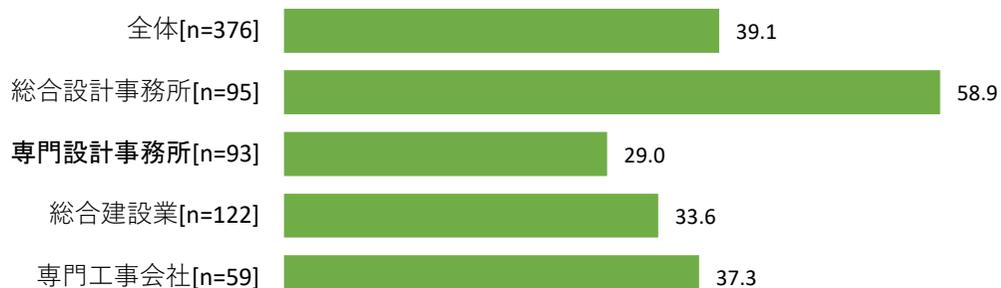


<専門設計事務所の主な内訳>



■ 商業施設

■ 工場

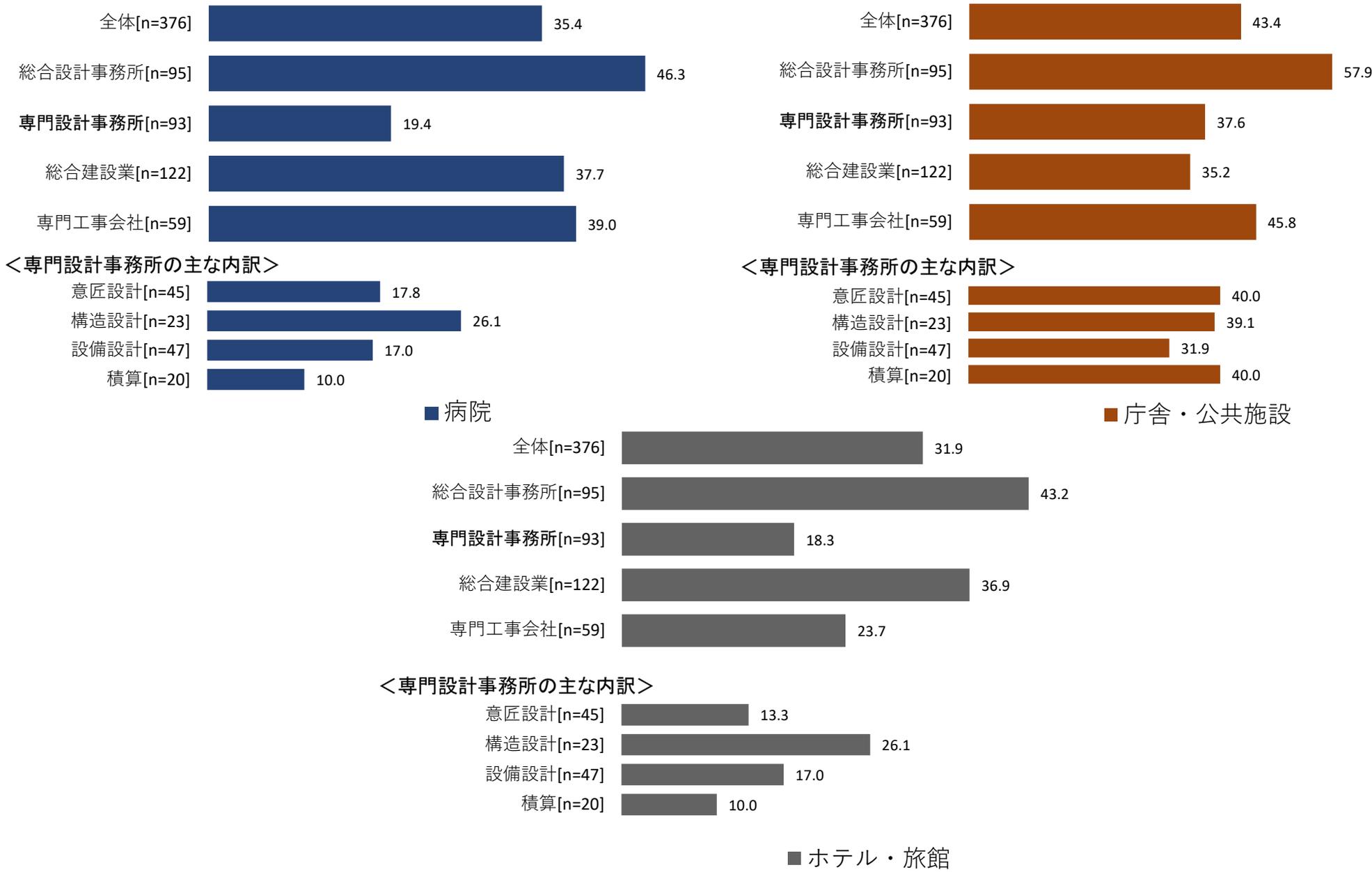


<専門設計事務所の主な内訳>



■ 学校

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途（%）

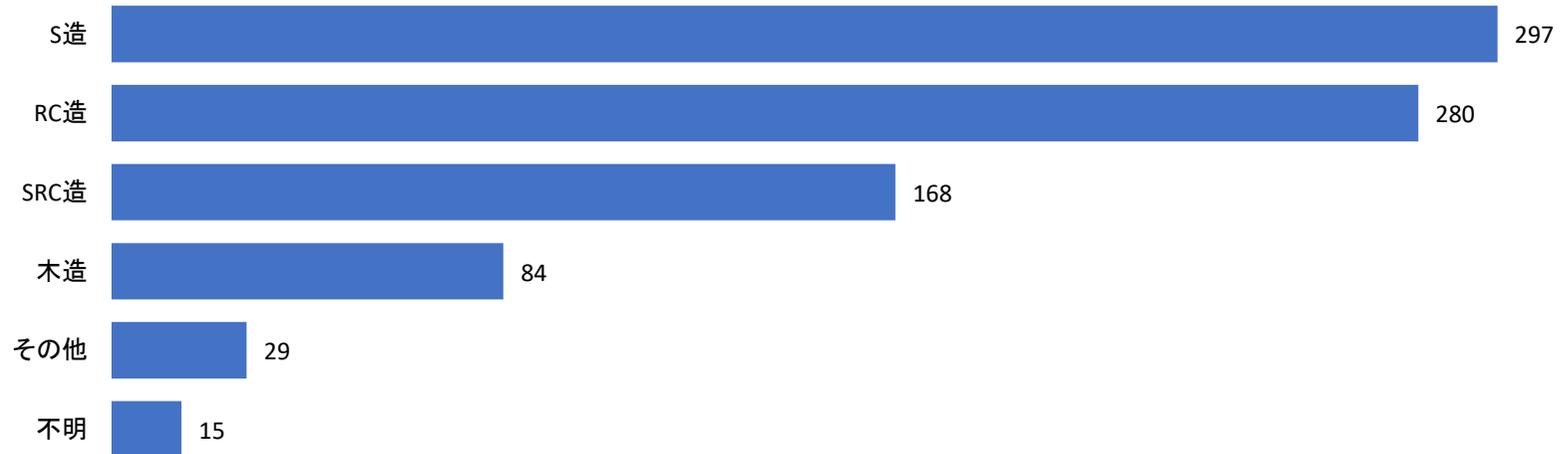


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別 (n=376/複数回答/件数)



・構造種別として、「S造」(79%)、「RC造」(75%)が多いが、「木造」が少ない(22%)

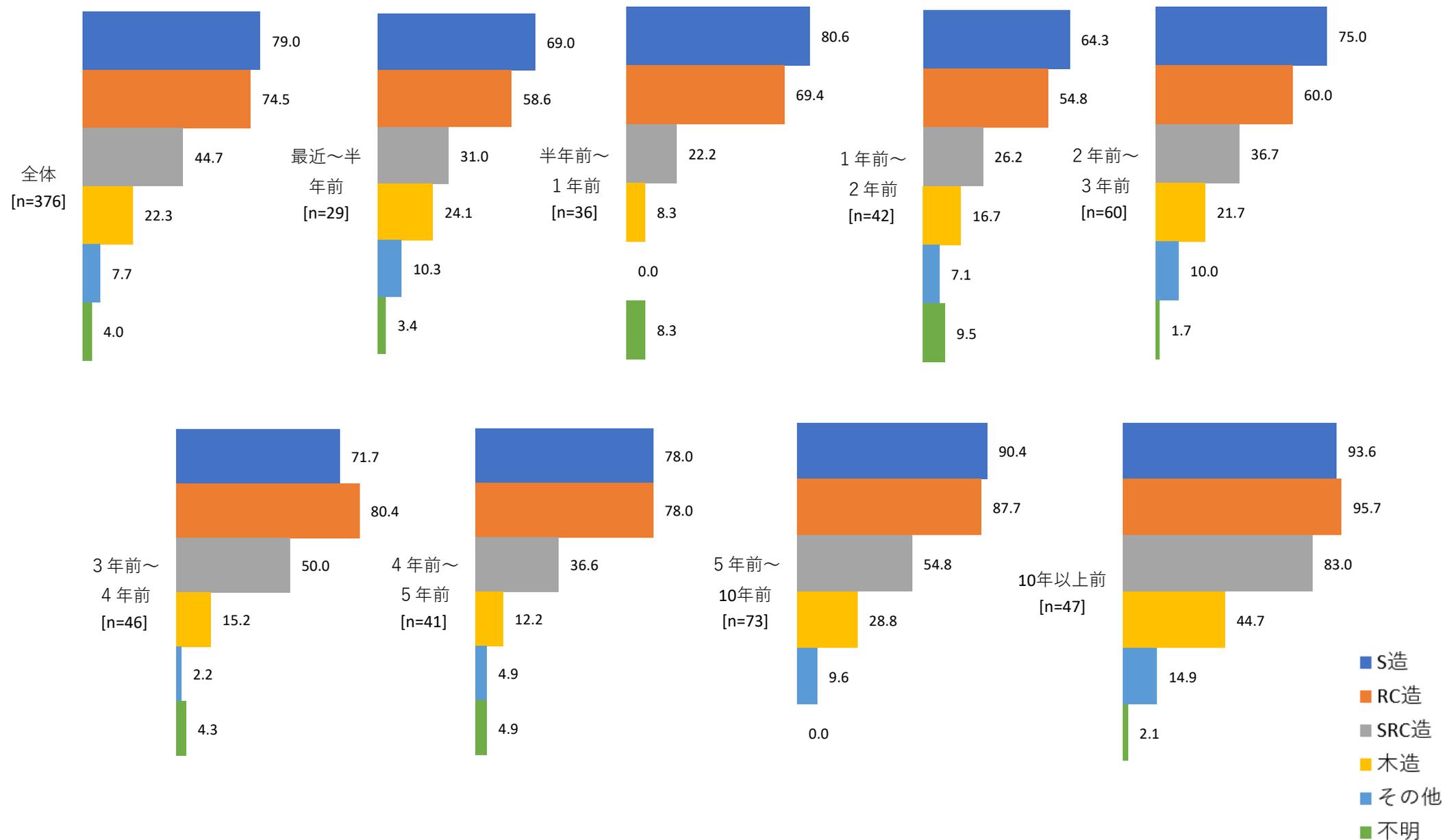
※「その他」の回答例として、混構造が多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8所属部署でBIMを導入した時期×Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別(%)

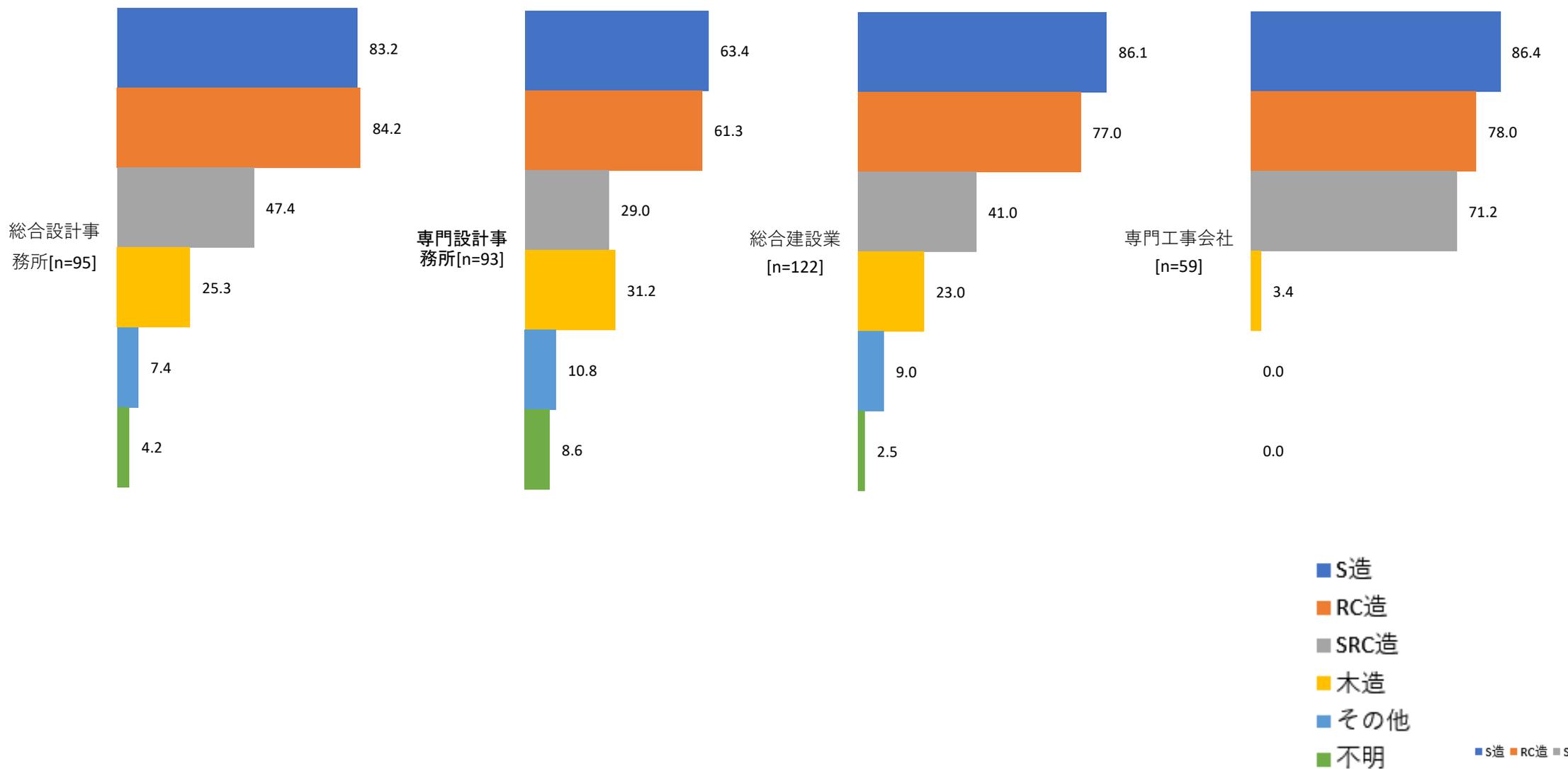


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計 : Q1A 企業の属性 (大分類) × Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別 (%)



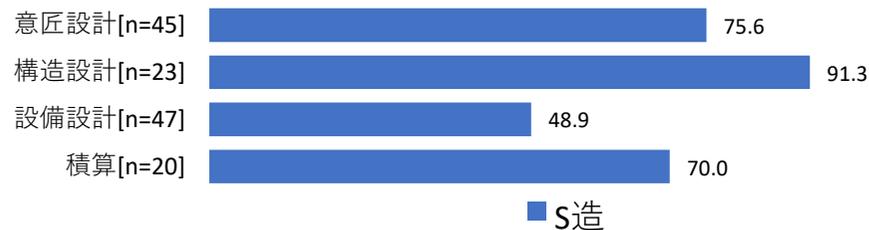
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

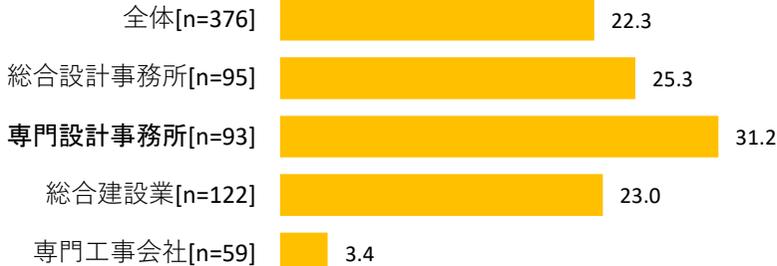
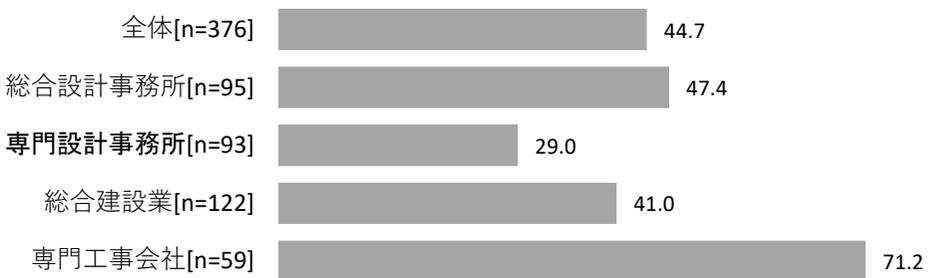
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別（%）



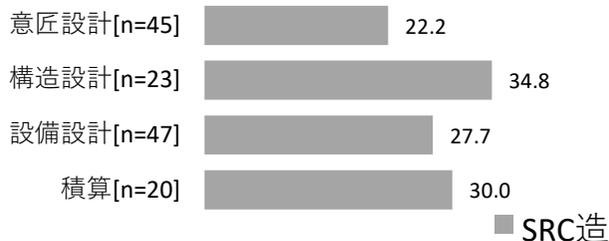
<専門設計事務所の主な内訳>



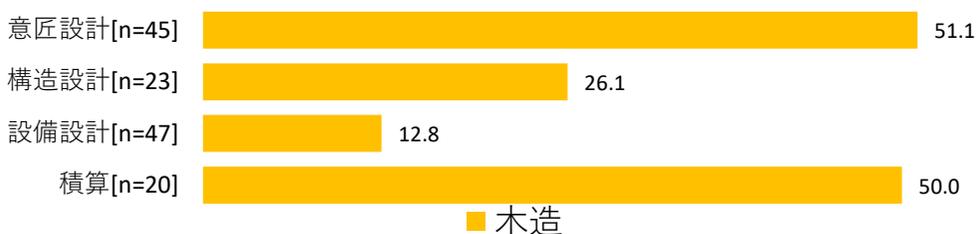
<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



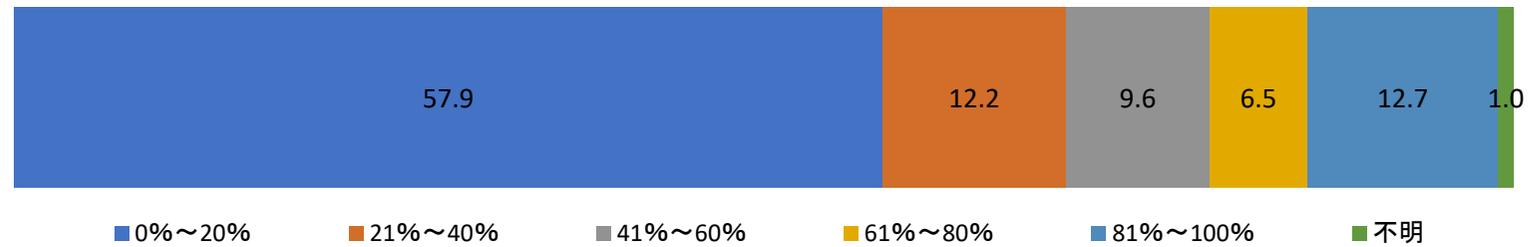
<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q15 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合 (n=385/単一回答/%)

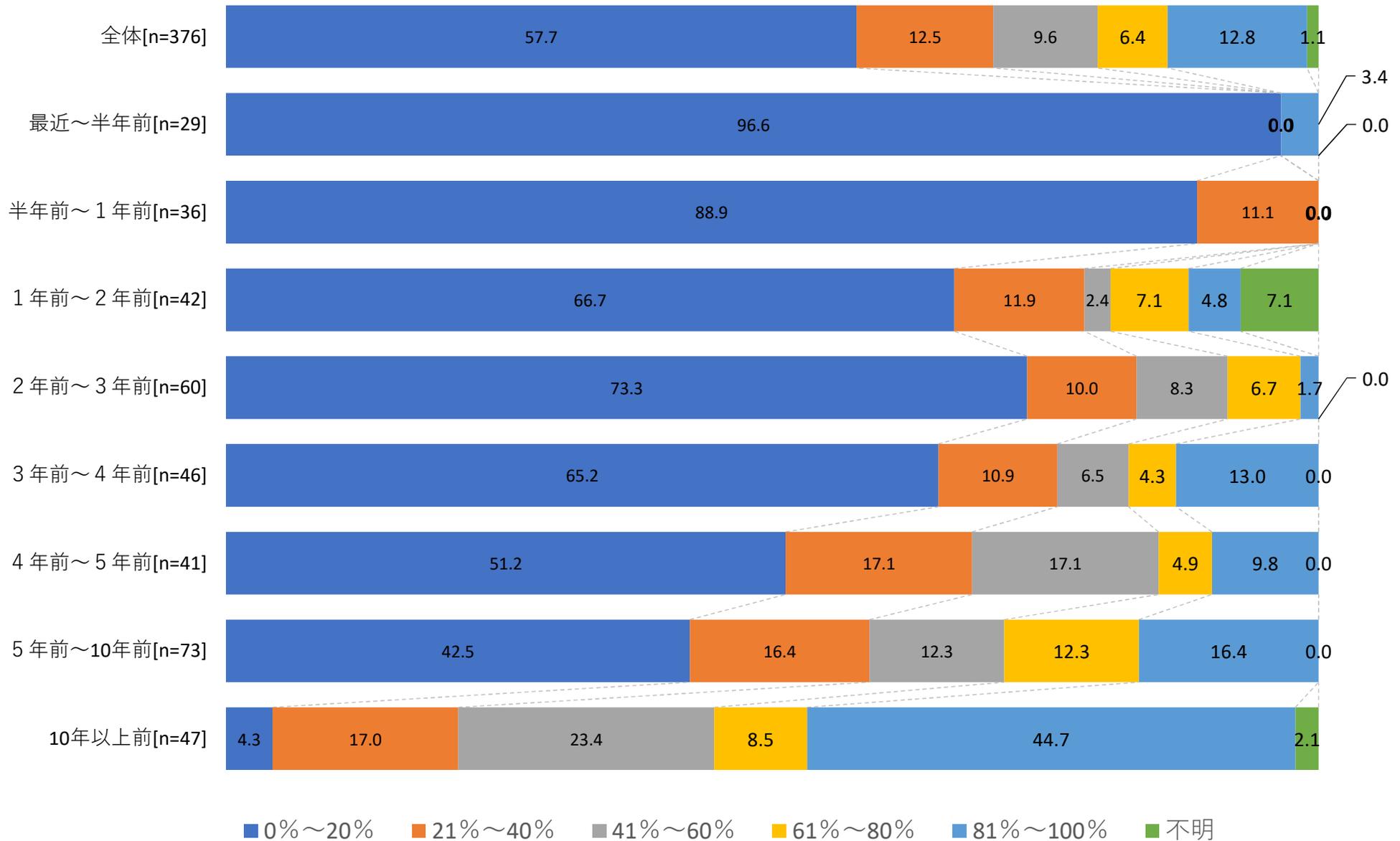


・所属部署での過去1年のBIM活用案件として、「40%以下」が約7割

集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業 国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

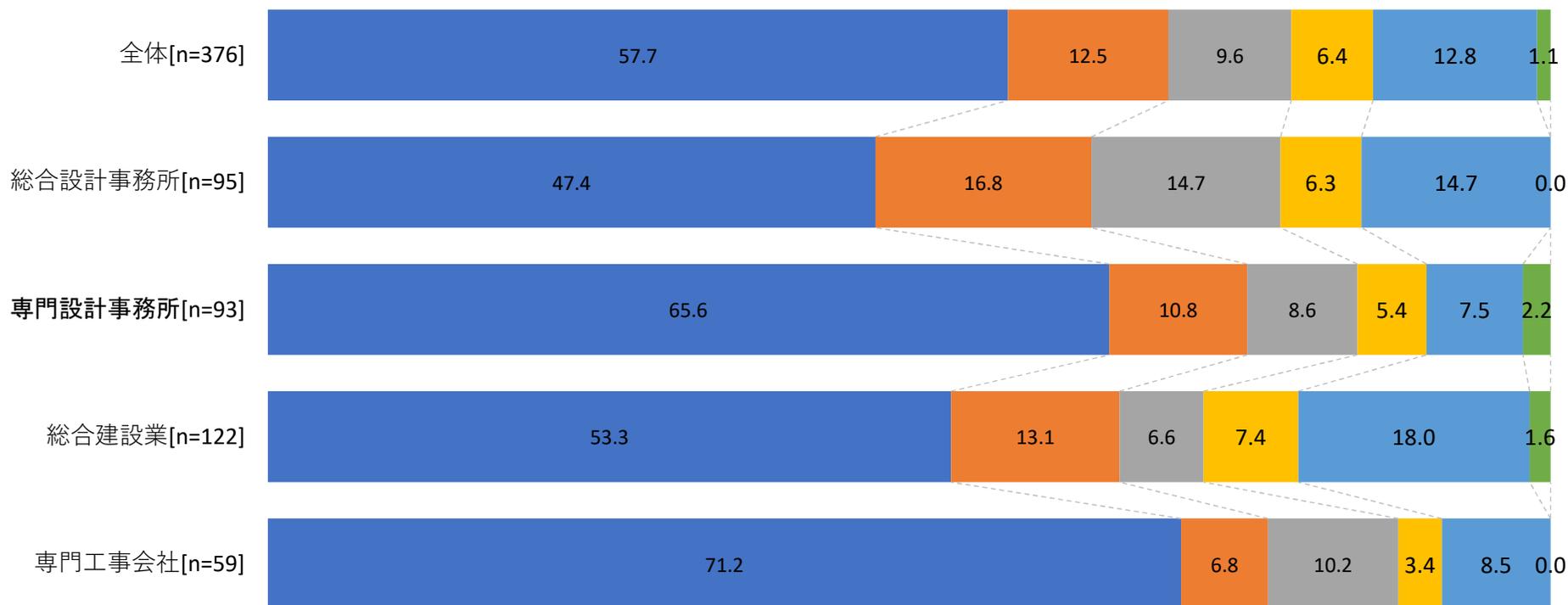
クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q15 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合



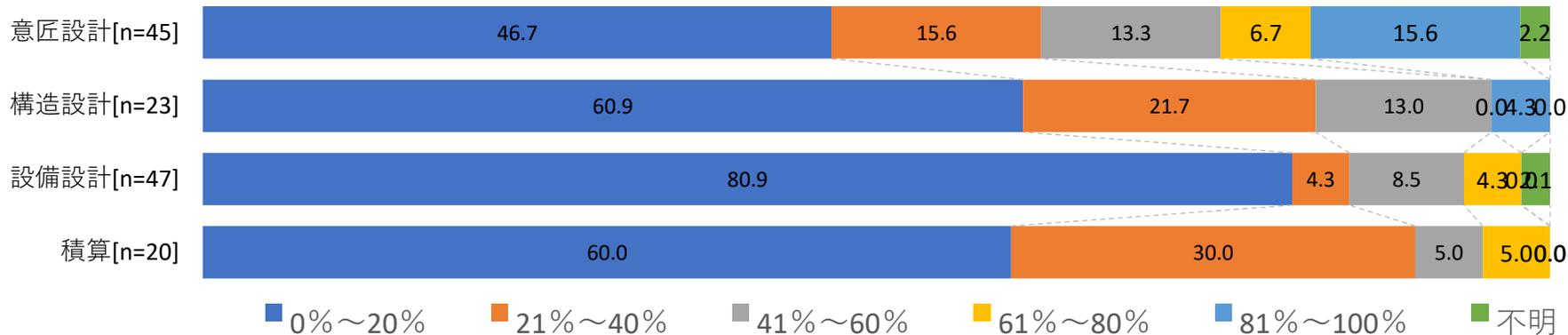
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q15 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

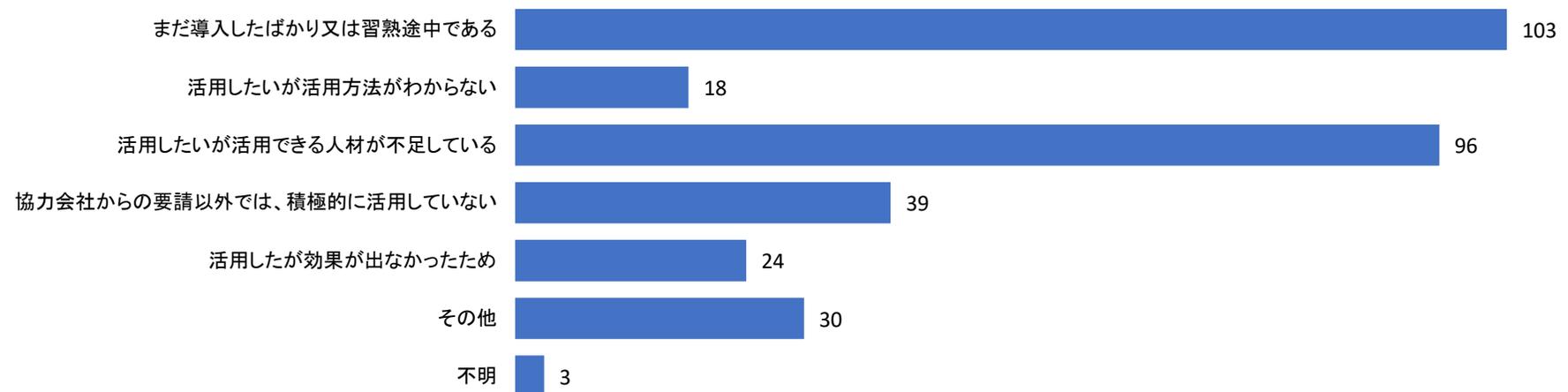
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q16 所属部署でのBIMの活用状況 (n=376/単一回答/%)



・B所属部署でのBIMの活用状況として、「積極的に活用している」方が多い

Q17 Q16で「②積極的には活用していない」を選択した理由 (n=176/複数回答/件数)



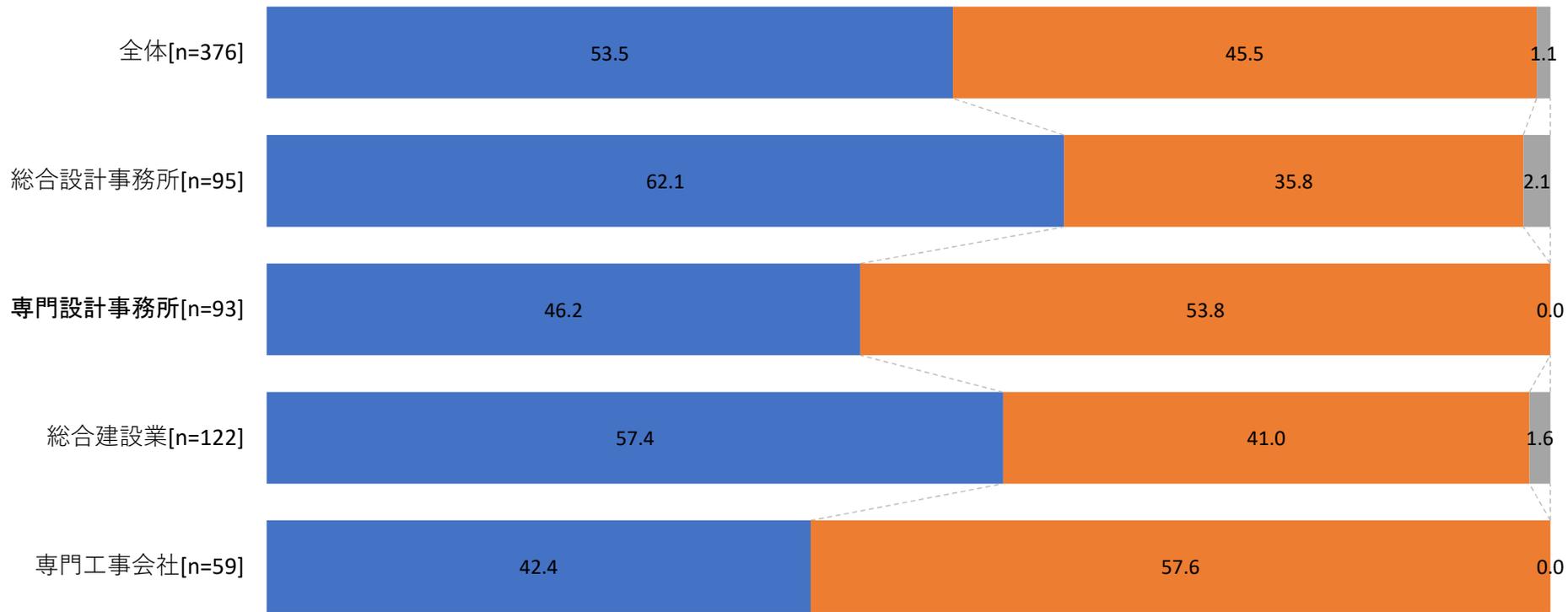
・「②積極的には活用していない」を選択した理由として、「まだ導入したばかり又は習熟途中である」や「活用したいが活用できる人材が不足している」という回答が多い

※「その他」の回答例として、作業時間や人材の不足・負担、発注者から求められない、関係事業者が導入していない、自部署で周囲が活用できていない等が挙がっている。

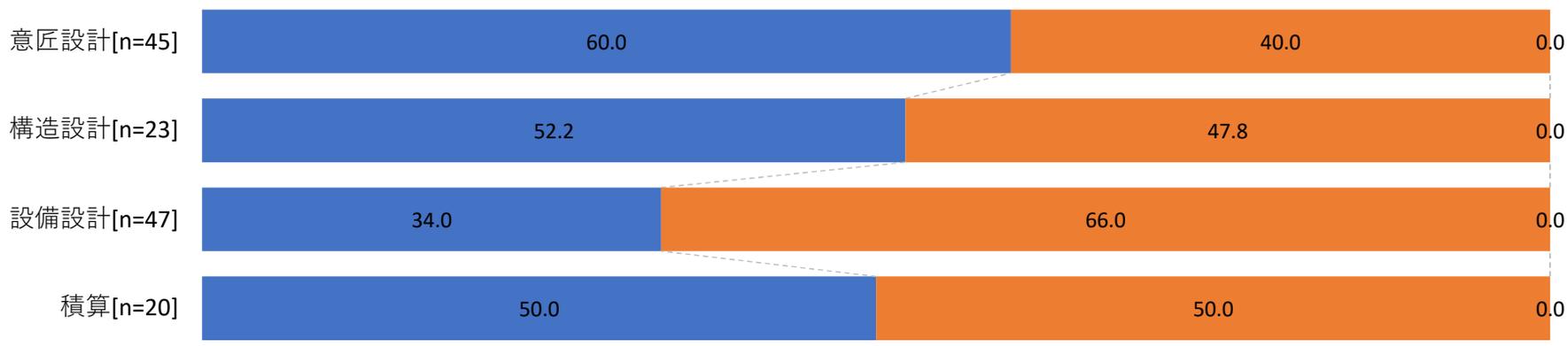
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q16 所属部署でのBIMの活用状況（%）



<専門設計事務所の主な内訳>

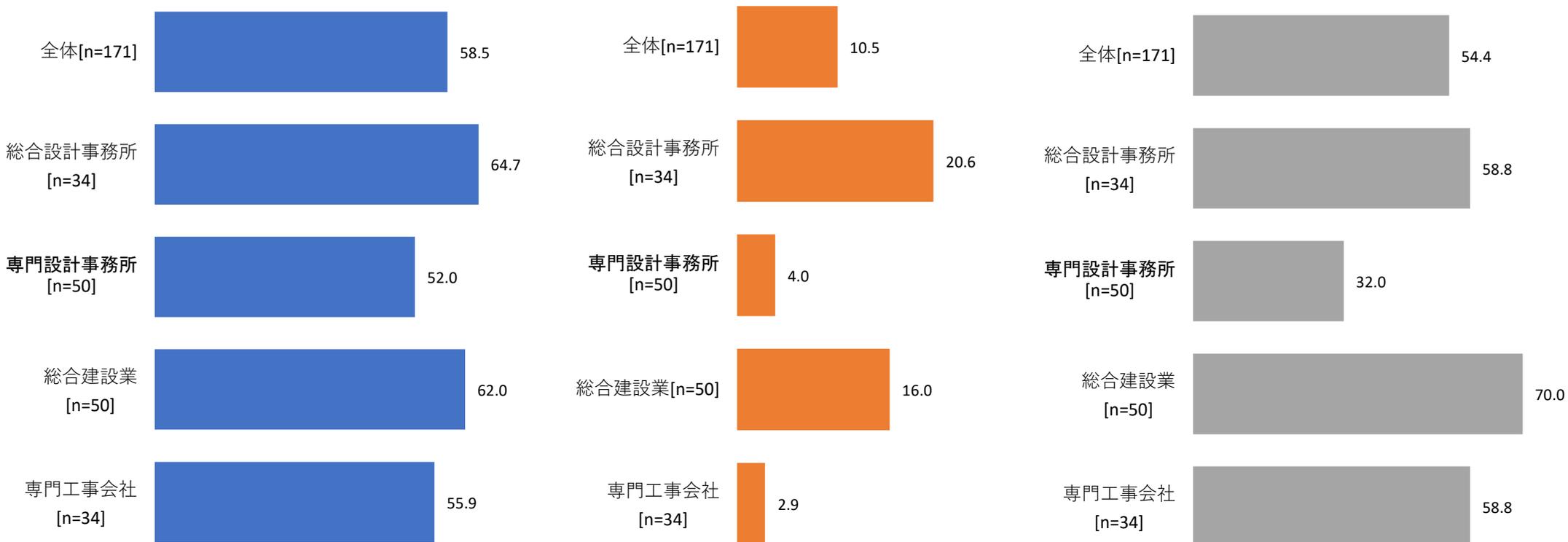


■ 積極的に活用している ■ 積極的には活用していない ■ 不明

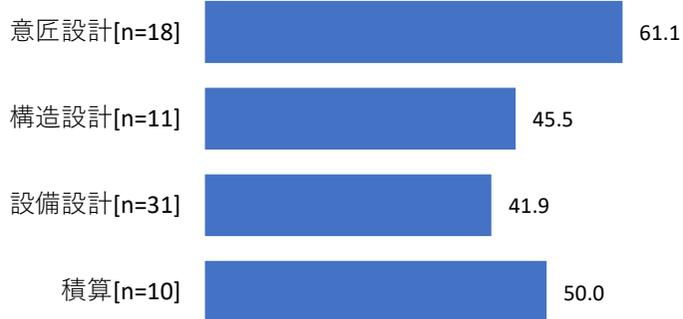
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

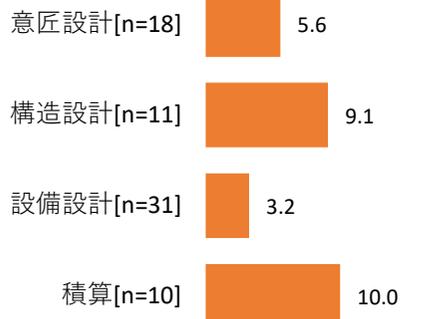
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q17 Q16で「②積極的に活用していない」を選択した理由（%）



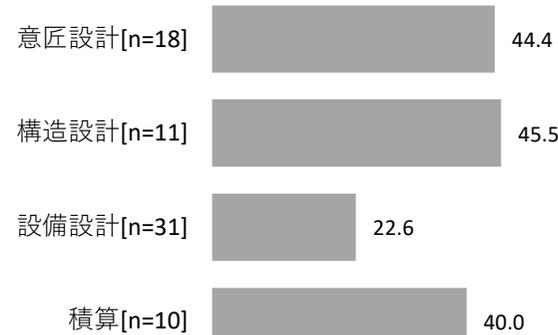
<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



■ まだ導入したばかり又は習熟途中である

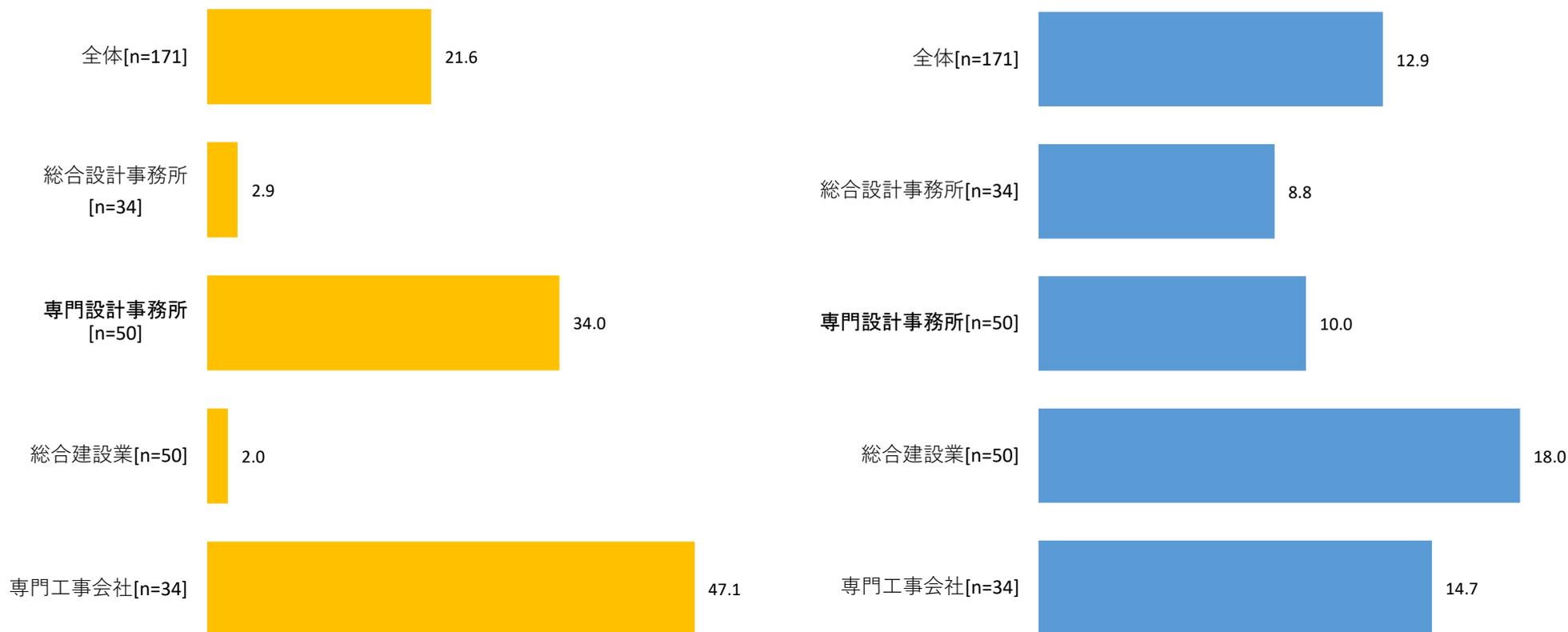
■ 活用したいが活用方法がわからない

■ 活用したいが活用できる人材が不足している 75

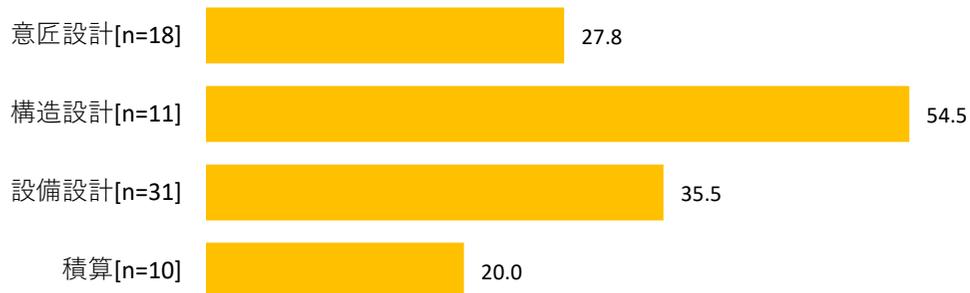
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

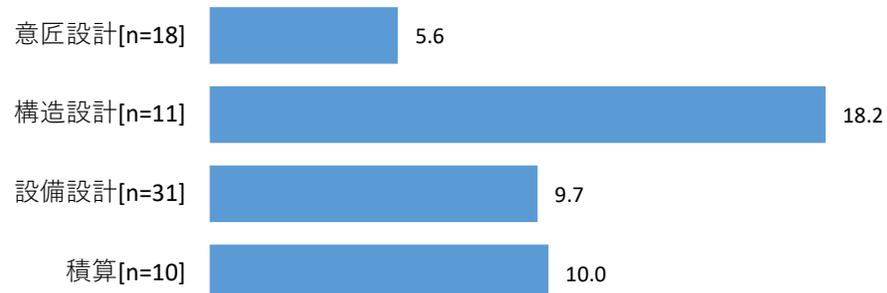
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q17 Q16で「②積極的に活用していない」を選択した理由（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 協力会社からの要請以外では、積極的に活用していない

■ 活用したが効果が出なかったため

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

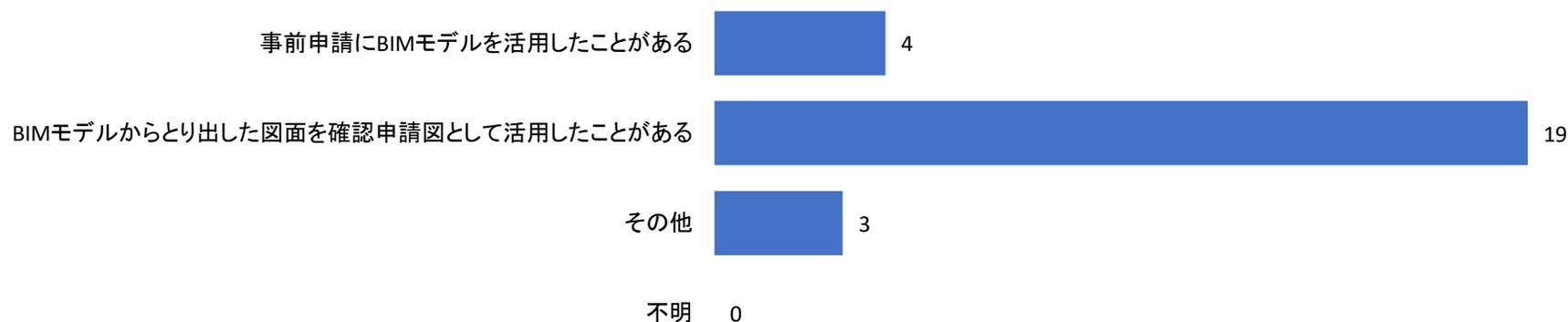
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q18 [設計三会に所属する方のみ]建築確認申請手続きにBIMを活用した経験はあるか (n=73/単一回答/%)



・建築確認申請手続きでのBIM活用は26%があると回答

Q19 Q18で「①ある」を選択した場合は、具体的な活用方法 (n=19/複数回答/件数)



・建築確認申請のBIMの具体的な活用方法として、そのすべてが「BIMモデルから取り出し図面を確認申請図として活用」と回答

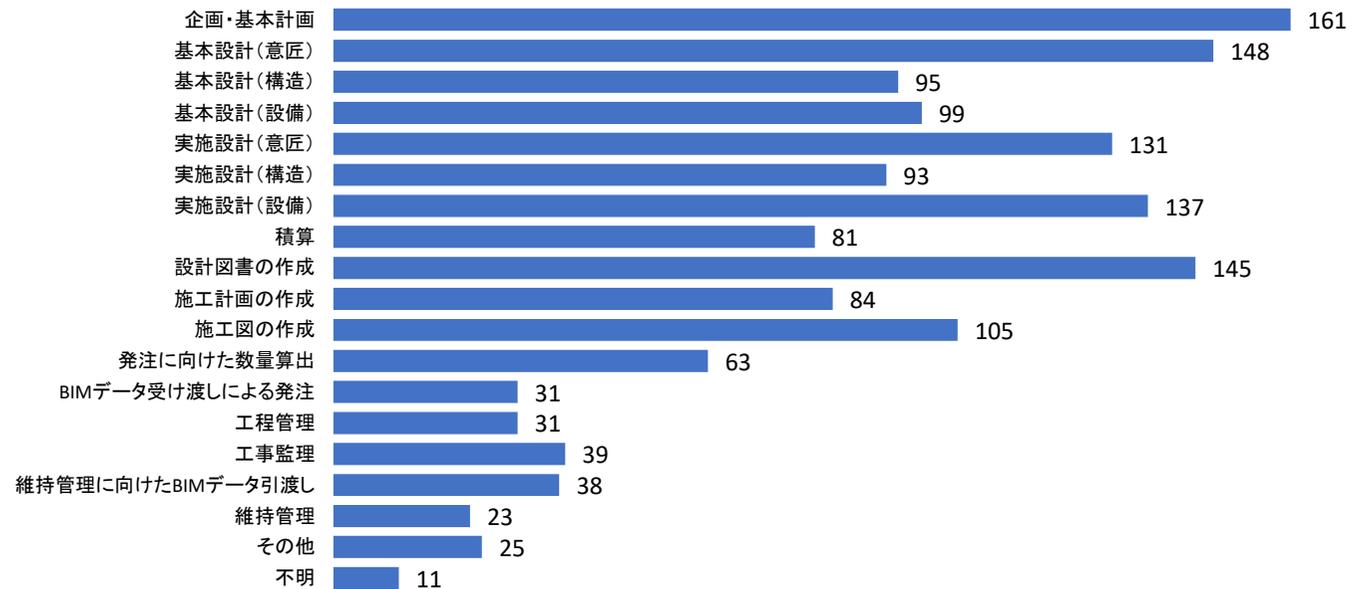
※「その他」の回答として、一部自動審査・ペーパーレス化の取り組み、本申請でのBIMモデル活用、採光排気換気の計算へのBIM活用が挙げられた。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q20 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等 (n=376/複数回答/件数)



・BIM活用のフェーズとして、「企画・基本計画」や「意匠設計」、「設備設計」が多い

※「その他」の回答例として、企画段階の顧客へのパースによる説明や近隣説明会、安全管理のフロントローディングへの活用等が挙げられている。

Q20 ② 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【②基本設計(意匠)】 (n=148/複数回答/件数)



・基本設計(意匠) では、「建築士による設計の活用」が多い

Q20 ③ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【③基本設計（構造）】 (n=95/複数回答/件数)



・基本設計（構造）でも、「建築士による設計の活用」が多い

Q20 ④ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【④基本設計（設備）】 (n=99/複数回答/件数)



・基本設計（設備）では、「建築士以外のものの設計補助の活用」が多い

Q20 ⑤ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑤実施設計(意匠)】 (n=131/複数回答/件数)



・実施設計(意匠)では、「建築士による設計の活用」が多い

Q20 ⑥ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑥実施設計(構造)】 (n=93/複数回答/件数)



・実施設計(構造)でも、「建築士による設計の活用」が多い

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q20 ⑦ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑦実施設計 (設備)】 (n=137/複数回答/件数)



・実施設計 (設備) では、「建築士以外のものの設計補助の活用」が多い

Q21 所属部署でBIMを活用した効果を定量的に把握しているか。また、定量的に把握するための基準をあらかじめ定めているか。(n=376/単一回答/%)



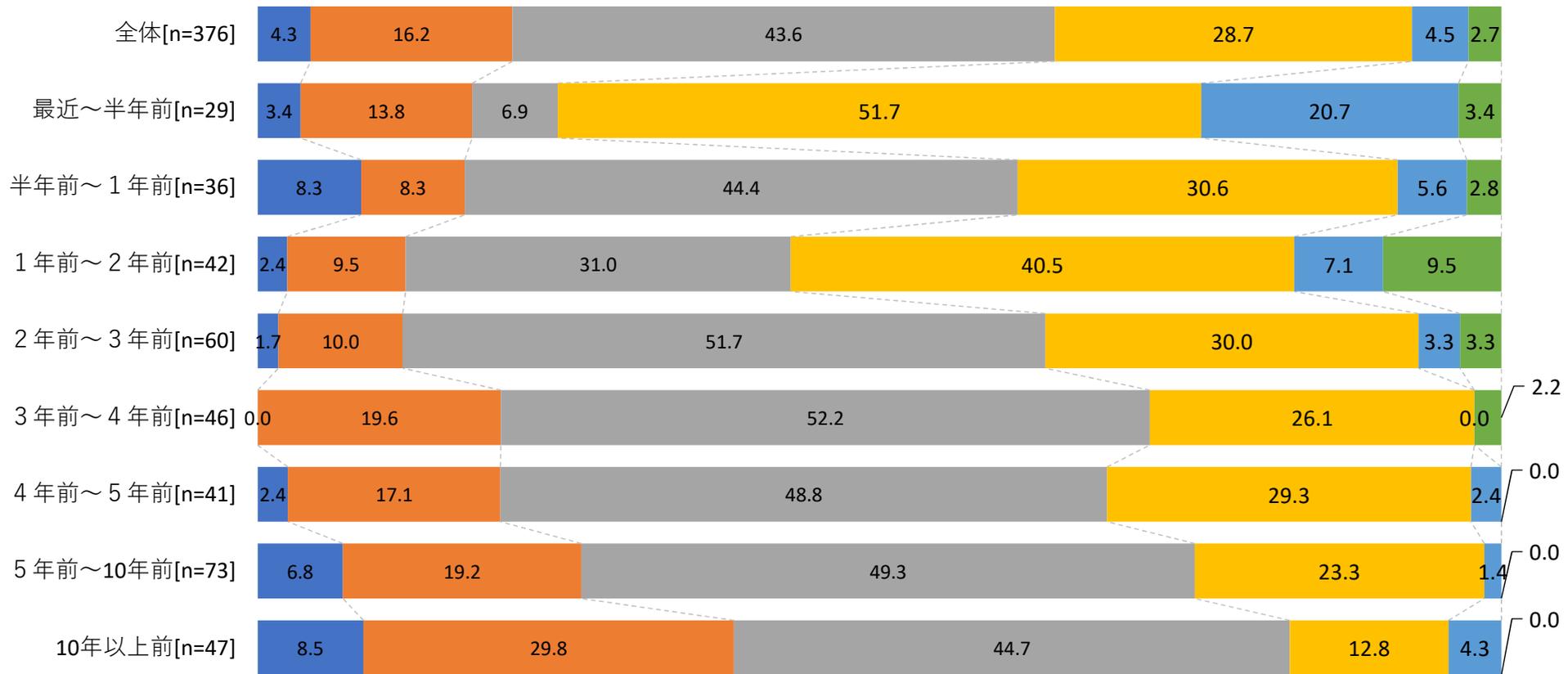
・活用効果の把握・基準として、効果を把握しているのは約20%

※「その他」の回答例として、まだ導入したばかりであるといった回答が多い。

集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業 国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q21 所属部署でBIMを活用した効果を定量的に把握しているか。また、定量的に把握するための基準をあらかじめ定めているか。



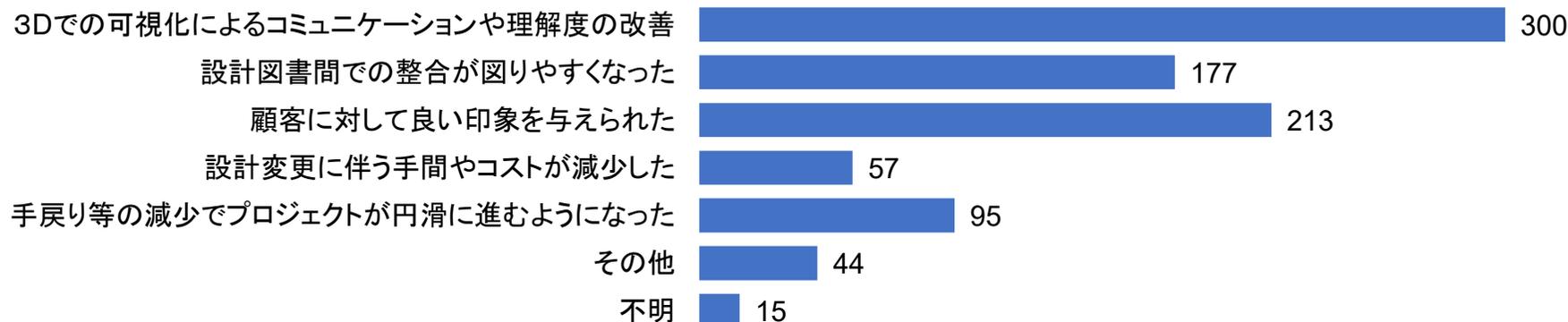
- 効果を定量的に把握するための基準を定め、把握している
- 基準は定めていないが、効果は都度定量的に把握している
- 基準は定めておらず、効果は定性的にしか把握していない
- 効果は把握していない
- その他
- 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

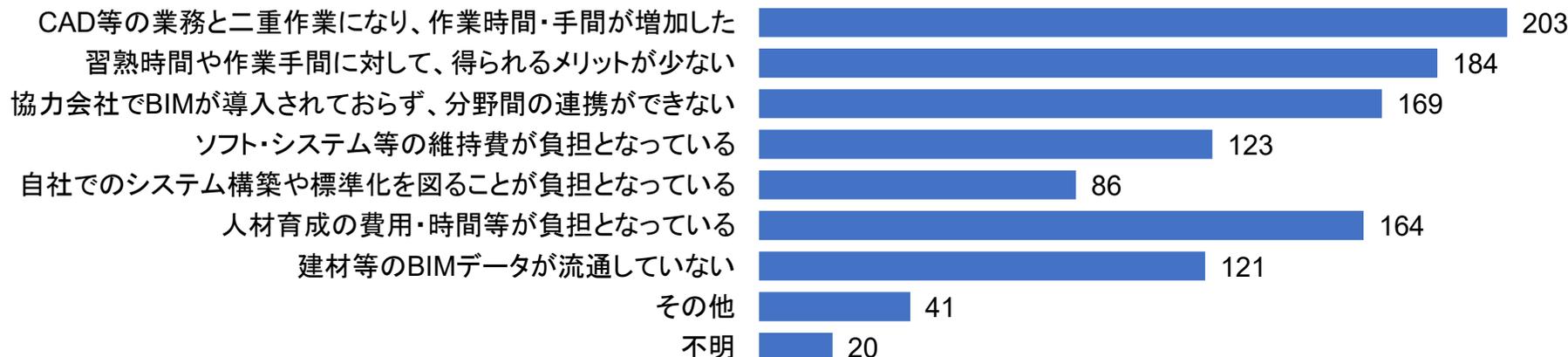
Q22 所属部署でBIMの導入によりメリット・効果が得られたと実感できる場面 (n=376/複数回答/件数)



・メリット・効果を得られる場面として、「3Dでの可視化によるコミュニケーションや理解度の改善」が最も多く(約8割)、次いで「顧客に対して良い印象を与えられた」が多い(57%)

※「その他」の回答例として、作業時間の短縮、図面間の不整合の減少、積算効率化、外注費削減、精度の高い設計等が挙げられている。

Q23 所属部署でBIMの導入によるメリット・効果が得られていないと感じる場面 (n=376/複数回答/件数)



・メリット・効果を得られていない場面として、「CAD等の業務と二重作業になり、作業時間・手間が増加した」が最も多い(約5割)

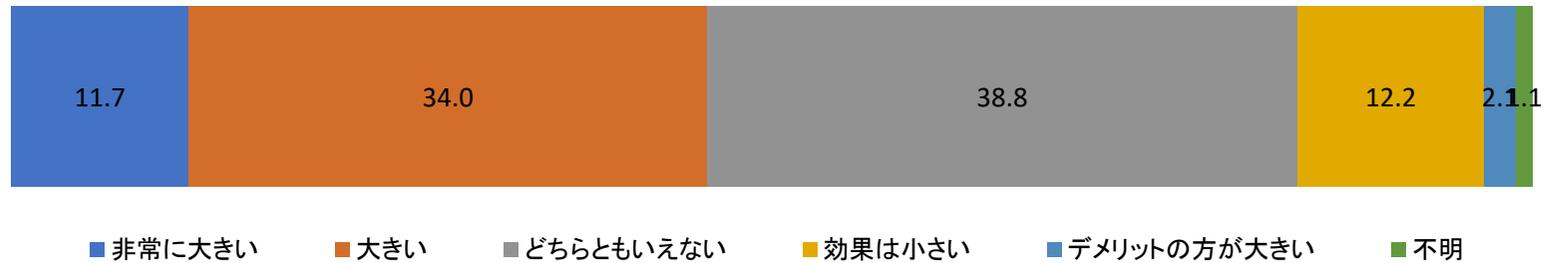
ソフト・システム等の費用負担よりも、習熟時間・作業手間やその費用対効果、人材育成の負担等が挙げられている

※「その他」の回答例として、紙やPDFのアウトプットが求められる点、CADとの二重作業、体制や人員の不足、まだまだBIMは未習熟であること等が挙げられている。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q24 BIMを活用したことによるメリット・効果 (n=376/単一回答/%)

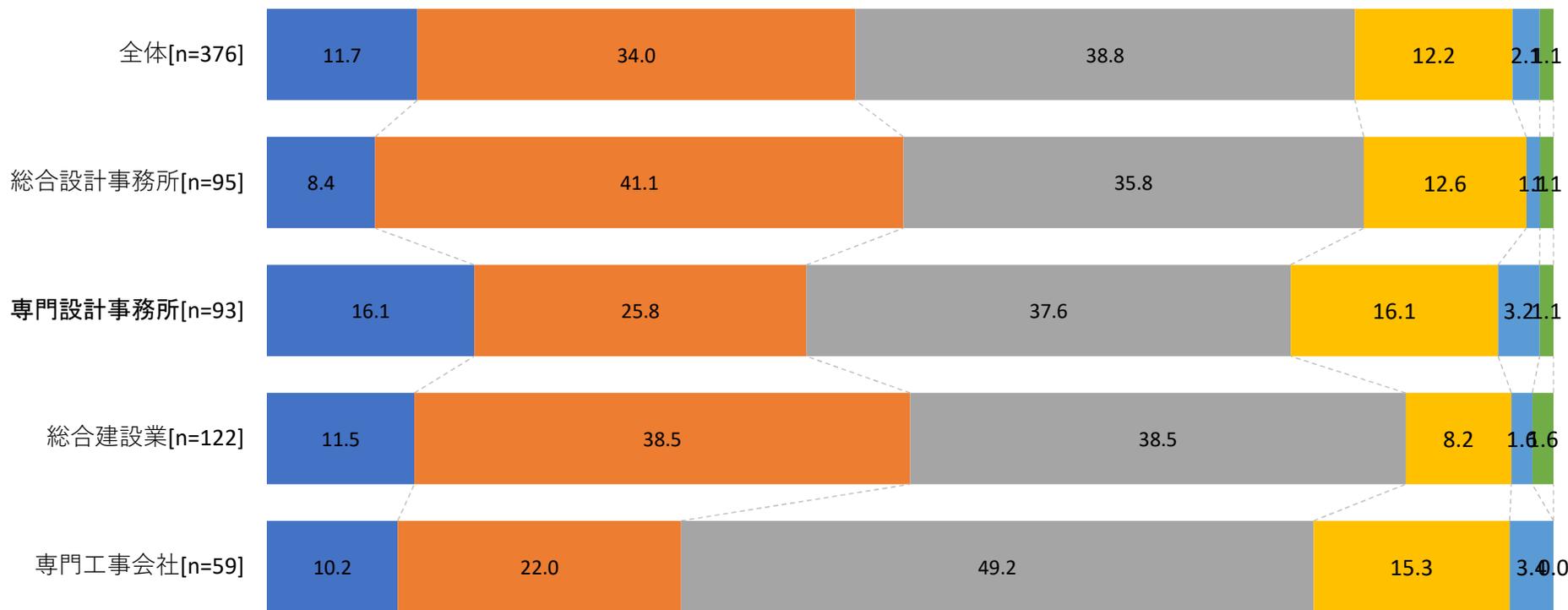


・BIMの活用によるメリット・効果を大きいと感じているのは約45%

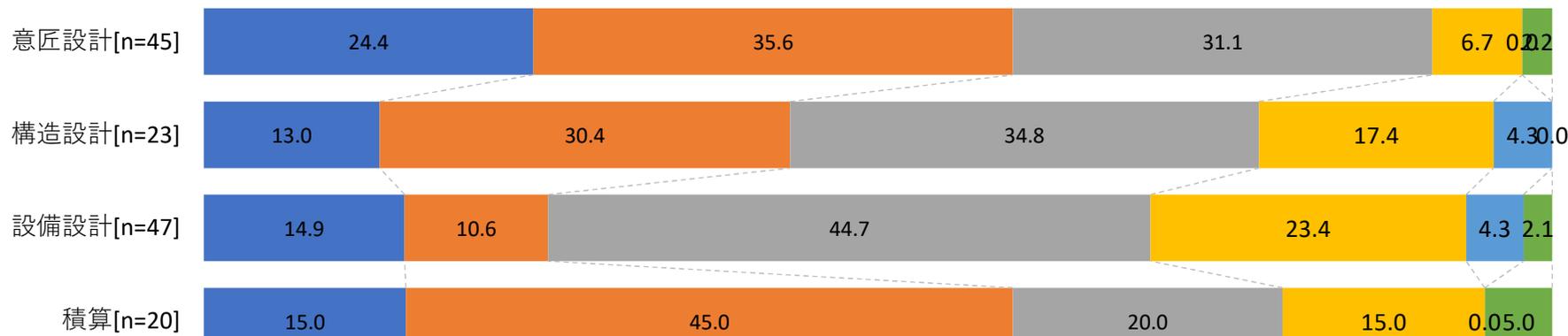
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q24 BIMを活用したことによるメリット・効果（%）



<専門設計事務所の主な内訳>

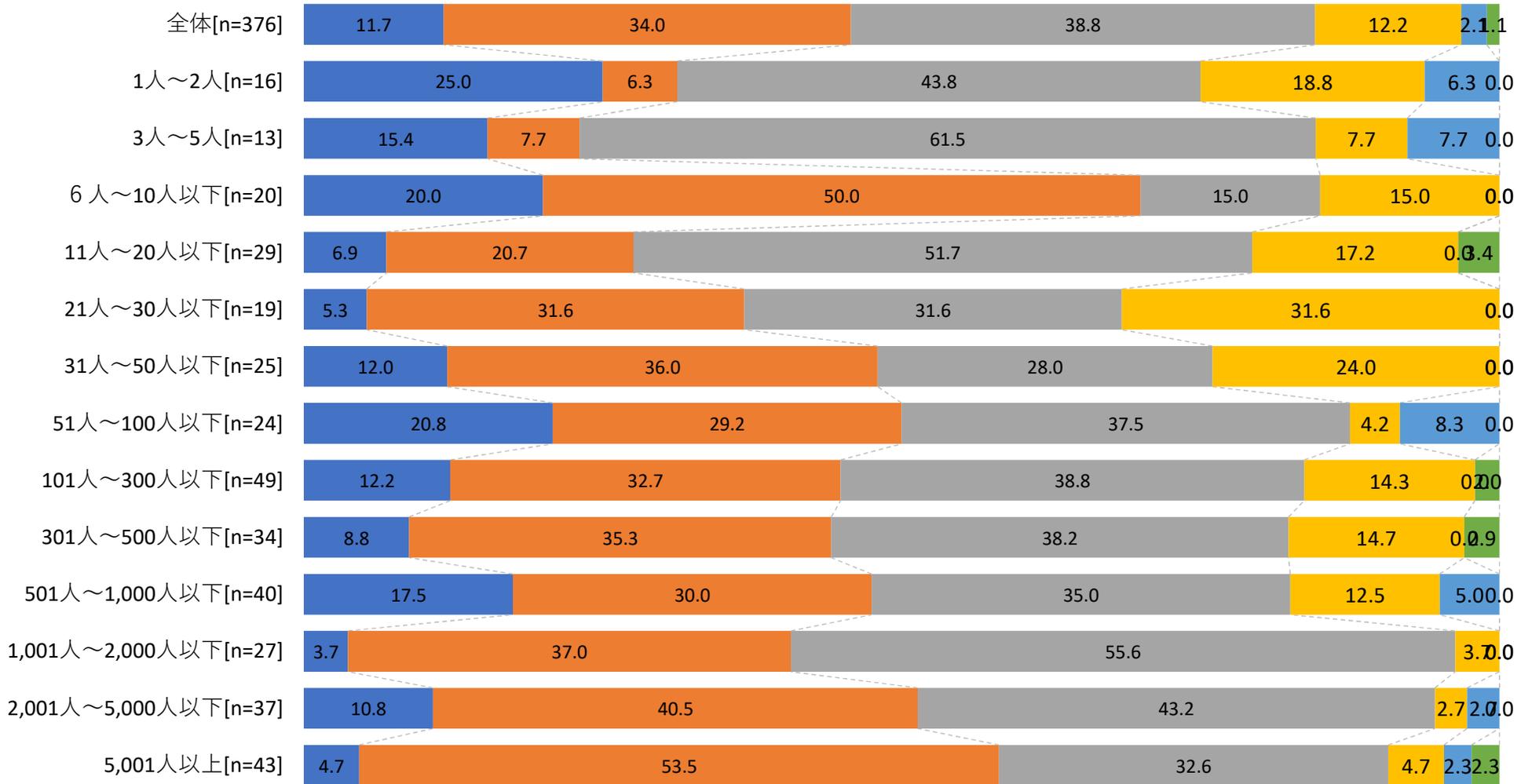


■ 非常に大きい ■ 大きい ■ どちらともいえない ■ 効果は小さい ■ デメリットの方が大きい ■ 不明

集計結果(クロス集計・企業規模別) BIMを導入している企業 国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q2 所属する企業の規模（従業員数）×Q24 BIMを活用したことによるメリット・効果

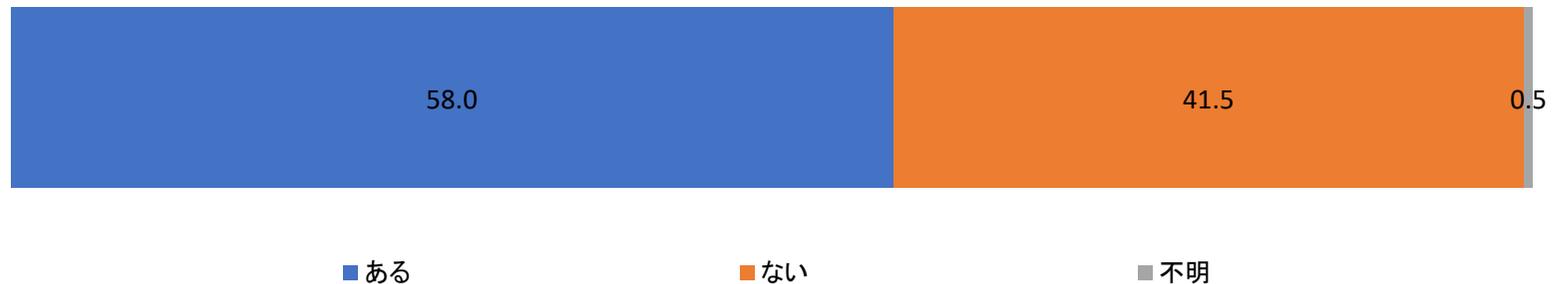


■ 非常に大きい ■ 大きい ■ どちらともいえない ■ 効果は小さい ■ デメリットの方が大きい ■ 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q25 これまでに自社内の他部署又は社外とのデータ連携を行ったことはあるか (n=376/単一回答/%)



・データ連携は58%が行ったことがある

Q26 Q25で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か (n=218/複数回答/件数)

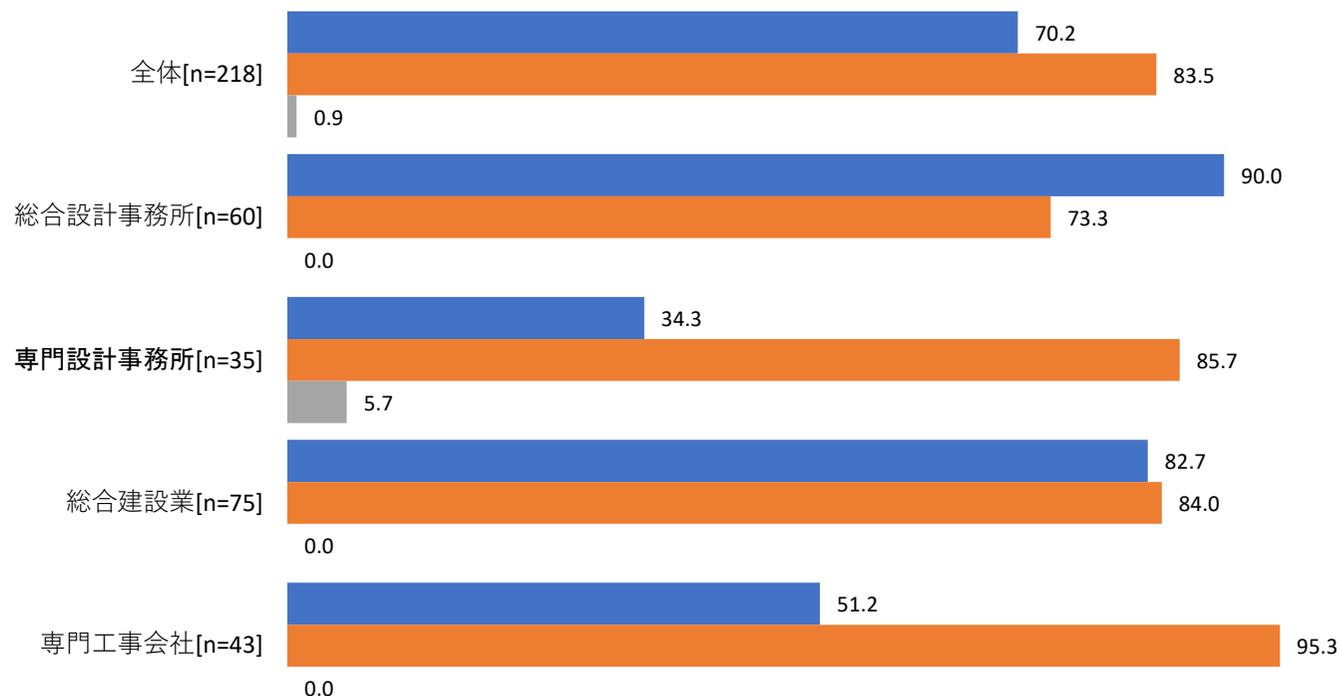


・データ連携の手法としては、「社外とのデータ連携」が約 8 割、「自社内の他部署とのデータ連携」が約 7 割

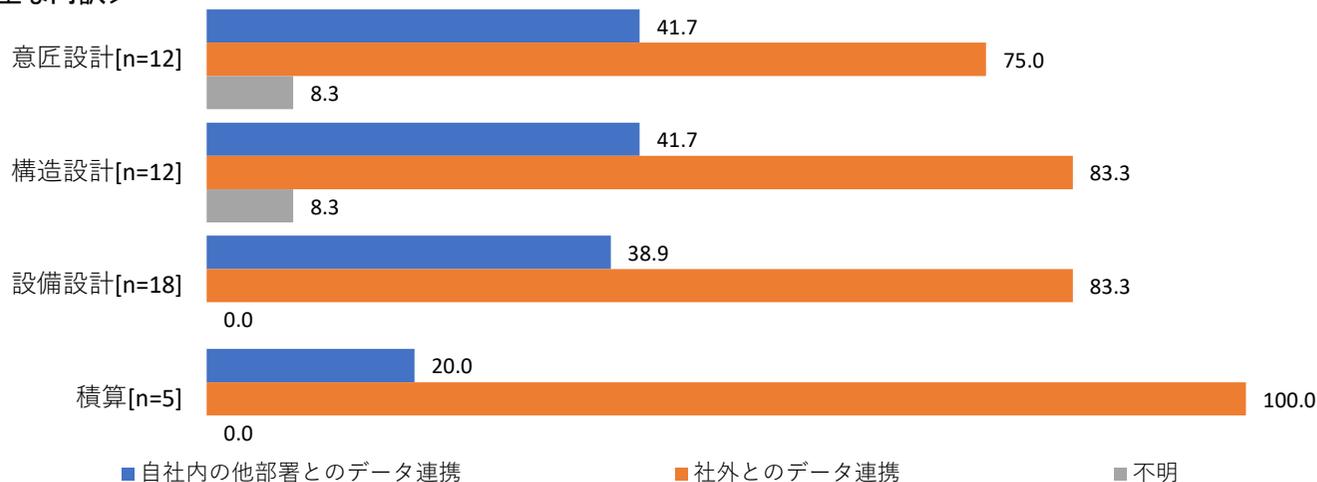
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q26 Q25で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か (n=218/複数回答/件数)



<専門設計事務所の主な内訳>

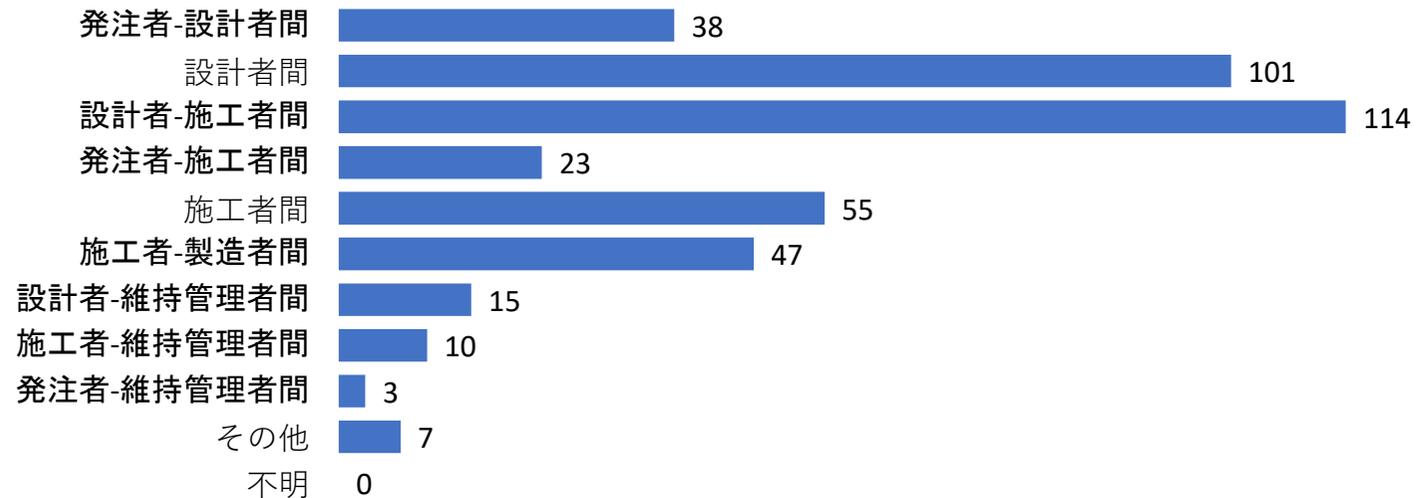


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q27 Q26で「②社外とのとのデータ連携」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か (n=182/複数回答/件数)



- ・「②社外とのとのデータ連携」を選択した場合として、「設計者-施工者間」(約6割)や「設計間」(55%)が多い
発注者や維持管理者間とのデータ連携は比較的少ない

※「その他」の回答例として、設計者-積算間、設計者-メーカー間、施工者-設備代理店間、CADオペ(海外)活用等が挙げられている。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

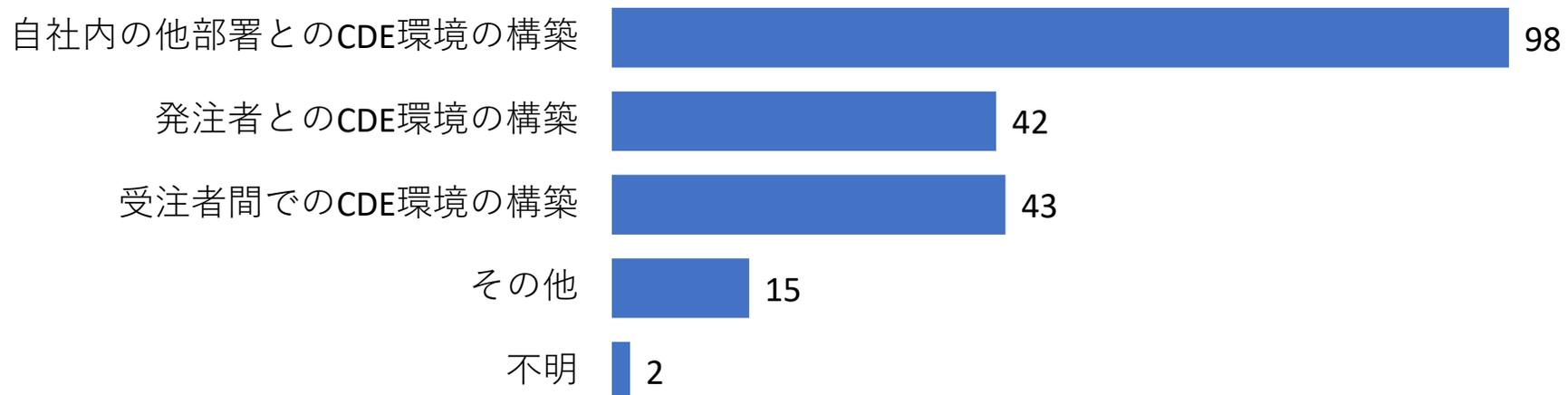
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q28 所属部署でのBIMの活用において、共通データ環境 (CDE環境) を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはあるか (n=376/単一回答/%)



・約 3 割が共通データ環境 (CDE環境) の構築を行ったことがある

Q29 Q28で「①ある」を選択した場合、具体的にどのようなCDE環境の構築を行ったか (n=124/複数回答/件数)



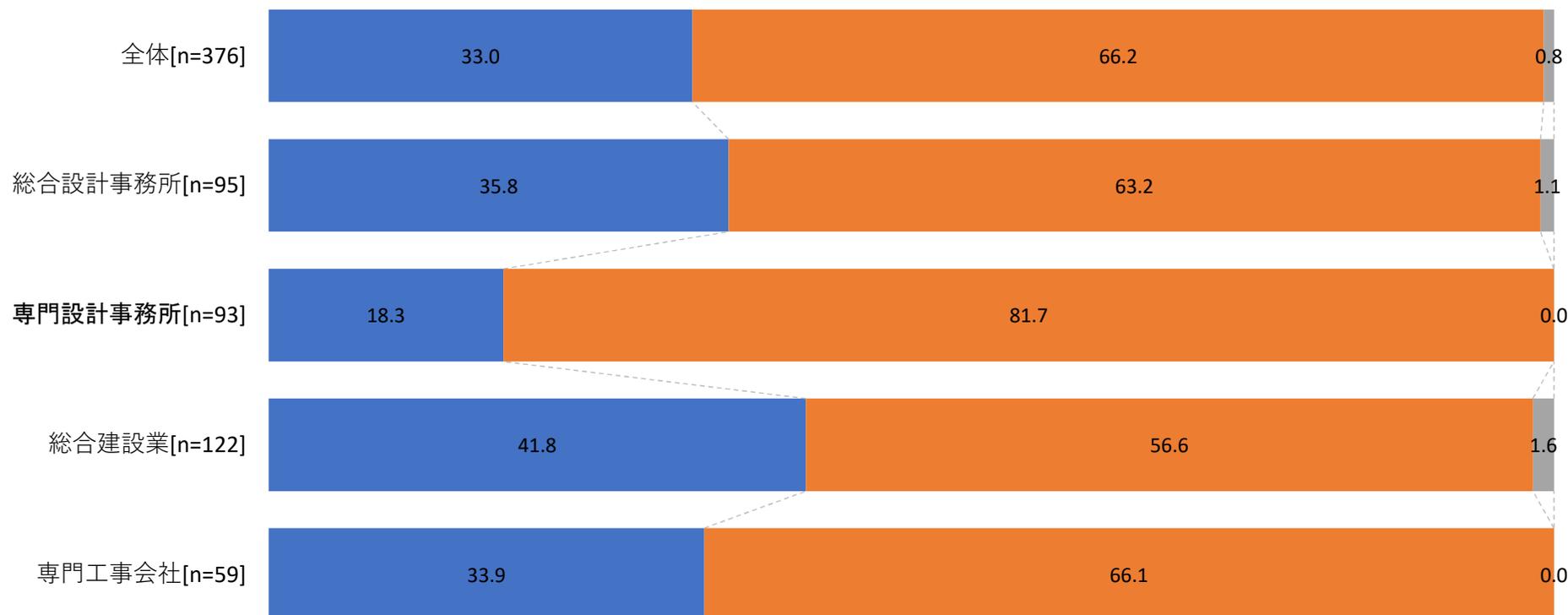
・「①ある」を選択した場合として、「自社内の他部署とCDE環境の構築」が最も多い (約 8 割)

※「その他」の回答例として、発注者・維持管理者と受注者とのCDE環境の構築等が挙げられている。

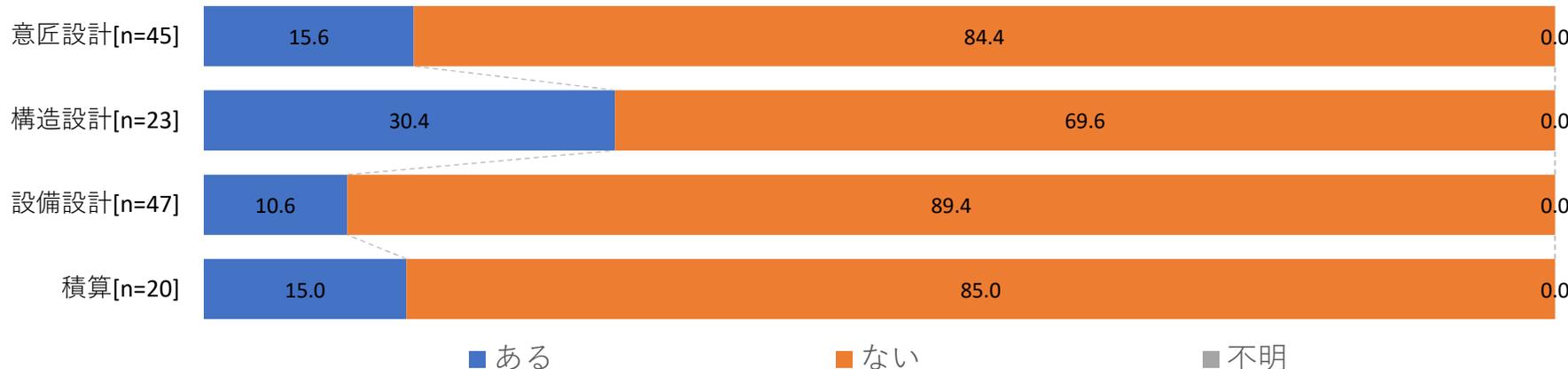
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q28 所属部署でのBIMの活用において、共通データ環境（CDE環境）を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはあるか（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q30 所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内でルールを定めているか (n=376/単一回答/%)

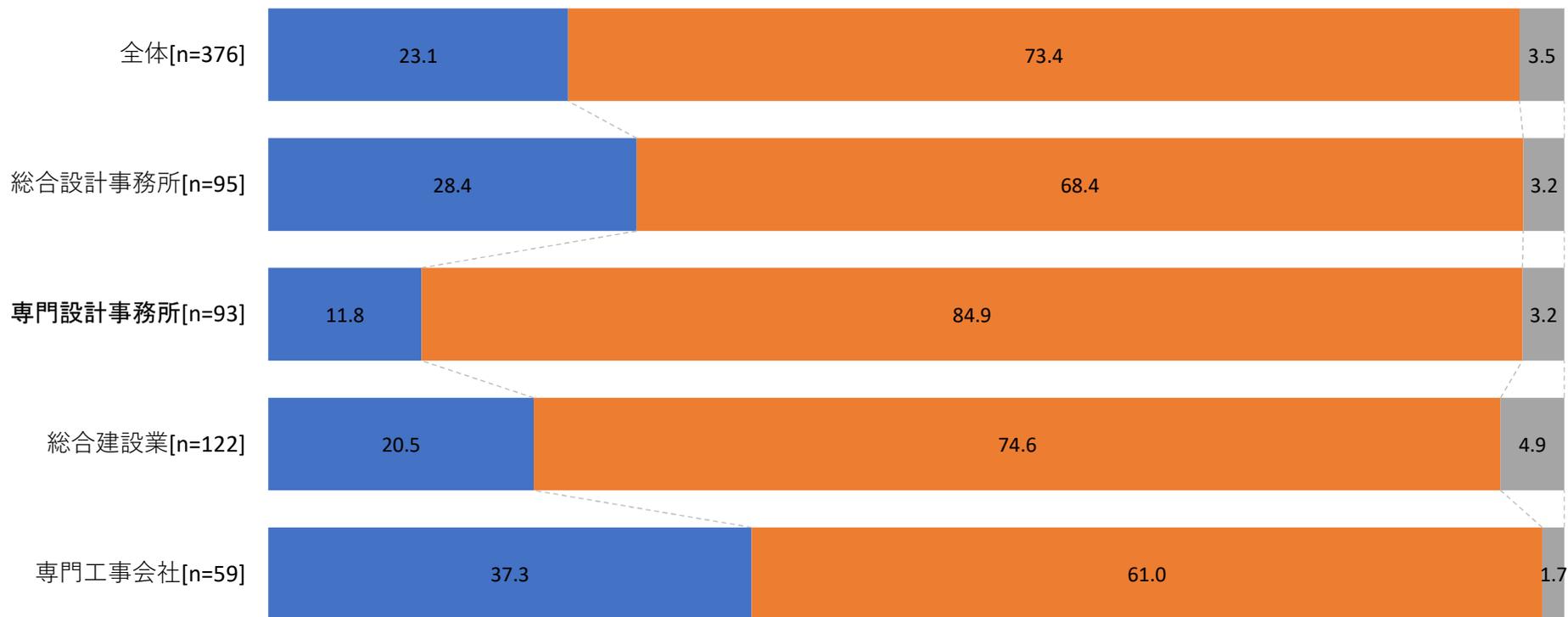


- ・BIMデータの社内ルールは約7割が「定めていない」
- ・定めている場合、BIMデータであるから留意点として、以下のような意見が挙げられた
 - ✓ 機密保持、アクセス権限を限定
 - ✓ データの長期見読性、ファイルのバージョン管理
 - ✓ ネイティブデータ以外にIFCも保管
 - ✓ 保存するデータの整理整頓と長期保存適したデータ形式
 - ✓ オリジナルデータの書き換え禁止
 - ✓ 外部データとリンク切れを起こさないよう保存フォルダを固定
 - ✓ 最終データのみ保存、不要データ削除(ファイル容量が大きい)
 - ✓ 成果品だけでなく、パーツ・過程データ・参照図面なども保存
 - ✓ 整理方式の明示(フォルダ・ファイル名、バージョン管理、パラメータ値の設定、原点、改変履歴の明示方法等)
 - ✓ 自動バックアップデータの作成、クラウド保管
 - ✓ 作図期間や担当者、数量表等を含む全データはディスク保管。今後の作図や教育に活用できる図面データはサーバー保管 等

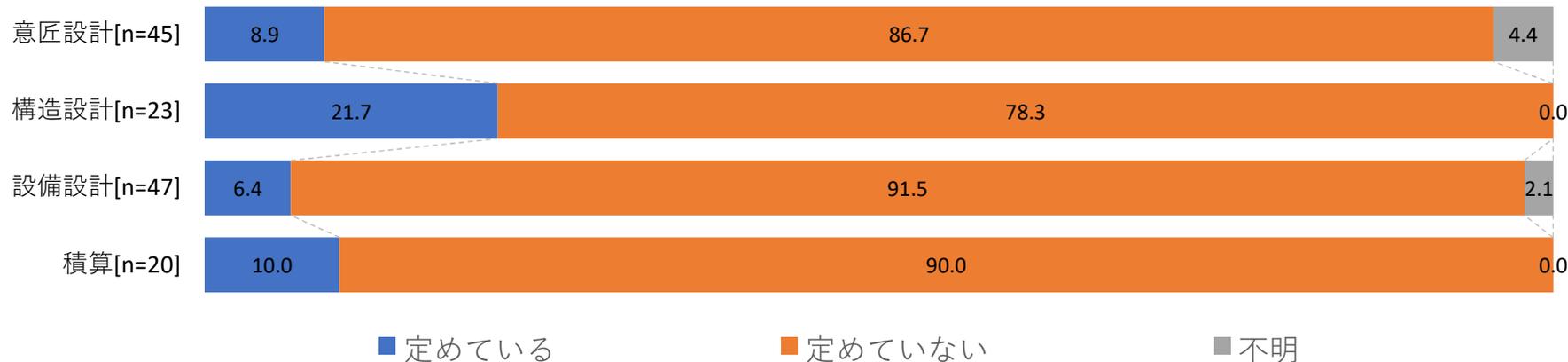
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q30 所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内でルールを定めているか（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 定めている ■ 定めていない ■ 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q3 1 BIMデータの権利(著作権や所有権)についてどのようにお考えですか? (例:権利が推進の障害になっていると感じている。等) (自由回答)

・主に以下のような意見が挙げられた

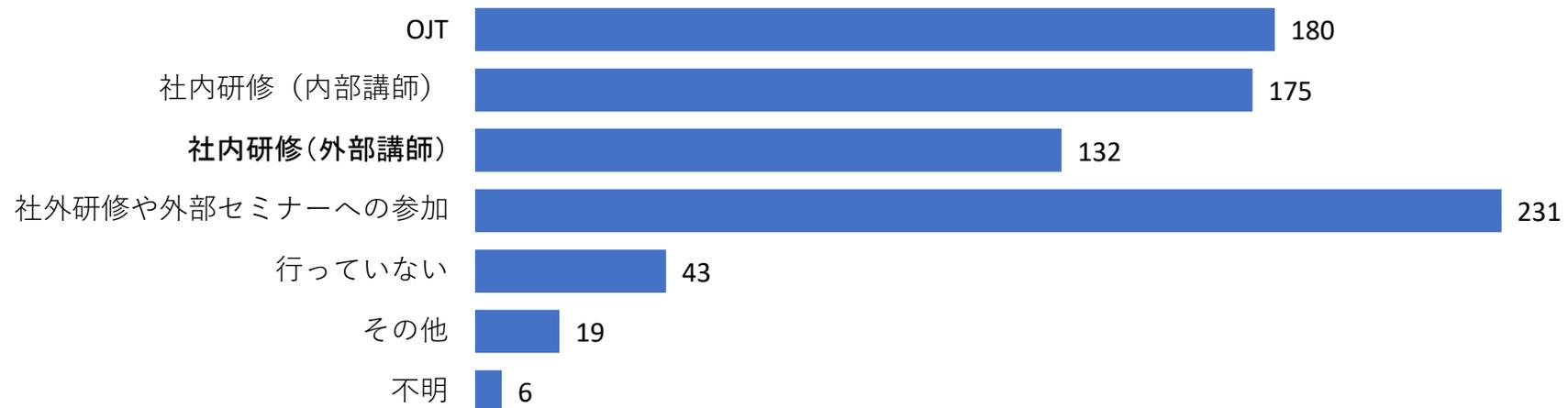
- ✓ 重要であり、各業界での早めのルール化が望まれる
- ✓ データ連携、受け渡しが推進されると問題になると考える
- ✓ 特に設計から施工へのデータ連携は権利を明確にすべき
- ✓ 細部の入力間違い等がある場合のデータの責任とその保証の観点から、他社との連携に積極的になることができない
- ✓ 権利と責任は表裏一体。契約で様々なことを整理すべき
- ✓ 現状受け渡しはノウハウ開示にもつながり不安である
- ✓ 個社ごとではなく、業界で標準のルール、オープンにする情報を整理すべき
- ✓ 二次利用(提案書・広告等)についてのルール・基準も必要
- ✓ 設計自体は設計者の著作権であり、それに付随して作成されるモデルデータは二次的著作権と考える
- ✓ データは価値があるものであるため、権利の取り決めが必要
- ✓ データは、顧客から内容の指定があり、その目的に応じて加工され、納品され、対価をいただくため、問題とは考えない
- ✓ 各社が自社の標準でライブラリを整備しているため、他社にネイティブデータを渡せない
- ✓ オブジェクトやテンプレートに各社のノウハウが詰まっいて、著作権が出て来るのだが、そこにこだわり過ぎると、進展の壁になりうる
- ✓ オブジェクトの著作権については、当事者間で決めるべきことであり、データ流出はそれぞれの立場で管理する必要がある
- ✓ これまであまり意識していない、現状支障はない
- ✓ CADと同じ感覚でいる
- ✓ データの権利を意識するまでの活用に至っていない 等

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q32 所属企業でのBIMに関する教育として、どのような取り組みを行っているか (n=376/複数回答/件数)



・社内での教育として、「社外研修や外部セミナーへの参加」が最も多い(約6割)

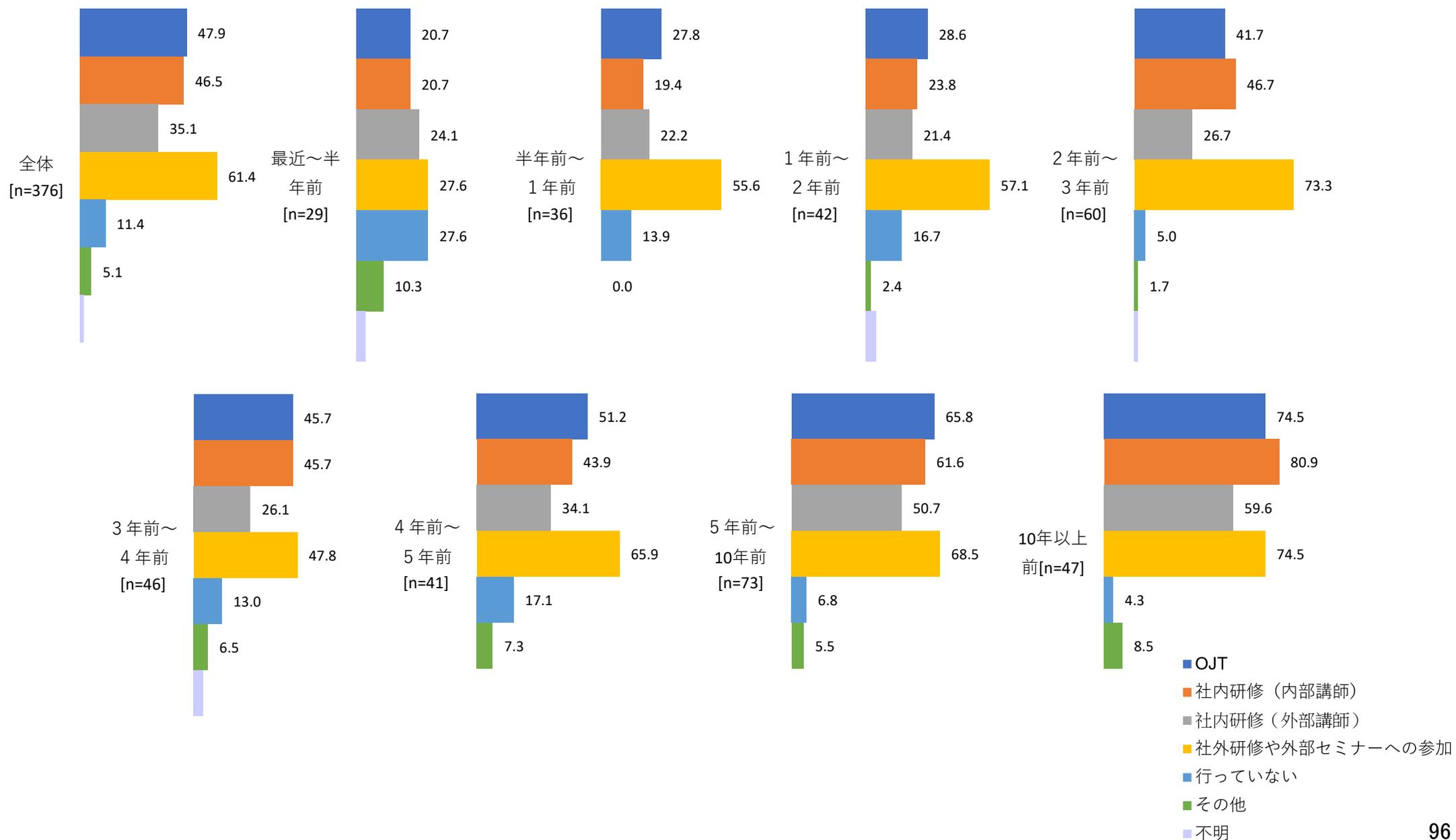
※「その他」の回答例として、技術発表会・交流会やeラーニング整備、若手社員研修、独学等が挙げられている。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属する企業（所属部署）におけるBIMの導入×Q32 所属企業でのBIMに関する教育への取り組み(%)

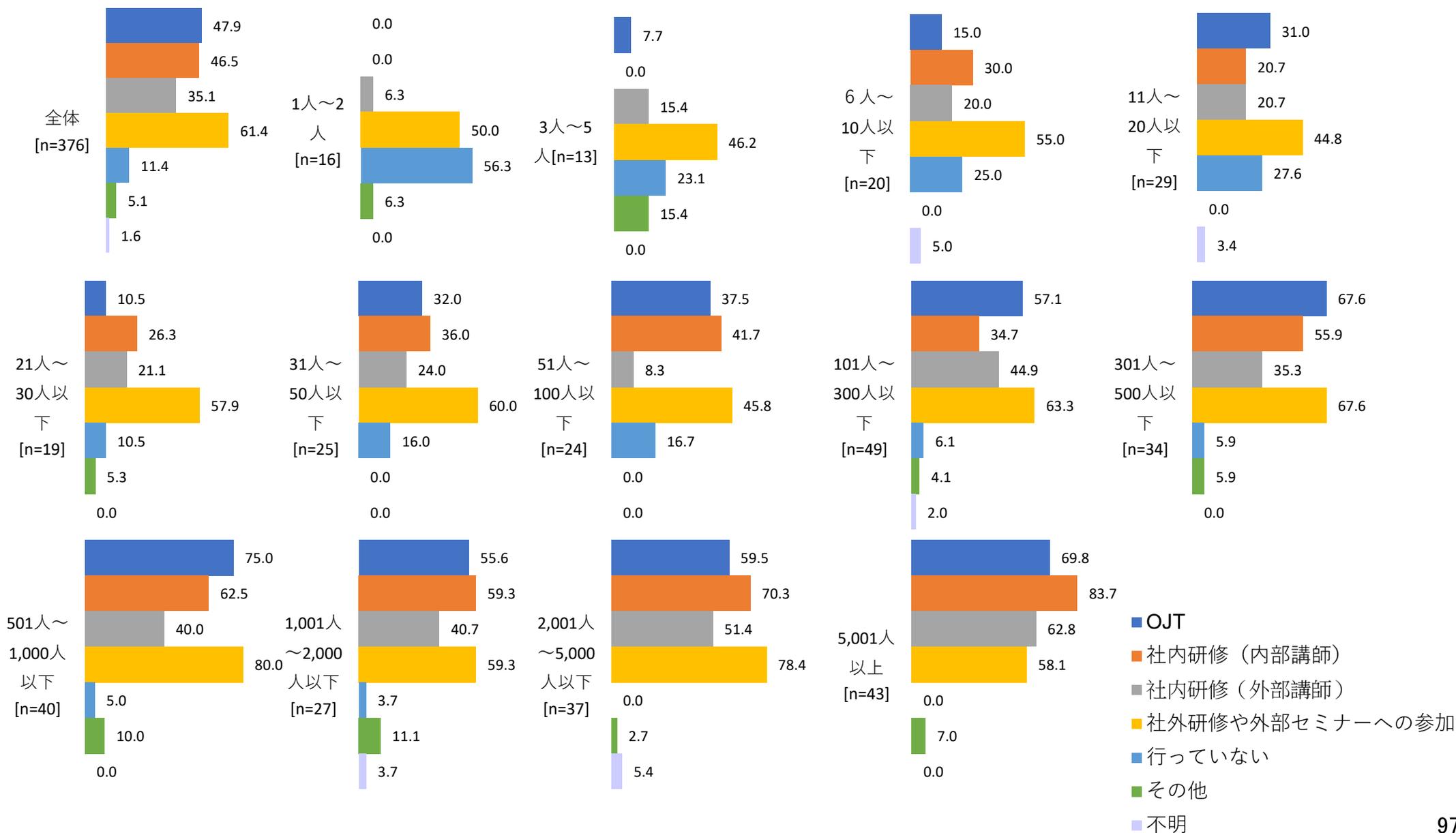


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q2 所属する企業の規模 (従業員数) × Q32 所属企業でのBIMに関する教育としてどのような取り組みを行っているか(%)

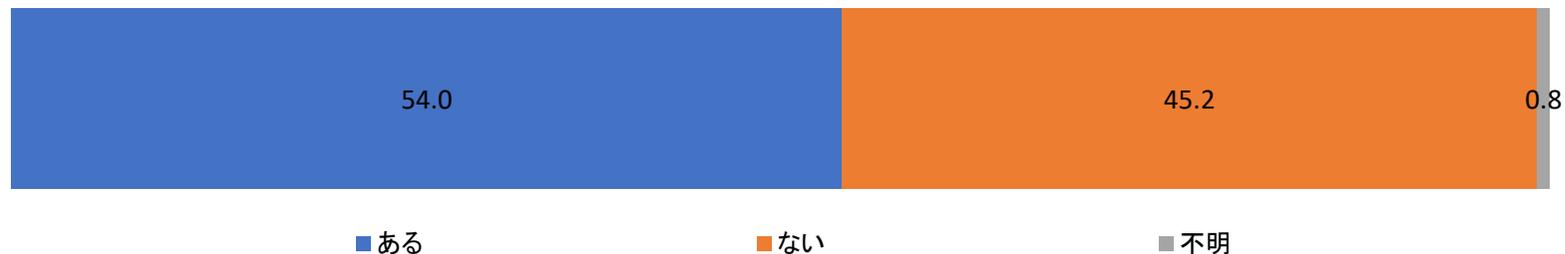


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q33 BIMの活用を推進するにあたり、企業として取り組んでいること (n=376/単一回答/%)



・BIMを活用している企業では、約半数がBIM活用を推進する取組みを行っている

Q34 Q33で「①ある」を選択した場合は、企業としてのBIMの活用促進に向けた取組みについて記入してください。 (例：BIM推進室により、社内のプラットフォームの整備、設計業務のデジタル化に取り組んでいる。等)

・主に以下のような意見が挙げられた

- ✓ BIM推進室の設置等、専門部署・専門担当者の設置による社内のBIM推進の統括
- ✓ 社内プラットフォームの整備 (オブジェクト・テンプレートの整備、ライセンス管理、業務フロー構築、マニュアル作成、作図標準の改訂、BIMサポートルームの開設、海外作図会社の育成・組織化、他の企業や専門工事業者との連携仕様・ルールの策定、標準BEP作成、CDE環境構築 等)
- ✓ 社内研修や社内のBIM支援、相談会の開催
- ✓ 関連会社との合同勉強会の開催 等

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加 (速報値 (R3.2月公開) では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q35 所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況 (n=376/単一回答/%)



- ・人材の充足状況として、約 8 割が不足を感じている

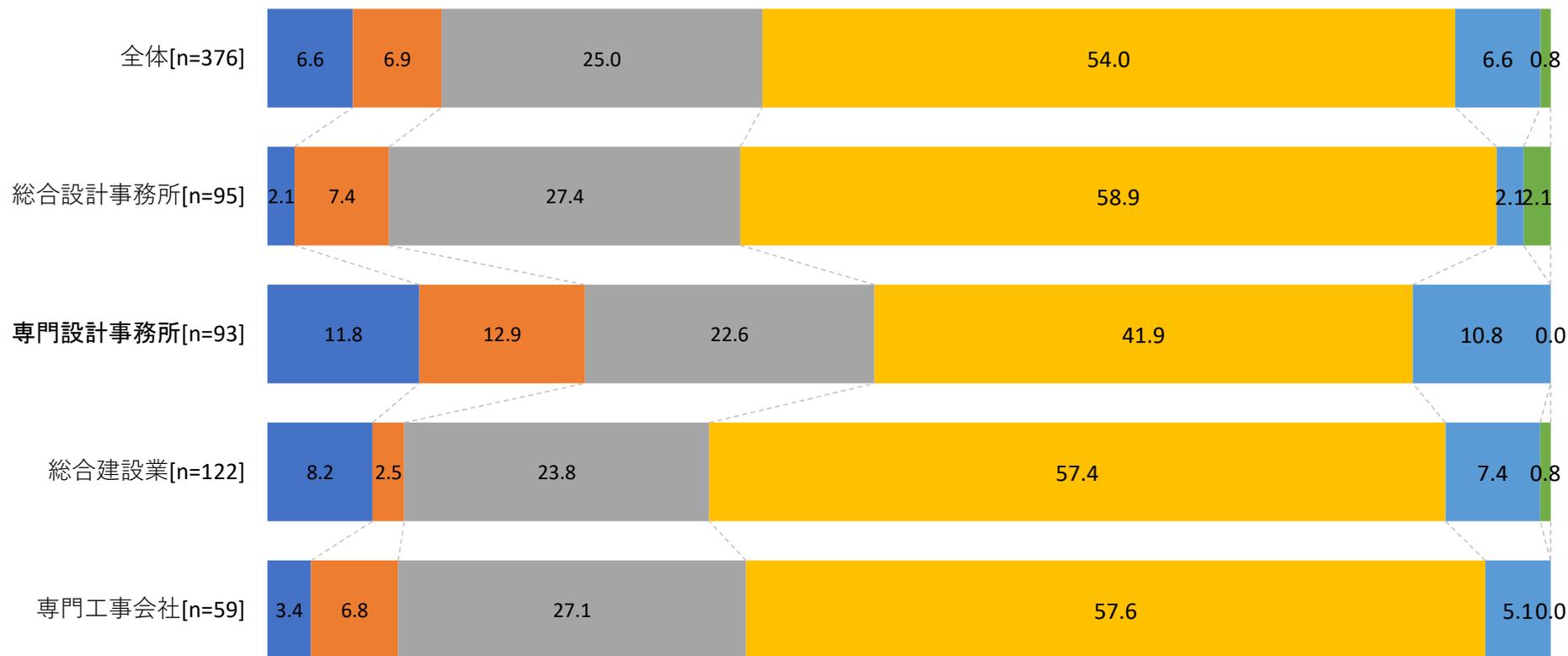
Q36 所属部署におけるBIMの活用を推進するにあたり、今後どのような人材が求められるとお考えですか？ (例：建築物の生産プロセス全般において、BIMデータを一元的に管理する能力のある人材。等)

- ・主に以下のような意見が挙げられた
 - ✓ 建築の知識はもちろん、IT知識、プログラミングの知識がある人材
 - ✓ 建築知識に長けていて、さらにBIMの長所と仕組みを理解してBIMを運用できる人材(BIMマネージャー)
 - ✓ BIM設計フローにおけるチェックを行える管理職 (BIMマネージャー)
 - ✓ 業務フローを理解し、かつある程度のBIMスキルがある人材。正しいデータ連携のフレームを理解でき、新しい業務フローを構築できる人材。
社内人材の選抜教育が重要
 - ✓ データマネジメントを行う現場工務が出来る人材、データサイエンス (統計処理、AI) 人材
 - ✓ 社内プラットフォームを構築できる人材
 - ✓ BIMを教育・統括する立場の者と、BIM操作に精通した若手人材 等

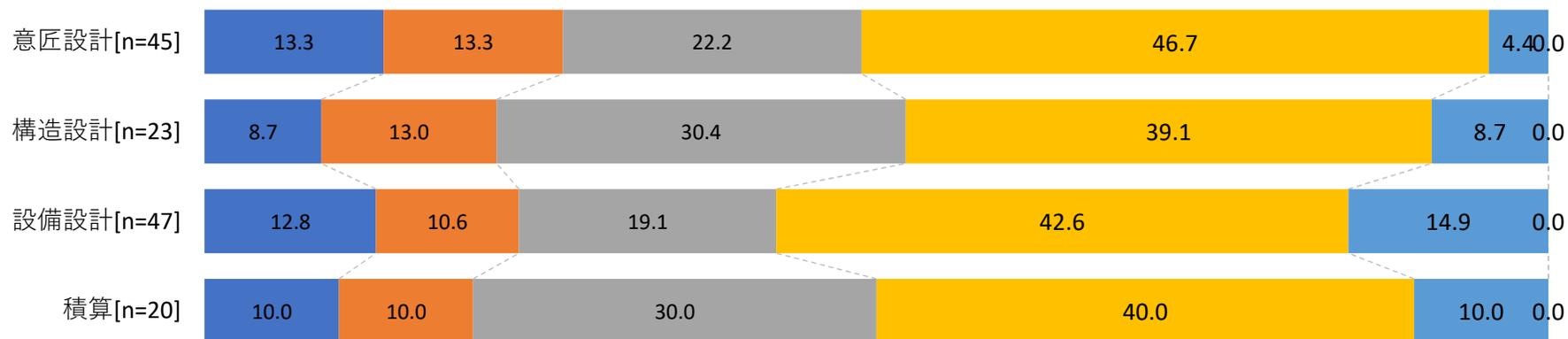
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q35 所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



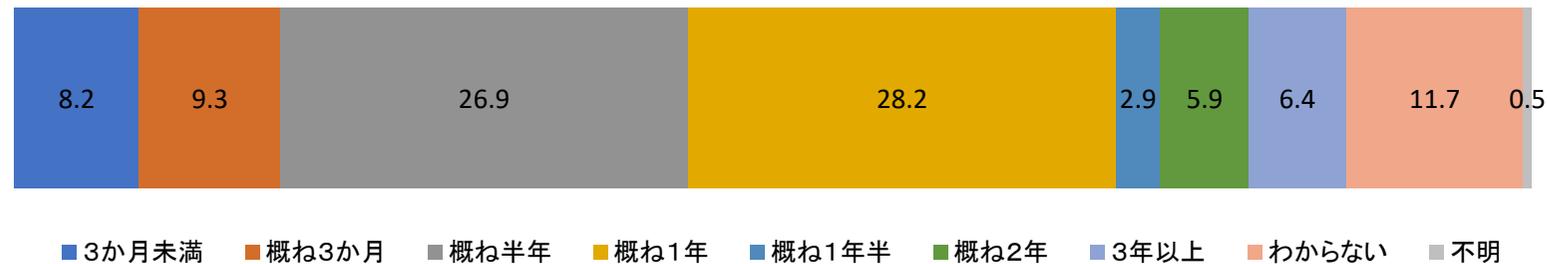
■ 充足している ■ やや充足している ■ やや不足している ■ 不足している ■ わからない ■ 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

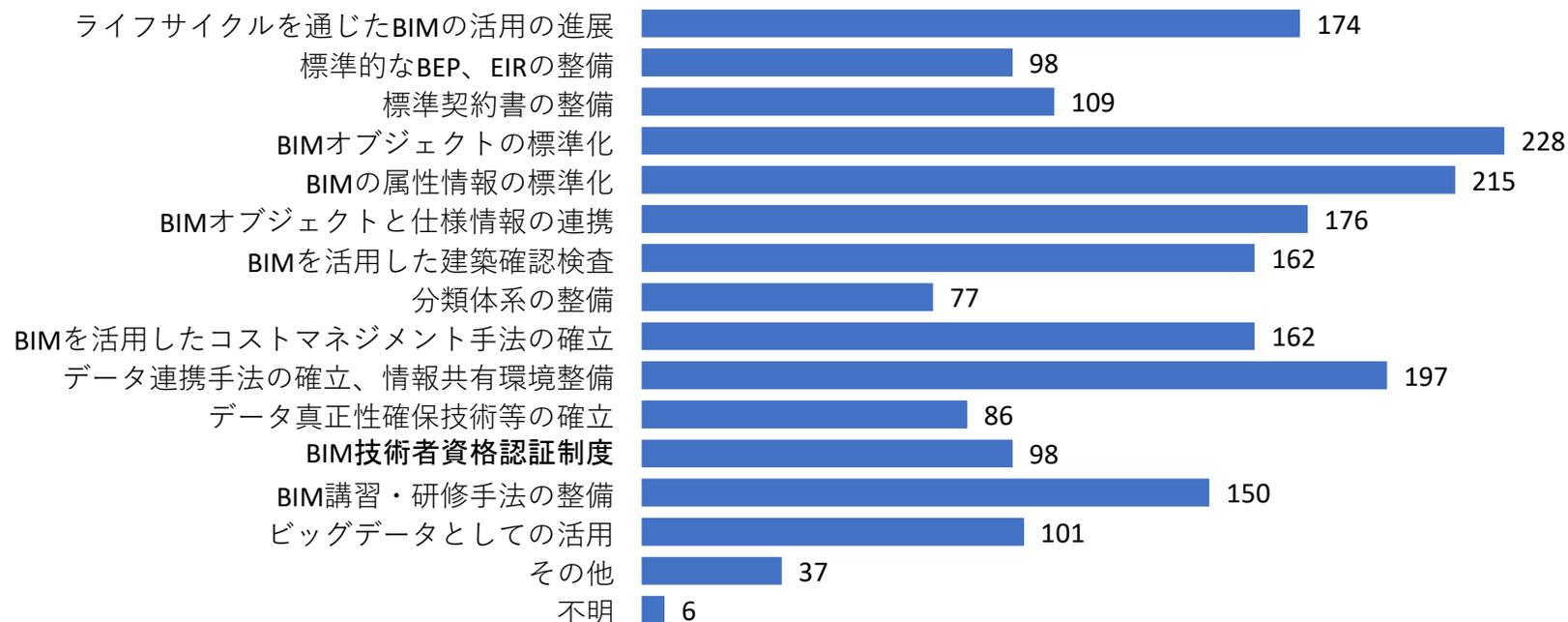
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q37 所属部署において、BIMを活用する人材を育成するための教育に必要な期間 (n=376/単一回答/%)



・人材育成に必要な期間として、「概ね1年以内」という回答が約7割

Q38 国内でBIMの普及を図る上で、今後の展開に特に期待すること (n=376/複数回答/件数)



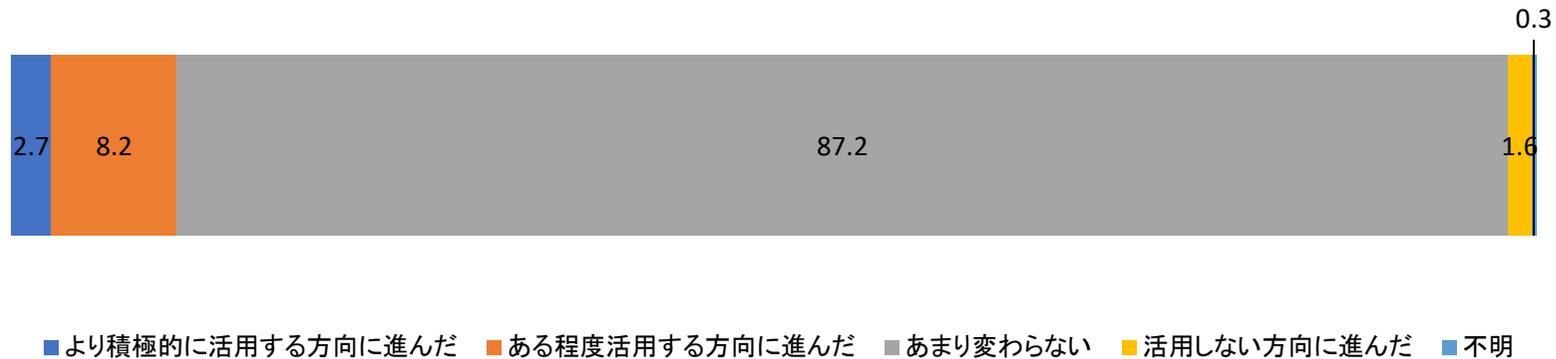
・今後の展開に特に期待することとして、特に部会2に係る「BIMオブジェクト・属性情報の標準化」等や部会5に係る「データ連携手法の確立等」の回答が多い

※「その他」の回答例として、公的な提出書類のデジタル化、設計成果物としてのBIMデータ、BIM承認等が挙げられている。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

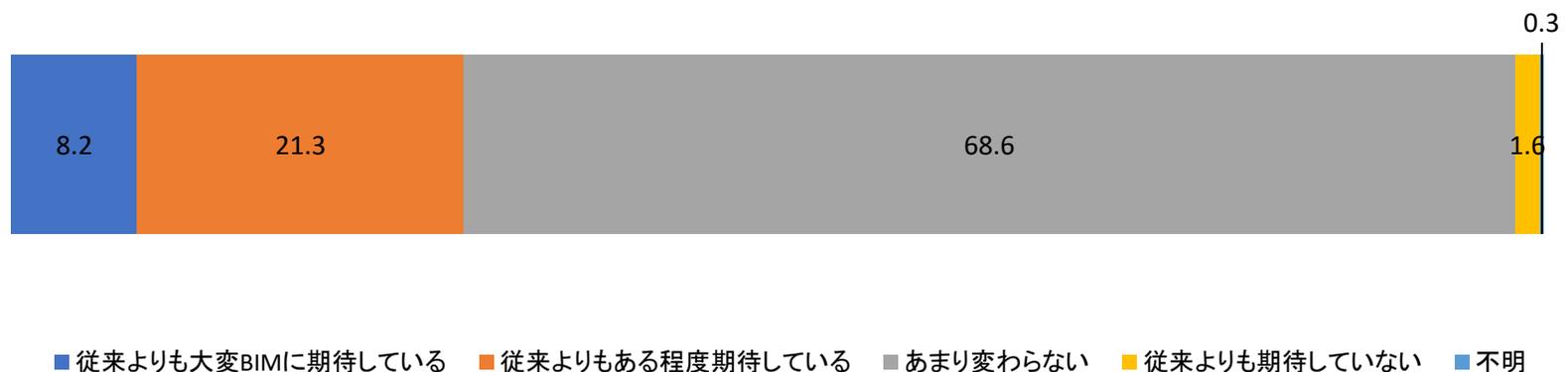
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q39 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、BIMの活用実態に変化はあるか (n=376/単一回答/%)



・新型コロナウイルス感染症によるBIMの活用実態の変化は、活用する方向に進んだという回答が約 1 割

Q40 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、今後のBIMへの期待に変化はあるか (n=376/単一回答/%)



・新型コロナウイルス感染症を受け、今後のBIMへの期待に変化を感じているという回答が約 3 割